

宿泊施設における外国人材の受入れ状況に関する 実態調査事業

5.参考資料

2025年3月21日

目次

● 5. 参考資料 実態調査の結果	3
- 5-1. 宿泊事業者調査	4
- 5-2. 宿泊業に従事する外国人従業員調査	69
- 5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査	114

5. 参考資料 実態調査の結果

- 5-1. 宿泊事業者調査
- 5-2. 宿泊業に従事する外国人従業員調査
- 5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

5-1.宿泊事業者調査

- 調査概要
- 設問及び選択肢の一覧
- 調査結果

宿泊事業者調査の概要

● 宿泊事業者調査の概要は以下のとおりである。

- 「宿泊業の人材確保・育成の状況に関する実態調査事業」と併せて実施した。
- 複数回答の設問については、図タイトルにその旨を明記する（無記載は単数回答）。

実施目的	● 宿泊事業者を対象に、現在の外国人従業員の数・在留資格・業務等の実態、及び特定技能人材の採用に至った／至っていない理由・事情を把握する
調査対象	宿泊施設の経営者、人事部門の方等
調査項目	● 属性情報：宿泊施設名、種別、所在地、規模、従業員数、業務部門 ● 外国人材雇用状況：外国人雇用有無、雇用数、国籍、在留資格、依頼業務 ● 上記状況になっている理由・背景・事情：雇用／不雇用理由、雇用方法 ● 雇用して判明した点：印象（就業パフォーマンス）、雇用上の課題 ● 今後の展望：外国人雇用の実施意向、外国人雇用を促進するために必要な支援策
調査方法	Webアンケート調査 （全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、日本旅館協会、日本ホテル協会、全日本ホテル連盟の団体の協力を得て、加盟宿泊施設にURL等を展開した） ※参考：各団体の会員施設数 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会：約15,000※1、日本旅館協会：2,117※2、日本ホテル協会：246※3、全日本ホテル連盟：1,273※4
調査時期	2025年2月5日(水)～2月24日(月)
回収数	366(旅館：188、ビジネスホテル：94、シティホテル・リゾートホテル：72、その他：12)

※1 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会「About Us」<https://www.zenryoren.jp/#aboutus>（2025年3月17日閲覧）

※2 日本旅館協会「やど日本 加盟施設一覧」<https://www.ryokan.or.jp/search/result/>（2025年3月17日閲覧）

※3 日本ホテル協会（2019）「支部別室数収容力等集計表」<https://www.j-hotel.or.jp/uploads/jhotel-admin/countingdata1707.pdf>（2025年3月17日閲覧）

※4 全日本ホテル連盟「ANHA会員ホテル一覧」<https://www.anha.or.jp/area1-list/>（2025年3月17日閲覧）

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 1/11

- 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。
- Q22以外は全て必須回答である(Q22のみ任意回答)。
- 以下表の「回答形式」において、「SA」は単数回答、「MA」は複数回答、「FA」は自由記述回答である。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q1	宿泊施設名をお答えください。 ※正式名称でお答えください。	FA	—
Q2	宿泊施設の種別をお答えください。	SA	1. 旅館 2. ビジネスホテル 3. シティホテル・リゾートホテル 4. その他
Q3	宿泊施設の所在する都道府県をお答えください。	SA	47都道府県
Q4	宿泊施設の所在する市町村をお答えください。	FA	—
Q5	宿泊施設の規模をお答えください。	SA	1. 1～9部屋 2. 10～30部屋 3. 31～49部屋 4. 50～99部屋 5. 100～199部屋 6. 200部屋以上
Q6	宿泊施設の総従業員数をお答えください。 ※宿泊施設で働くすべての人数を、正社員、正職員、パート、アルバイト等の呼称や雇用形態を問わず記入してください。社長や役員も人数に含め計算してください。	SA	1. 1～4名 2. 5～9名 3. 10～19名 4. 20～49名 5. 50～99名 6. 100～199名 7. 200名以上

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 2/11

- 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。
- 「宿泊業の人材確保・育成の状況に関する実態調査事業」の設問(Q8～Q18)は省略した。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q7	この中で、あなたの宿泊施設にある部門をすべて選んでください。	MA	1. 清掃部門(客室清掃、ハウスキーパーなど、客室や施設全体の清掃員を想定しています。) 2. 宿泊部門(フロントスタッフや、ドアスタッフ、コンシェルジュ、仲居など、宿泊客対応を行う従業員を想定しています。) 3. 料飲部門(レストランのホールスタッフ、ルームサービスや、バーテンダーなど、料理や飲料の提供を行う従業員を想定しています。) 4. 調理部門(シェフ、板前、パティシエなど、調理を行う従業員を想定しています。) 5. 宴会部門(宴会スタッフやブライダルコーディネーターなど、各種宴会、会議、イベントに対応する従業員を想定しています。) 6. 販売促進部門(セールスや営業職、広報職など、宿泊客や利用客獲得のために働く従業員を想定しています。) 7. 施設管理部門(施設管理、メンテナンス、営繕などに従事する従業員を想定しています。) 8. 管理部門(総支配人、女将、人事職、経理職など、管理職やバックオフィスの従業員を想定しています。)
Q19	外国人を雇用しているかお答えください。	SA	1. 現在外国人を雇用しており、かつ特定技能外国人も雇用している 2. 現在外国人を雇用しているが、特定技能外国人は雇用していない 3. 現在外国人は雇用していないが、過去に外国人(特定技能含む)を雇用したことがある 4. 過去を含め、一度も外国人を雇用したことがない

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 3/11

- 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。
- Q20は、Q19にて選択肢1・2のいずれかを回答した人が回答対象

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q20	現在雇用している外国人の国籍(各国籍の人数)を全てお答えください。 ※アルバイトや留学生等も含みます	MA(人数を記入)	1. 中国 2. ベトナム 3. ネパール 4. フィリピン 5. ミャンマー 6. 韓国 7. インドネシア 8. タイ 9. モンゴル 10. バングラデシュ 11. インド 12. ラオス 13. カンボジア 14. スリランカ 15. ウズベキスタン 16. ブラジル 17. アメリカ 18. イギリス 19. その他

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 4/11

● 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。

- Q21は、Q19にて選択肢1・2のいずれかを回答した人が回答対象
- Q22は、Q19にて選択肢1・2のいずれかを回答した人が回答対象(Q7で回答した部門のみ回答)
- Q23は、Q19にて選択肢1・2・3のいずれかを回答した人が回答対象

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q21	現在雇用している外国人の在留資格(各在留資格の人数)を全てお答えください。	MA(人数を記入)	1. 技術・人文知識・国際業務 2. 特定技能(宿泊) 3. 特定技能(外食) 4. 特定技能(その他) 5. 特定活動 6. 技能実習 7. 資格外活動(留学等) 8. 身分に基づく在留資格(永住者等) 9. その他
Q22	現在雇用している外国人に依頼している主な業務について、人数を選択してください。 なお、身分に基づく在留資格の従業員については回答に含めないでください。	MA	1. 清掃に関する業務 2. 宿泊に関する業務 3. 料飲に関する業務 4. 調理に関する業務 5. 宴会に関する業務 6. 販売促進に関する業務 7. 施設管理に関する業務 8. 管理に関する業務
Q23	外国人を雇用するに至った理由を全てお答えください。 なお、身分に基づく在留資格の従業員については回答に含めないでください。	MA	1. 日本人の雇用だけでは人手不足に陥る 2. 宿泊客の多様化による外国語対応の必要性向上 3. 外国語以外の専門的知見の獲得(風習・文化、宗教、ハラル、嗜好等) 4. SDGs対応(社会的要請) 5. 口コミ等で、外国人の働きぶりに関する好評を聞いた 6. その他(自由記述)

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 5/11

- 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。
- Q24は、Q19にて選択肢1・2・3のいずれかを回答した人が回答対象

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q24	外国人を雇用した際の方法を全てお答えください。 なお、身分に基づく在留資格の従業員については回答に含めないでください。	MA	1. 自社で求人票を作成・発出(紙掲示、HP掲載等) 2. 国内の教育機関卒業生を雇用 3. 海外の日本語学校卒業生を雇用 4. アルバイト等既存従業員からの登用 5. 自社の日本人従業員からの紹介 6. 自社の外国人従業員からの紹介 7. 知人からの紹介 8. 行政機関等主催のイベントによるマッチング 9. 海外人材の斡旋をする事業者の活用 10. ハローワークへの求人票発出 11. ヘッドハンティング 12. その他(自由記述)

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 6/11

● 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。

- Q25は、Q19にて選択肢1・2・3のいずれかを回答した人が回答対象

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q25	雇用した外国人の就労時のパフォーマンスや態度等について、どのような印象を持ったか全てお答えください。 ※選択肢には、肯定的な印象と否定的な印象の両方を掲載しています。 なお、身分に基づく在留資格の従業員については回答に含めないでください。	MA	1. 宿泊人材として通常保有すべき技能が習得できている 2. 宿泊人材として通常保有すべき技能が習得できていない 3. 専門的知見(言語、風習・文化、嗜好等)がある 4. 専門的知見(言語、風習・文化、嗜好等)がない 5. 違和感のない日本語を話せている 6. 違和感のない日本語を話せていない 7. 日本の文化・風習、就労スタイルに合う 8. 日本の文化・風習、就労スタイルに合わない 9. 既存の日本人従業員とコミュニケーション等で軋轢がない 10. 既存の日本人従業員とコミュニケーション等で軋轢がある 11. 就業態度(真面目さ、誠実さ、必死さ等)に好感が持てる 12. 就業態度(真面目さ、誠実さ、必死さ等)に好感が持てない 13. 接客姿勢(笑顔、おもてなし等)に好感が持てる 14. 接客姿勢(笑顔、おもてなし等)に好感が持てない 15. 継続的な就業意向がある 16. 継続的な就業意向がない 17. その他(自由記述)

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 7/11

- 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。
- Q26は、Q19にて選択肢1・2・3のいずれかを回答した人が回答対象

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q26	外国人を雇用する上で現在直面している、もしくは過去に直面したことがある課題を全てお答えください。 なお、特定技能と、身分に基づく在留資格の従業員については回答に含めないでください。	MA	1. 宿泊業が求める人材像や自社旅館・ホテルの特徴を理解してもらうのが難しい 2. 募集方法が不明 3. 募集を行うものの応募なし 4. 就労ビザ等、日本の在留資格許可申請への対応が困難 5. 将来的な帰国意思等、長期での就労意思が低い(転職・退職のリスクが高い) 6. 宗教上の理由等から日本の文化・風習、就労スタイルに合わない 7. 既存の日本人従業員や上司とコミュニケーションや考え方の相違等で軋轢がある 8. 宿泊人材として通常保有すべき技能が習得できておらず、業務に支障あり 9. 言語が通じにくいいため指示伝達等が難しく、業務遂行に支障あり 10. 外国人従業員向け業務マニュアルや研修制度の整備・実施が難しい 11. 処遇や人事管理の方法が不明 12. 人事評価制度やキャリアマップの整備が難しい 13. 入国までの経済的負担等、金銭的支援が難しい 14. 住居の手配等、生活の支援が難しい 15. 日本語習得の支援が難しい 16. 宿泊業の専門知見習得の支援が難しい 17. その他(自由記述)

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 8/11

- 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。
- Q27は、Q19にて選択肢1・2・3のいずれかを回答した人が回答対象

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q27	(外国人全般ではなく)特に特定技能の外国人について、雇用を進めるにあたっての課題を全てお答えください。特定技能を採用したことがない方も、特定技能を雇用する場合に想定される課題をご回答ください。 特定技能の雇用のことを考えたことがない、全く知らないという場合は「特定技能のことはわからない(雇用しようと思ったことがない等)」を選択してください。	MA	1. 宿泊業が求める人材像や自社旅館・ホテルの特徴を理解してもらうのが難しい 2. 募集方法が不明 3. 募集を行うものの応募なし 4. 就労ビザ等、日本の在留資格許可申請への対応が困難 5. 将来的な帰国意思等、長期での就労意思が低い(転職・退職のリスクが高い) 6. 宗教上の理由等から日本の文化・風習、就労スタイルに合わない 7. 既存の日本人従業員や上司とコミュニケーションや考え方の相違等で軋轢がある 8. 宿泊人材として通常保有すべき技能が習得できておらず、業務に支障あり 9. 言語が通じにくいいため指示伝達等が難しく、業務遂行に支障あり 10. 外国人従業員向け業務マニュアルや研修制度の整備・実施が難しい 11. 処遇や人事管理の方法が不明 12. 人事評価制度やキャリアマップの整備が難しい 13. 入国までの経済的負担等、金銭的支援が難しい 14. 住居の手配等、生活の支援が難しい 15. 日本語習得の支援が難しい 16. 宿泊業の専門知見習得の支援が難しい 17. その他(自由記述)

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 9/11

● 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。

- Q28は、Q19にて選択肢3・4のいずれかを回答した人が回答対象
- Q29は、Q28にて選択肢1を回答した人が回答対象
- Q30は、Q28にて選択肢2を回答した人が回答対象
- Q31は、Q28にて選択肢3を回答した人が回答対象

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q28	現在、外国人を雇用できていない／雇用していない理由をお答えください。	SA	1. 雇用したいが行動を起こせていない 2. 雇用に向けて行動を起こしたが採用できず 3. 雇用するつもりはない
Q29	外国人を雇用したいが現時点で行動を起こせていない理由を全てお答えください。	MA	1. 外国人を募集する方法が不明 2. 外国人を採用する際の手続きが不明 3. 募集にかかる時間や人員の余裕なし 4. 外国人の雇用ニーズは強くない(可能であれば雇用したい程度) 5. その他(自由記述)
Q30	外国人を雇用したいが採用できなかった理由を全てお答えください。	MA	1. 外国人の応募がなかった 2. 外国人の応募はあったが、条件が折り合わなかった 3. 外国人の応募はあり、内定を出したが辞退された 4. 外国人の応募はあり、内定を出したが取り消した 5. その他(自由記述)
Q31	現在外国人を雇用したいと思わない理由を全てお答えください。	MA	1. 日本人の雇用で充足している 2. 言語が通じず業務上支障あり 3. 文化や風習の違いにより業務上支障あり 4. 既存の日本人従業員とのコミュニケーション等で軋轢を懸念 5. 日本人よりも教育に労力が必要 6. 増員に充てる資金に余裕がない 7. 過去に雇用したがパフォーマンス等が思わしくなかった 8. 宿泊客のニーズとして、日本人による接客希望がある 9. その他(自由記述) 10. 特に理由は無い(現状はそもそも追加での雇用ニーズが無い)

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 10/11

● 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。

- Q32は、Q19にて選択肢1・2のいずれかを回答した人、またはQ28にて選択肢1・2のいずれかを回答した人が回答対象
- Q33は、Q32にて選択肢2を回答せずQ28にて選択肢3を回答しなかった人、またはQ32にて選択肢2を回答せずQ19にて選択肢1を回答した人、またはQ32にて選択肢2を回答せずQ19にて選択肢2を回答した人が回答対象

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q32	新たに雇用したい外国人の在留資格を全てお答えください。	MA	1. 技術・人文知識・国際業務 2. 特定技能(宿泊) 3. 特定技能(外食) 4. 特定技能(その他) 5. 特定活動 6. 技能実習 7. 資格外活動(留学等) 8. 身分に基づく在留資格(永住者等) 9. その他(自由記述) 10.新たに外国人の雇用予定はない
Q33	新たに雇用したい外国人の在留資格として、特定技能(宿泊)が含まれない理由を全てお答えください。	MA	1. 特定技能制度のことがわからない／知らない 2. 特定技能の外国人のレベルやスキルがわからない 3. 特定技能の外国人の募集方法がわからない 4. 特定技能の外国人を自社でどう活用すればよいのかわからない 5. 特定技能の制度で求められる手続きが複雑 6. 特定技能の雇用で求められる経費負担が重い 7. 他の在留資格(技人国等)の外国人を雇用したい 8. 特定技能よりもハイレベルな人材を求めている 9. 特定技能よりも低いレベルの人材を求めている 10.在留期間(5年)が短い 11.その他(自由記述) 12.新たに外国人の雇用予定はない

宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧 11/11

- 宿泊事業者調査の設問及び選択肢の一覧は以下のとおりである。
- Q34は、Q19で選択肢1・2のいずれかを回答した人、またはQ28で選択肢1・2のいずれかを回答した人が回答対象

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q34	新たに雇用する外国人に依頼したい業務を3つまでお答えください。	MA(3つまで)	・ 清掃に関する業務 ・ 宿泊に関する業務 ・ 料飲に関する業務 ・ 調理に関する業務 ・ 宴会に関する業務 ・ 販売促進に関する業務 ・ 施設管理に関する業務 ・ 管理に関する業務 ・ 新たに外国人の雇用予定はない
Q35	離職防止や人手不足状況の解決のためにはどのような対応が必要だとお考えですか。 各宿泊施設、行政、業界団体、教育機関、その他の機関や団体等による対応について、ご意見やご要望があれば、ご自由にお答えください。	FA	—

Q2:回答した宿泊施設の属性 | 種別

- 回答した宿泊施設の種別を質問したところ、**旅館(51.4%)**という回答が**最多**となった。次いで、ビジネスホテル(25.7%)、シティホテル・リゾートホテル(19.7%)が続いた。

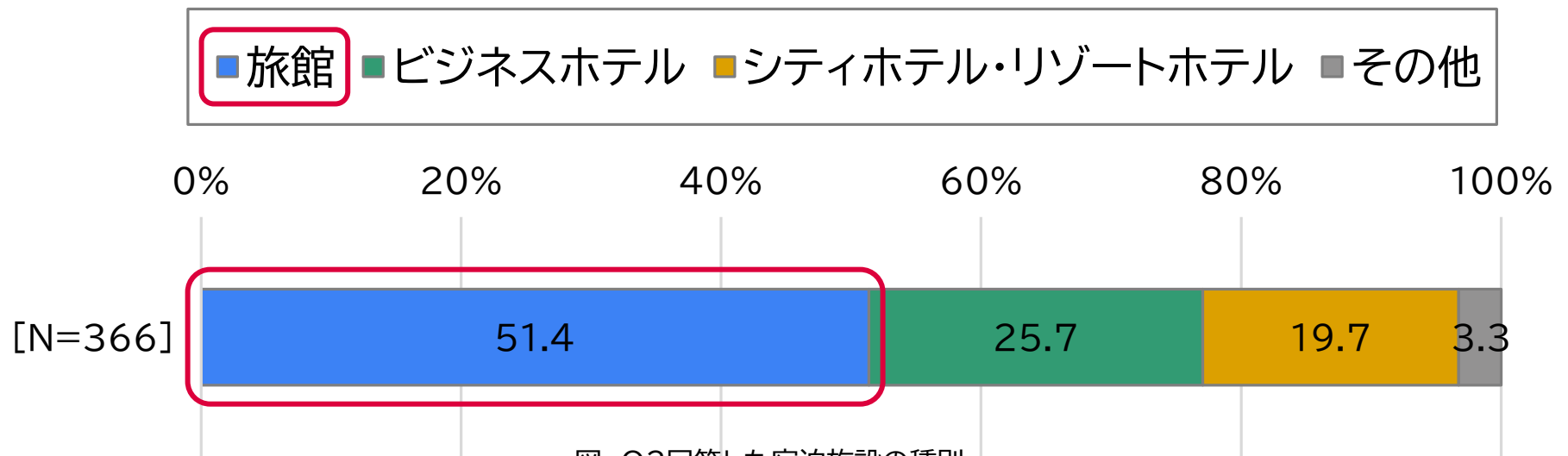
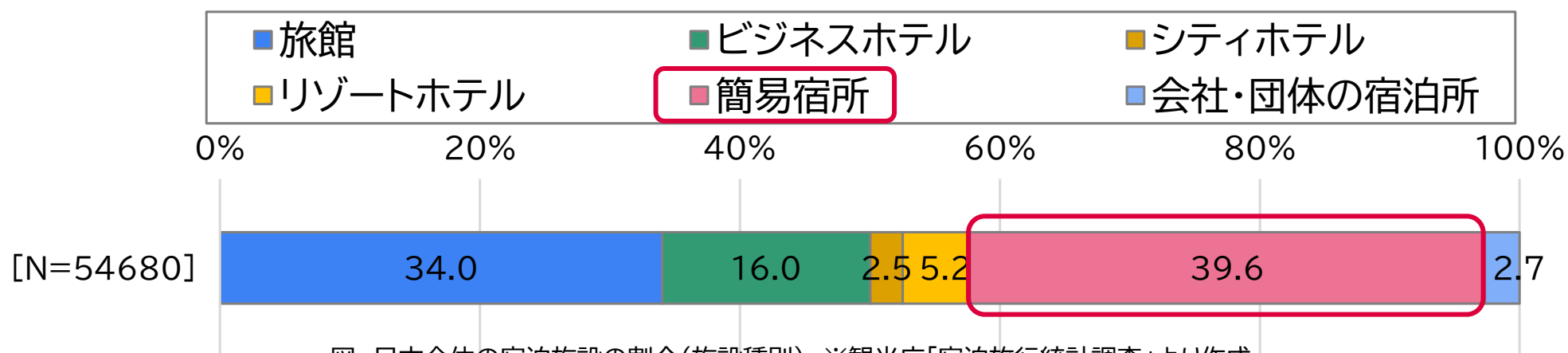


図 Q2回答した宿泊施設の種別

【参考】日本全体の宿泊施設の割合(施設種別)

- 宿泊事業者調査の回答者の属性に関する特徴を把握するため、観光庁「宿泊旅行統計調査」を参照し、日本全体の宿泊施設の割合(施設種別)を調査した。
- **簡易宿所(39.6%)が最多**となった。次いで、旅館(34.0%)、ビジネスホテル(16.0%)が続いた。



Q3: 回答した宿泊施設の属性 | 所在地(都道府県)

- 回答した宿泊施設の所在地(都道府県)を質問したところ、**北海道(6.8%)が最多**となった。次いで、静岡県・福岡県(5.7%)、新潟県・岐阜県・鹿児島県・沖縄県(5.2%)が続いた。

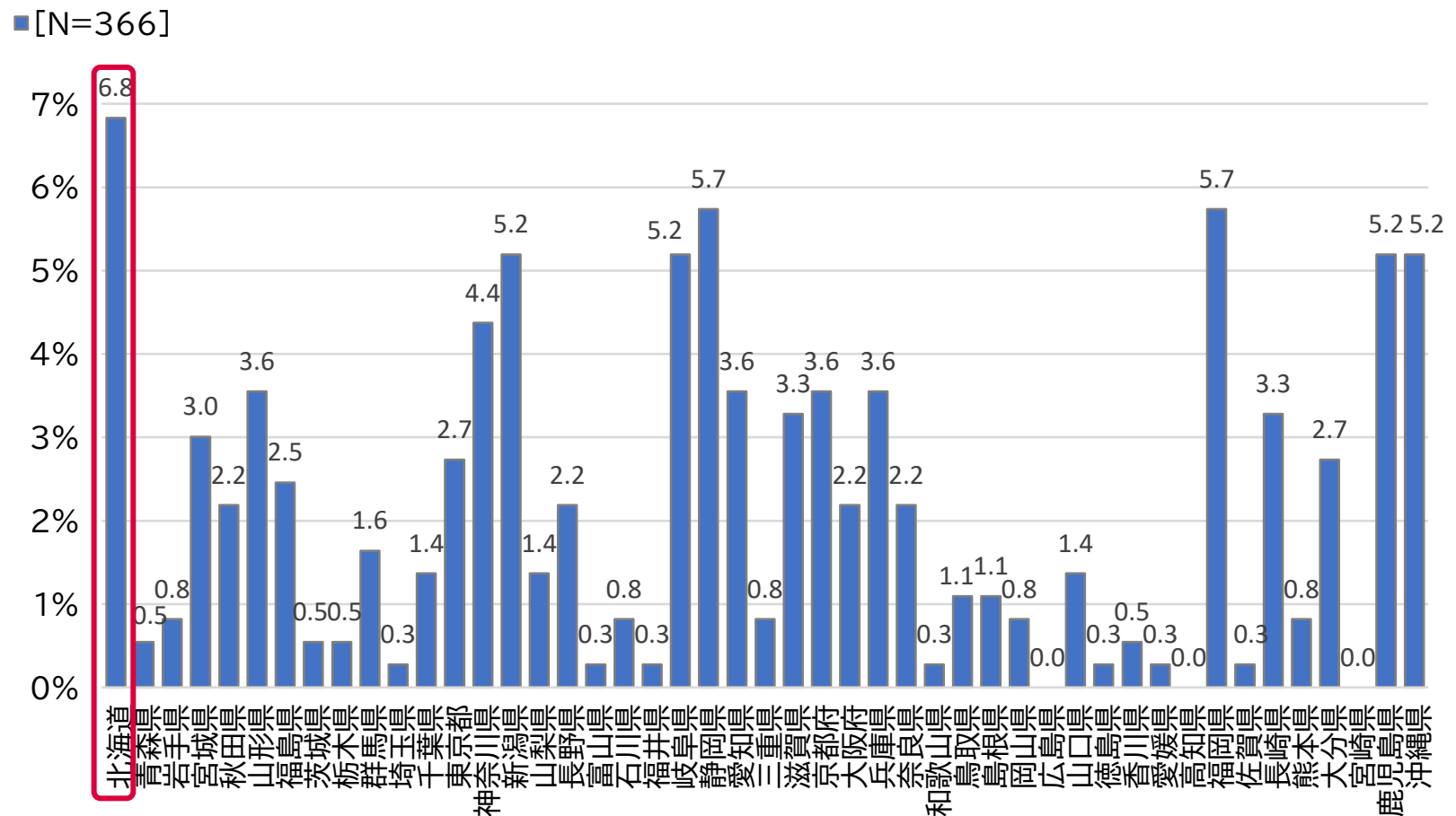
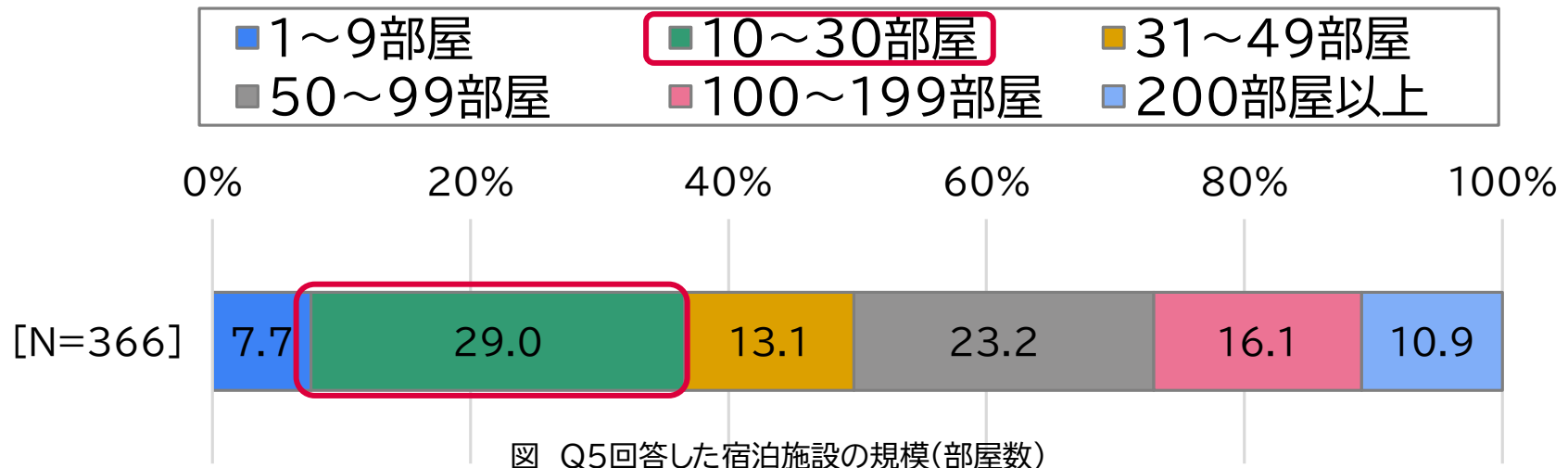


図 Q3回答した宿泊施設の所在地(都道府県)

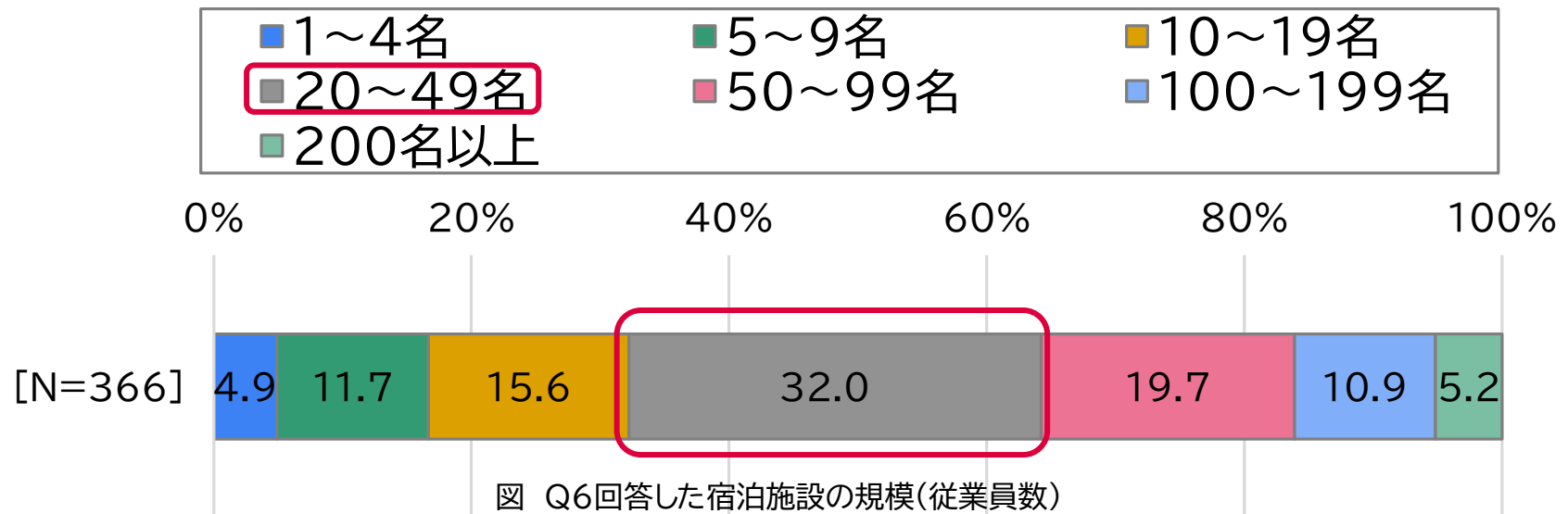
Q5: 回答した宿泊施設の属性 | 規模(部屋数)

- 回答した宿泊施設の規模(部屋数)を質問したところ、**10～30部屋(29.0%)**が**最多**となった。次いで、50～99部屋(23.2%)、100～199部屋(16.1%)が続いた。



Q6:回答した宿泊施設の属性 | 規模(従業員数)

- 回答した宿泊施設の規模(従業員数)を質問したところ、**20～49名(32.0%)**が**最多**となった。次いで、50～99名(19.7%)、10～19名(15.6%)が続いた。



【参考】日本全体の宿泊施設の割合(従業者数別)

- 宿泊事業者調査の回答者の属性に関する特徴を把握するため、観光庁「宿泊旅行統計調査」を参照し、日本全体の宿泊施設の割合(従業者数別)を調査した。
- **0～9人(79.3%)が最多**となった。次いで、10～29人(12.3%)、30～99人(6.7%)が続いた。

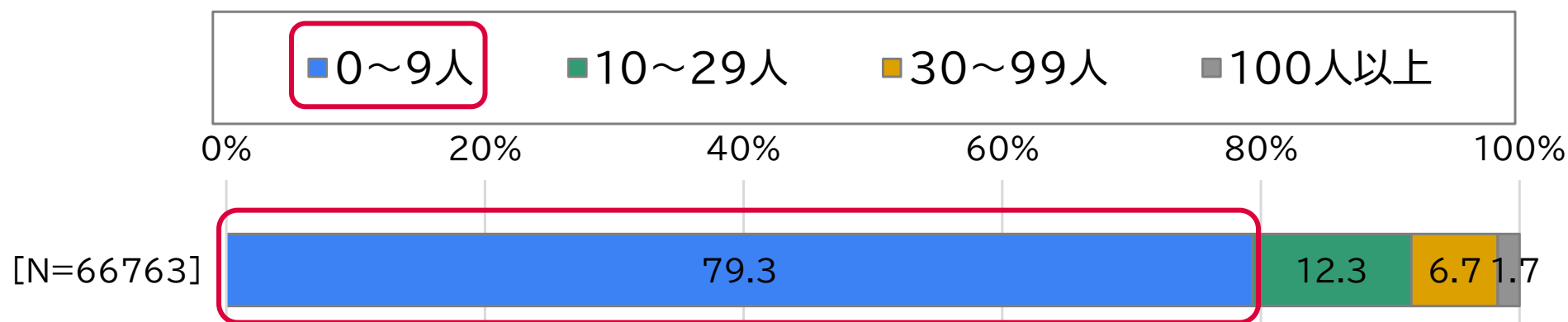


図 日本全体の宿泊施設の割合(従業者数別) ※観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

Q7: 回答した宿泊施設の属性 | 部門

- 回答した宿泊施設が有する部門を質問したところ、**宿泊部門(93.4%)**が**最多**となった。次いで、**管理部門(82.5%)**、**調理部門(78.4%)**が続いた。

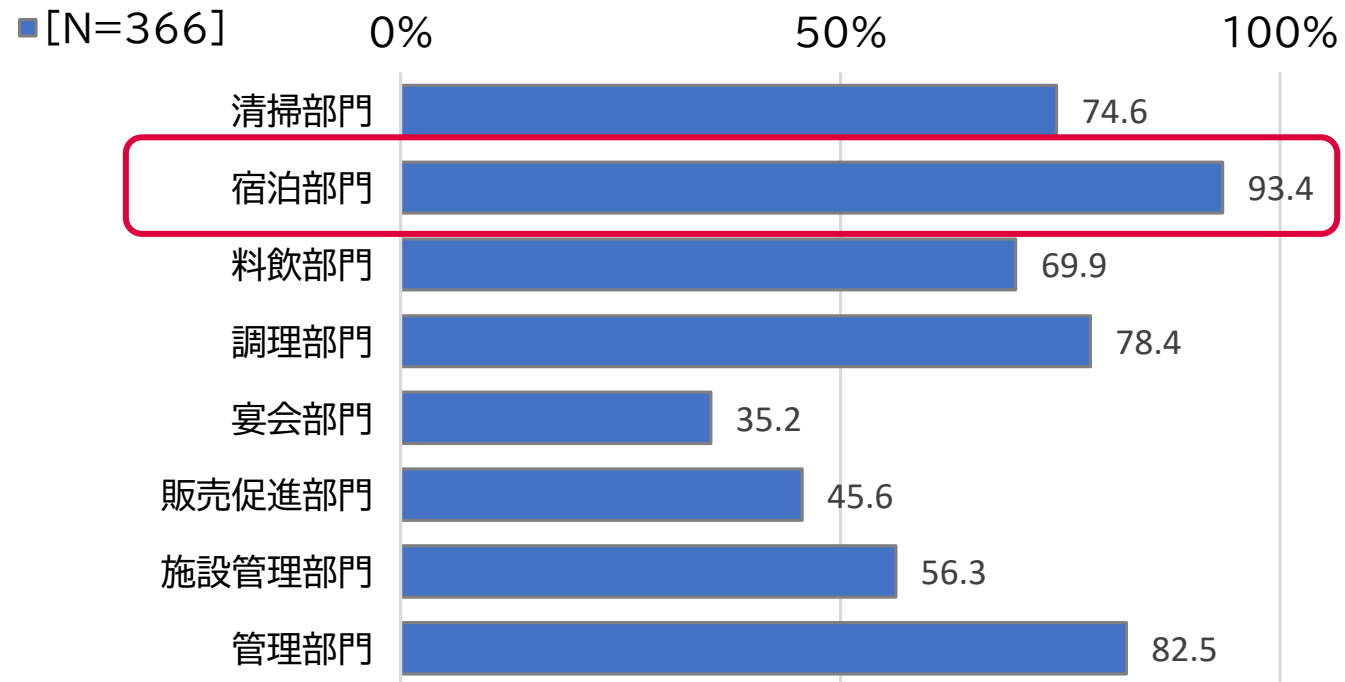


図 Q7回答した宿泊施設が有する部門 ※複数回答

Q19: 宿泊施設における現在の外国人の雇用状況

- 宿泊施設における現在の外国人の雇用状況を質問したところ、**特定技能人材以外の外国人を雇用している(32.8%)が最多**となった。次いで、一度も外国人を雇用したことがない(32.0%)、特定技能人材も含む外国人を雇用している(21.0%)が続いた。

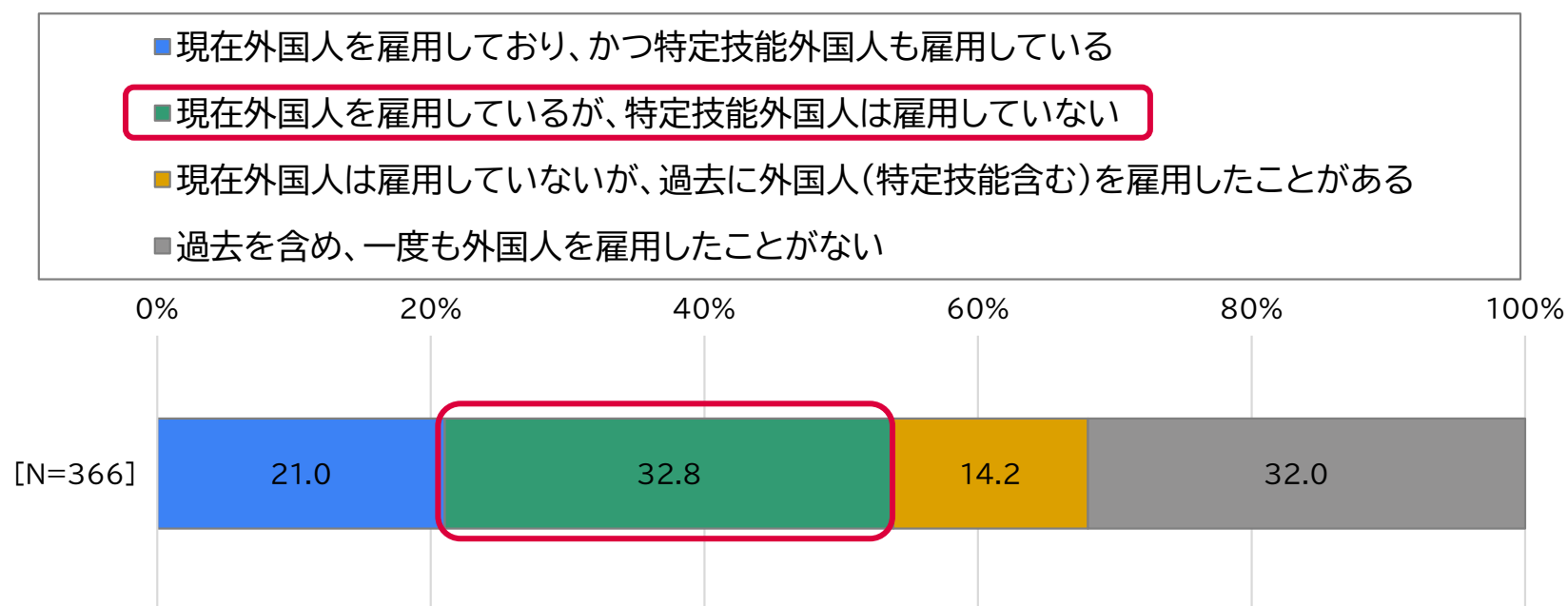


図 Q19宿泊施設における現在の外国人の雇用状況

Q19: 宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(宿泊施設の種別)

- 外国人の雇用状況に関して、施設種別ごとの傾向を把握するため、宿泊施設における現在の外国人の雇用状況と、回答した宿泊施設の種別をクロス集計した。
- 旅館、ビジネスホテル、シティホテル・リゾートホテルでは、特定技能人材以外の外国人を雇用している(旅館:30.9%、ビジネスホテル:30.9%、シティホテル・リゾートホテル:43.1%)が最多となった。

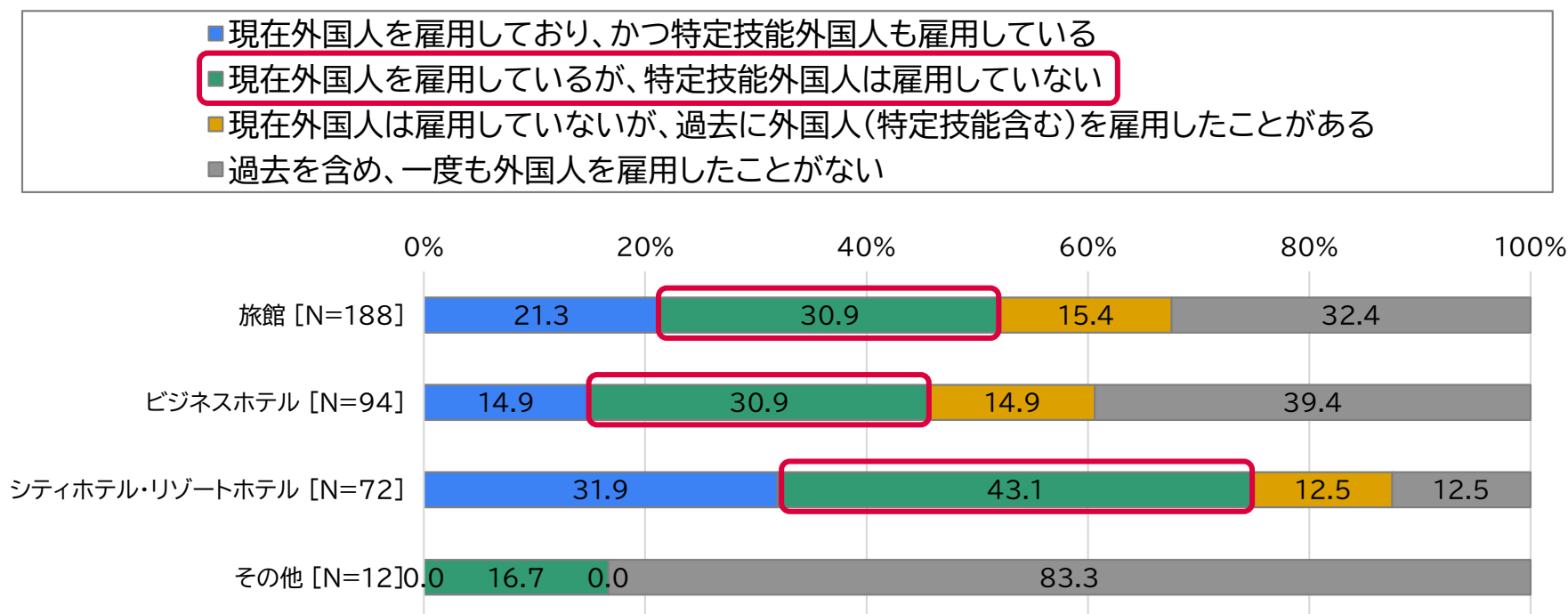


図 Q19宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(宿泊施設の種別)

Q19: 宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(宿泊施設の規模別)

- 宿泊施設の規模による外国人の雇用傾向を把握するため、宿泊施設における現在の外国人の雇用状況と、宿泊施設の規模(部屋数)をクロス集計した。
- 現在外国人(特定技能人材も含む)を雇用している施設は、**50～99部屋の施設(31.2%)が最多**となった。
- 一度も外国人を雇用したことがない施設は、**10～30部屋の施設(41.9%)が最多**となった。

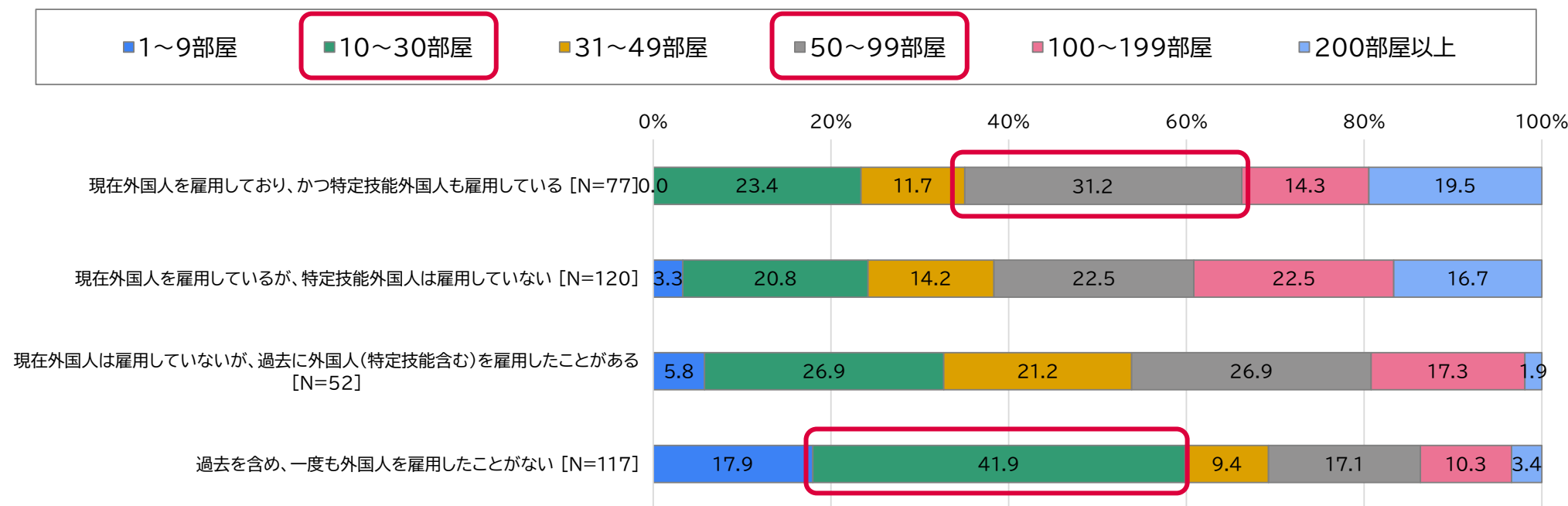


図 Q19宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(宿泊施設の規模別)

Q19:宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(雇用の充足度別)

- 宿泊施設における人手不足の状況と外国人の雇用状況の関係性を把握するため、宿泊施設における現在の外国人の雇用状況と、人手不足の状況(雇用の充足度)をクロス集計した。

※以下グラフは、外国人に業務を依頼している割合が高い宿泊部門と料飲部門(後述)を抜粋して掲載。

- 雇用の充足度が20%以下の施設では、現在**特定技能人材を雇用している割合は21.4%(宿泊部門)、7.7%(料飲部門)**という結果となった。

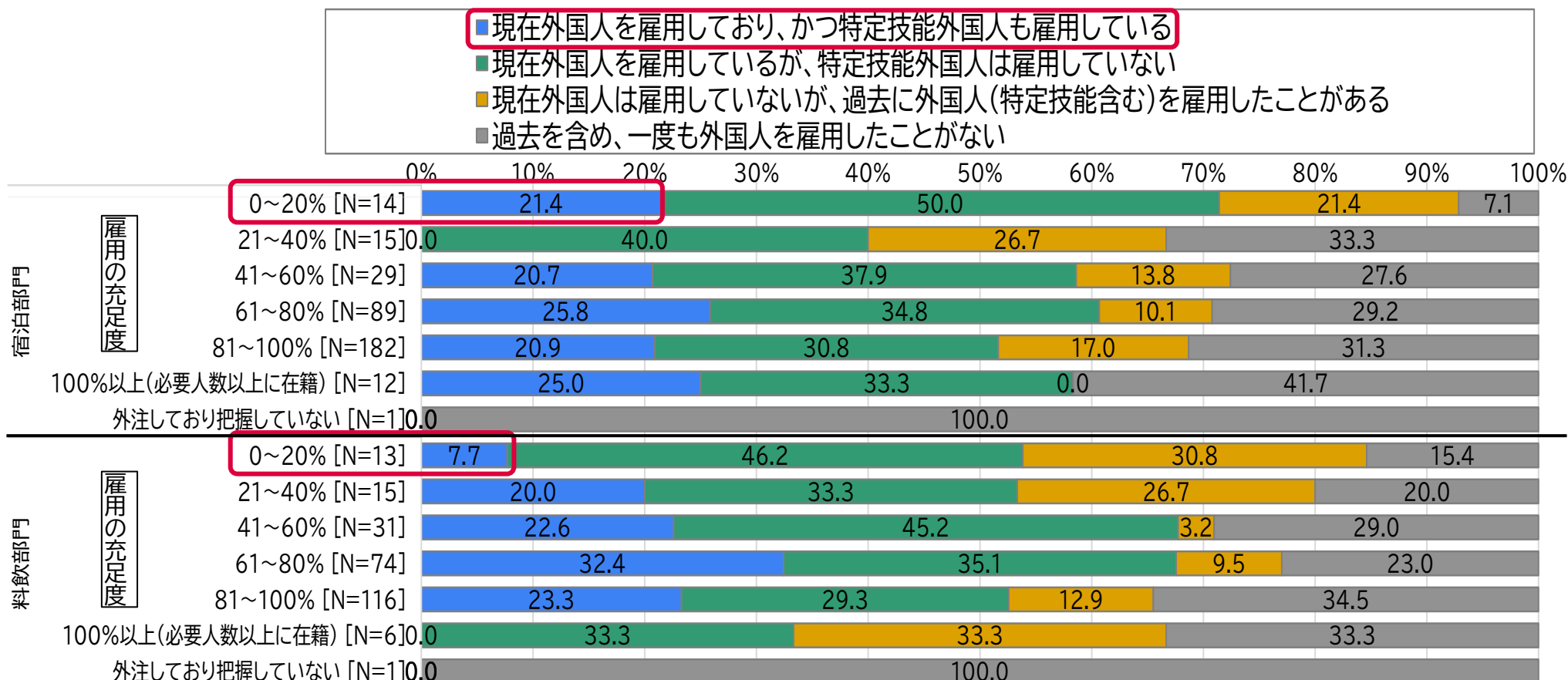


図 Q19宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(雇用充足度別)

5-1. 宿泊事業者調査

Q19: 宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(宿泊施設の所在地別) 1/2

- 外国人の雇用状況に関して、地域別の傾向を把握するため、宿泊施設における現在の外国人の雇用状況と、宿泊施設の所在地(都道府県)をクロス集計した。
- 現在特定技能人材を雇用している地域は、**京都府・兵庫県・沖縄県(7.8%)**が最多となった。次いで、群馬県・岐阜県・奈良県・福岡県(6.5%)が続いた。
- 外国人を雇用したことがない地域は、**新潟県(9.4%)**が最多となった。次いで、鹿児島県(8.5%)が続いた。



図 Q19宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(宿泊施設の所在地別)

Q19:宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(宿泊施設の所在地別) 2/2

- 前ページの文章で示した、現在特定技能人材を雇用している割合が高い都道府県(群馬県・岐阜県・京都府・兵庫県・奈良県・福岡県・沖縄県)及び、外国人を雇用したことがない割合が高い都道府県(新潟県、鹿児島県)について、都道府県ごとの回答全体(N数)と各選択肢における回答の割合を以下表で示した。

表 Q19宿泊施設における現在の外国人の雇用状況(宿泊施設の所在地別)

	全体	群馬県	新潟県	岐阜県	京都府	兵庫県	奈良県	福岡県	鹿児島県	沖縄県
現在外国人を雇用しており、かつ特定技能人材も雇用	N=77	6.5%	2.6%	6.5%	7.8%	7.8%	6.5%	6.5%	3.9%	7.8%
現在外国人を雇用しており、かつ特定技能人材は未雇用	N=120	0.8%	3.3%	6.7%	4.2%	4.2%	0%	5.8%	3.3%	5.8%
現在外国人を雇用していないが、過去に特定技能人材の雇用経験あり	N=52	0%	3.8%	0%	0%	0%	3.8%	9.6%	3.8%	5.8%
一度も外国人を雇用したことがない	N=117	0%	9.4%	5.1%	1.7%	0%	0.9%	3.4%	8.5%	2.6%

Q20:宿泊施設で現在雇用している外国人の国籍

- 外国人を雇用している宿泊施設に、現在雇用している外国人の国籍を質問したところ、**ネパール(49.2%)が最多**となった。次いで、ベトナム(37.6%)、中国(36.5%)が続いた。

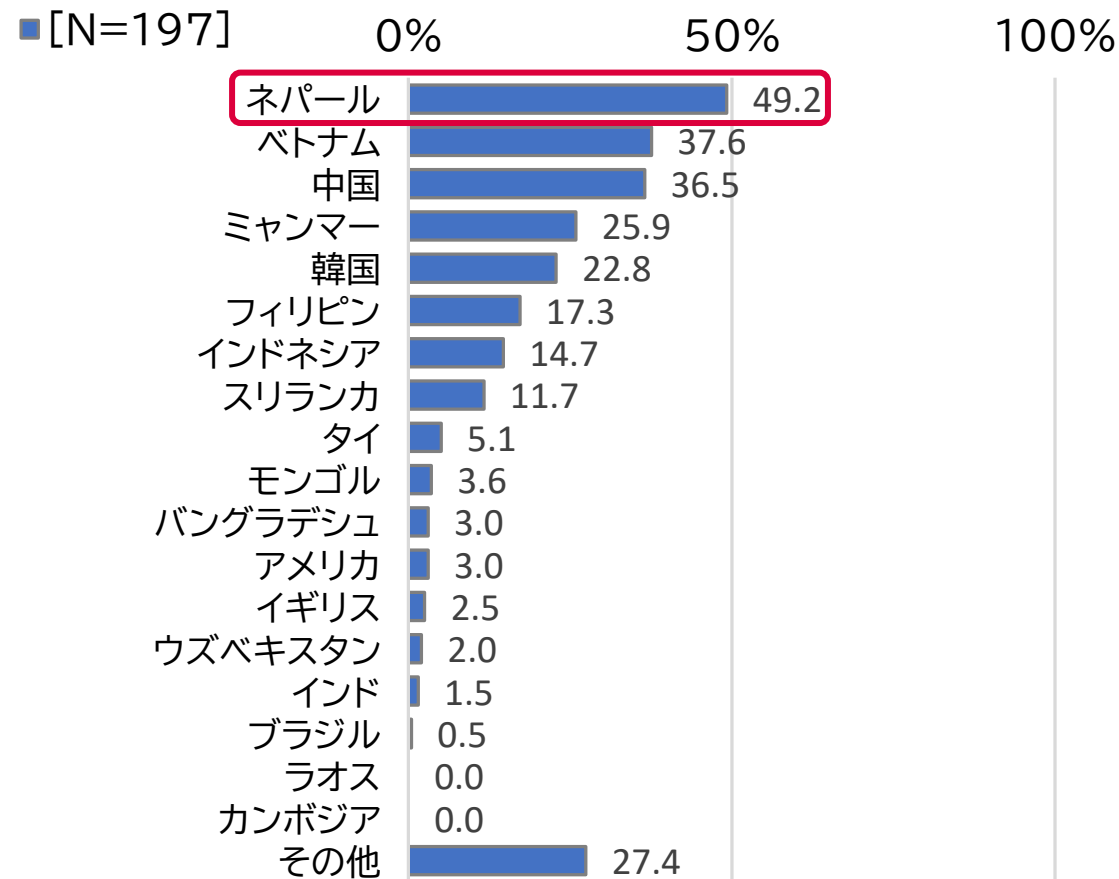


図 Q20宿泊施設で現在雇用している外国人の国籍 ※複数回答

【参考】卸売・小売業で雇用している外国人の国籍

- 外国人の雇用割合(国籍別)を他業種と比較し、宿泊業における外国人の雇用状況の特徴を把握するため、厚生労働省の調査【「外国人雇用状況」の届出状況まとめ】を参照した。
- 上記調査から、卸売・小売業について、国籍別の外国人の雇用割合を算出したところ、**中国(28.7%)が最多**となった。次いで、ベトナム(21.8%)、ネパール(10.0%)が続いた*。

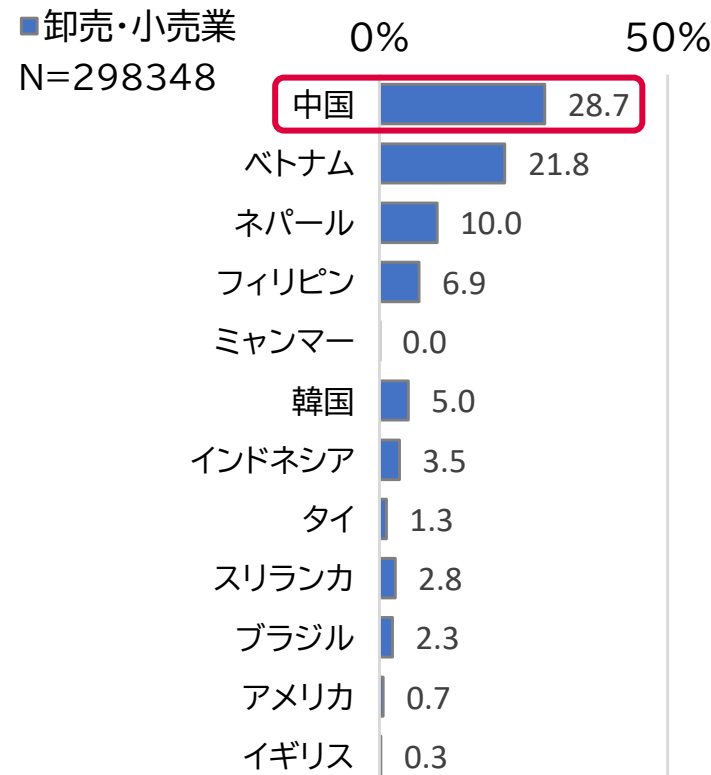


図 卸売・小売業で雇用している外国人の国籍

出所：厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和6年10月末時点) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50256.html (2025年3月7日閲覧)より、別表7のデータを参照して三菱総合研究所作成

*ただし、宿泊事業者調査は複数回答のため合計が100%にならず、厚労省調査では合計が100%になるため単純比較はできない点に留意

Q20: 宿泊施設で現在雇用している外国人の国籍(外国人の在留資格別)

- 雇用されている外国人の国籍と在留資格の関係性を把握するため、宿泊施設が現在雇用している外国人の国籍と、雇用している外国人の在留資格をクロス集計した。
※以下グラフは、国籍については回答数が多い中国・ベトナム・ネパール・ミャンマーを選定。在留資格については本事業で着目している技術・人文知識・国際業務と特定技能を抜粋して掲載。
- ミャンマー人を雇用している宿泊施設においては、技術・人文知識・国際業務での雇用が74.5%と最多となった。次いで、特定技能(宿泊)(47.1%)が続いた。

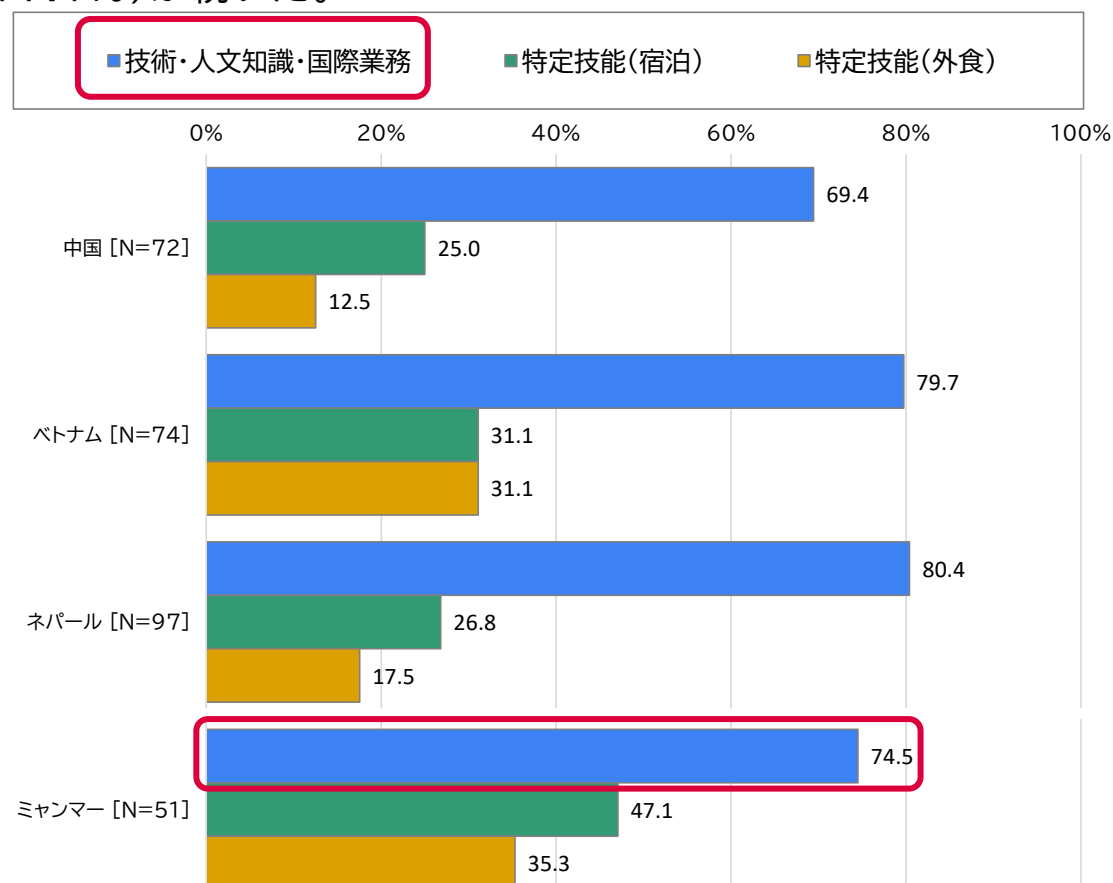


図 Q20 宿泊施設で現在雇用している外国人の国籍(外国人の在留資格別) ※複数回答

Q20: 宿泊施設で現在雇用している外国人の国籍(宿泊施設の所在地別) 1/2

- 雇用されている外国人の国籍に関して、地域別の傾向を把握するため、宿泊施設で現在雇用している外国人の国籍と、宿泊施設の所在地(都道府県)をクロス集計した。

※以下グラフは、国籍について、回答数が多い中国・ベトナム・ネパール・ミャンマーを抜粋して掲載。

- 中国は、**北海道(11.1%)**が最多となった。次いで、東京都(8.3%)等が続いた。
- ベトナムは、**静岡県・兵庫県(9.5%)**が最多となった。次いで、岐阜県(8.1%)等が続いた。
- ネパールは、**静岡県・神奈川県(8.2%)**が最多となった。次いで、岐阜県(7.2%)等が続いた。
- ミャンマーは、**北海道・岐阜県・兵庫県(7.8%)**等が最多となった。次いで、静岡県(5.9%)等が続いた。

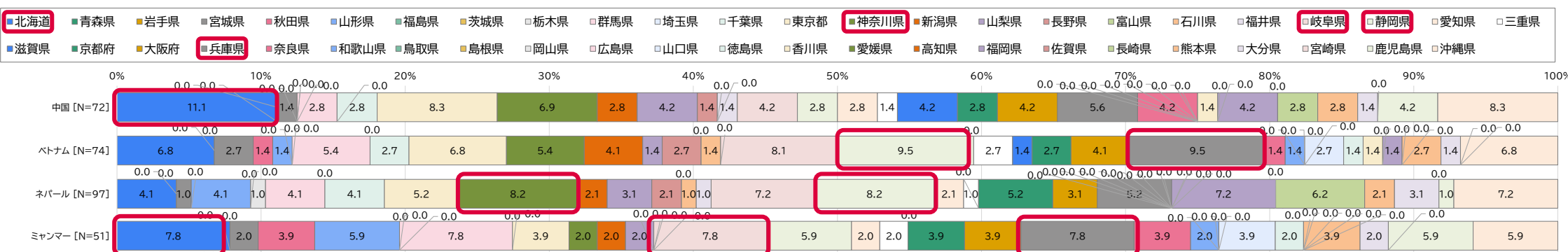


図 Q20宿泊施設で現在雇用している外国人の国籍(宿泊施設の所在地別)

Q20: 宿泊施設で現在雇用している外国人の国籍(宿泊施設の所在地別) 2/2

- 前ページの文章で示した、国籍(中国、ベトナム、ネパール、ミャンマー)及び都道府県(北海道、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、兵庫県)について、回答数(N数)と割合の実数を以下表で示した。

表 Q20 宿泊施設で現在雇用している外国人の国籍(宿泊施設の所在地別)

	全体	北海道	東京都	神奈川県	岐阜県	静岡県	兵庫県
全体	N=197	7.1%	3.6%	5.1%	6.6%	6.1%	5.6%
中国	N=72	11.1%	8.3%	6.9%	4.2%	2.8%	5.6%
ベトナム	N=74	6.8%	6.8%	5.4%	8.1%	9.5%	9.5%
ネパール	N=97	4.1%	5.2%	8.2%	7.2%	8.2%	5.2%
ミャンマー	N=51	7.8%	5.9%	2.9%	7.8%	5.9%	7.8%

【参考】外国人雇用者が多いと考えられる背景

- 前ページに示した都道府県のうち、東京都や神奈川県といった大都市部以外の地域（北海道・岐阜県・静岡県・兵庫県）について、外国人の雇用者が多いと考えられる背景を文献により調査した。その結果を以下に示す。

地域		外国人の雇用状況、その背景
北海道	状況	北海道における外国人居住者数は、2022年時点で約45,000人（2014年の約22,000人から大幅に増加）。居住者の国籍別では、中国、韓国、ベトナムが上位を占めている。具体的には、2022年のデータによると、 ベトナムが約10,592人(23%) 、 中国が約9,050人(20%) 、 韓国が約4,149人(9%) となっている。
	背景	北海道庁の発表によると「リゾート地」や「ウィンタースポーツが盛んな地域」「農村部」は、各地域の総人口に占める在留外国人の割合が高くなっている。これらの地域は住民が「外国人移住者の受け入れ」や「外国人雇用」に対して積極的である。 リゾート地やウィンタースポーツが盛んな地域は、「働くこと」を目的に移住する外国人のほかにも「 リゾート地で暮らすこと 」を目的に移住し、 近隣の観光施設で働く外国人が多い のが特徴。
岐阜県	状況	外国人労働者は、40,028人（前年比10.6%増加（3,836人増加）、2年連続で過去最高を更新。国籍別では、ベトナムが最も多く、10,772人（26.9%）、フィリピン8,926人（22.3%）、ブラジル5,804人（14.5%）となっている。
	背景	岐阜県では外国人向けに就労・起業等の支援や外国人活躍・多文化共生のプログラムを打ち出しており、外国人労働者の受け入れをサポートすると同時に強化しており、外国人が働くことに寛容な地域である。 岐阜県では高山市を中心に、 約30年もの月日をかけて外国人招致のための施策 を打ち出してきた歴史がある。特に高山市では、1986年の国際観光都市宣言を機に、全国に先駆けて多言語での案内看板やパンフレット、散策マップ、HPの整備、公共無線LAN環境の整備等を進めてきた。 外国人が住みやすく、観光客のきやすい街づくりを長い歴史で続けてきたのが現在の人気につながっている。
静岡県	状況	外国人労働者の国別の就業人数（令和4年12月末現在）をみると、「 ブラジル 」が 29.9%で最も多く 、以下「 フィリピン 」、「 ベトナム 」となっている。 インバウンド旅行者も増加 しており、 宿泊業や飲食業などで外国人が働く環境 が増えている。
	背景	観光産業が活発であり（静岡には日本の都道府県の中で最も多くの旅館がある）、主なターゲットは国内市場としてきたが、海外からのインバウンド訪問者に広がっている。また、世界遺産である富士山、豊富な温泉など、自然環境に恵まれていることや、温暖な気候、緑茶文化、新幹線などを利用することにより東京から1時間以内という場所であることも、外国人にとって魅力となっている。
兵庫県	状況	外国人社員の国籍は、 ベトナムが最も多く（67%） 、続いて 中国（23%） 、 インドネシア（14%） 、 フィリピン（9%） 、 ネパール（6%） となっている。 今後の採用方針として、現状維持または採用を増やしていく企業が約80%を占めており、外国人材の採用ニーズは引き続き高まる見込み。 ※153社中、宿泊業・飲食業で14社のアンケート結果
	背景	外国人労働者数は、57,375人（前年同期比6,283人、12.3%増加）、過去最高を更新。 兵庫県では、「外国語による生活情報の提供・インフォメーションセンターの設置」「外国人学校に対する教育・活動支援」など、外国人県民にとっても安全で暮らしやすい環境づくりを推進するなど多文化型のまちづくりを進めている。

出所：北海道庁「北海道内の在住外国人に関する現状について」https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/9/1/2/4/9/7/6/_/04-2_%E3%80%90%E8%B3%87%E6%96%92%E3%80%91%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E6%97%A5%E6%9C%AC%E8%AA%9E%E6%95%99%E8%82%B2%E3%81%AE%E6%8E%A8%E9%80%B2%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A62.pdf、厚生労働省岐阜労働局「岐阜県の「外国人雇用状況」の届出状況について（令和5年10月末現在）」<https://jsite.mhlw.go.jp/gifu-roudoukyoku/content/contents/001715979.pdf>、岐阜県「外国人活躍・多文化共生」<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/4497.html>、静岡県統計センター「国際」<https://toukei.pref.shizuoka.jp/kids/graph/kokusai.html>、外務省「静岡県におけるインバウンド観光の発展」https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/local/page25_001972.html、兵庫県庁「外国人の採用・定着に向けた企業支援ニーズ調査 結果報告書」https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr07/documents/02_sankou11223.pdf、厚生労働省兵庫労働局「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（令和5年10月末時点）」<https://jsite.mhlw.go.jp/hyogo-roudoukyoku/content/contents/001708195.pdf>、兵庫県庁「世界に開かれた、文化豊かな社会づくり～その2」https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk41/wd33_000000036.html（2025年3月7日最終閲覧）

Q21: 宿泊施設で現在雇用している外国人の在留資格

- 外国人を雇用している宿泊施設に、現在雇用している外国人の在留資格を質問したところ、**技術・人文知識・国際業務(66.5%)**が最多となった。次いで、身分に基づく在留資格(永住者等)(29.9%)、特定技能(宿泊)(24.4%)が続いた。

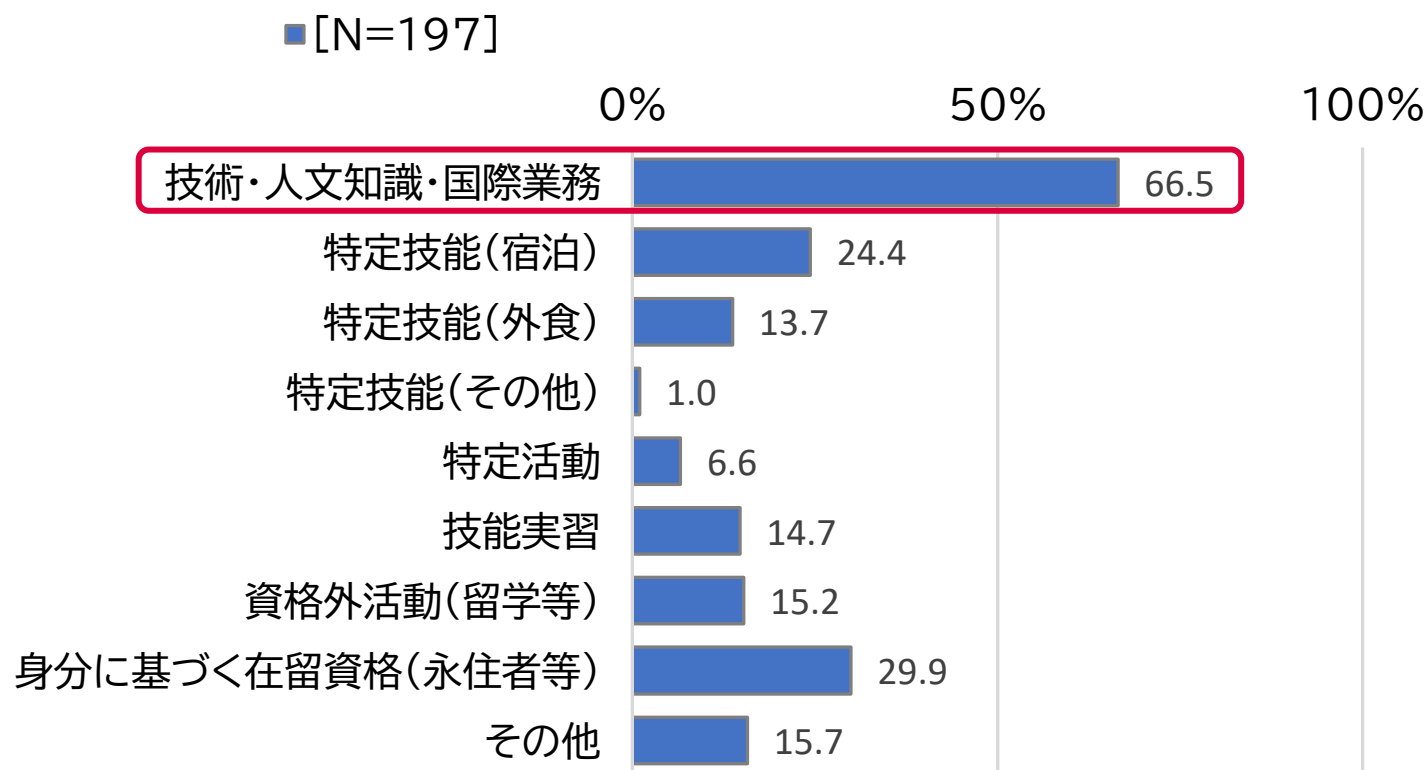


図 Q21 宿泊施設で現在雇用している外国人の在留資格 ※複数回答

Q21:宿泊施設で現在雇用している外国人の在留資格(宿泊施設の種別)

- 宿泊施設で現在雇用している外国人の在留資格に関して、施設種別ごとの傾向を把握するため、宿泊施設における現在の外国人の雇用状況と、回答した宿泊施設の種別をクロス集計した。
※以下グラフは、外国人の在留資格について、本事業で着目している技術・人文知識・国際業務と特定技能のみ掲載。
- どの宿泊施設でも、**技術・人文知識・国際業務(旅館:69.4%、ビジネスホテル:55.8%、シティホテル・リゾートホテル:68.5%、その他:100%)**が最多となった。

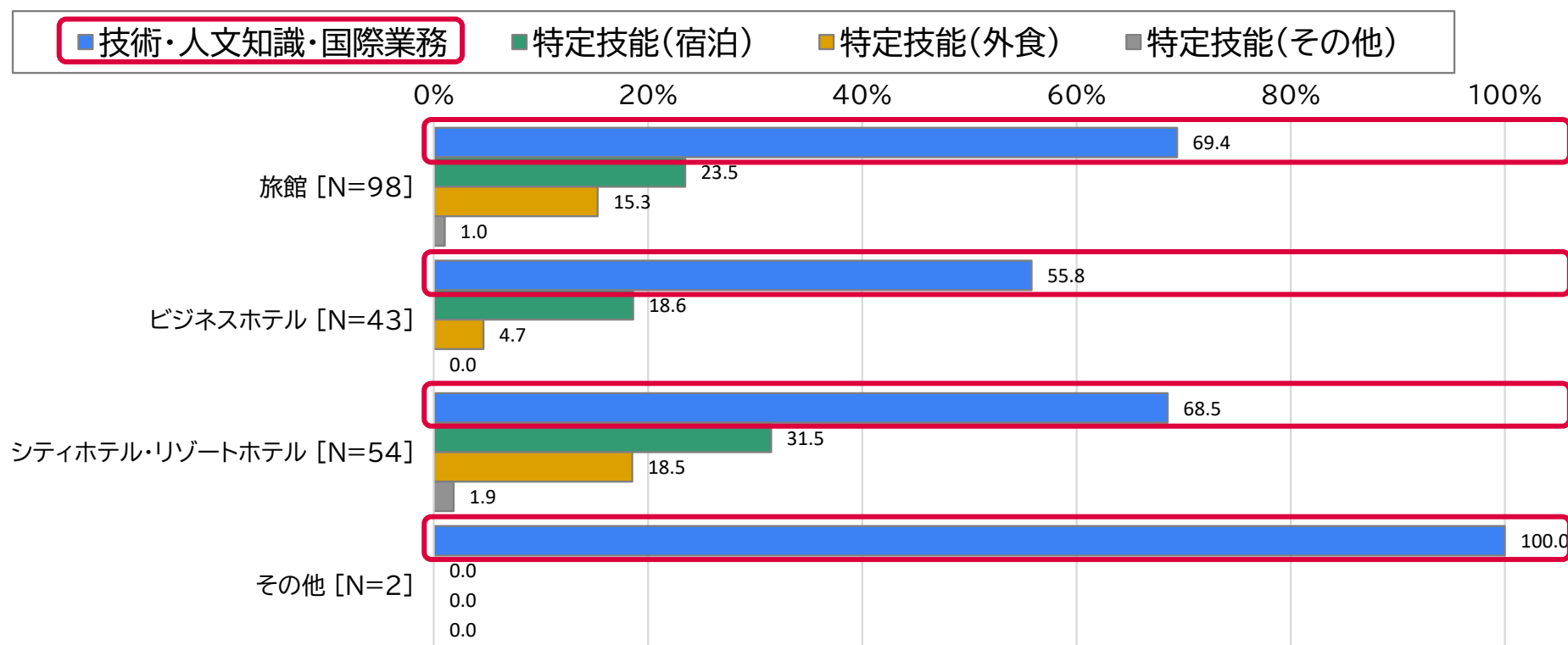


図 Q21宿泊施設で現在雇用している外国人の在留資格(宿泊施設の種別) ※複数回答

Q21:宿泊施設で現在雇用している外国人の在留資格(外国人の国籍別)

- 特定技能で多い国籍を把握するため、現在宿泊施設が雇用している外国人の在留資格と国籍をクロス集計した。

※以下グラフは、在留資格について、本事業で着目している特定技能を抜粋して掲載。

※以下グラフにおける人数は、調査実施時期・調査実施方法等が異なるため、公的な統計上の人数等とは一致するものではない。

- 特定技能(宿泊)はネパール(95人)が最多となり、特定技能(外食)はベトナム(119人)が最多となった。

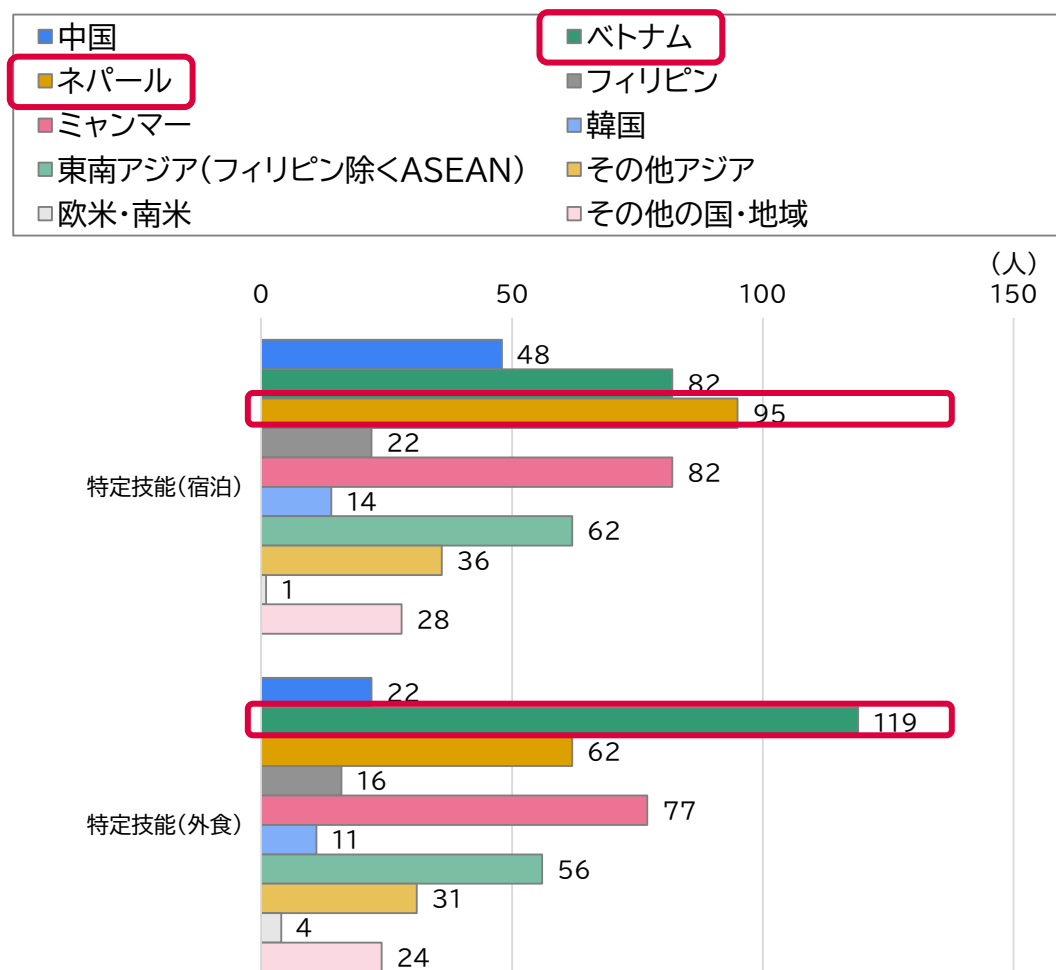


図 Q21宿泊施設で現在雇用している外国人の在留資格(外国人の国籍別) ※複数回答

Q22:宿泊施設が外国人に依頼している業務

- 現在外国人を雇用している宿泊施設に、外国人(1名以上)に依頼している業務を質問したところ、**宿泊に関する業務(84.6%)が最多**となった。次いで、料飲に関する業務(63.1%)が続いた。

※グラフ内のN数は、当該業務部門があり、かつ外国人を雇用していると回答した宿泊施設数である。

※なお、本設問は任意回答であったため、回答しなかった者(以下グラフでは「無回答」として表記)も存在する。

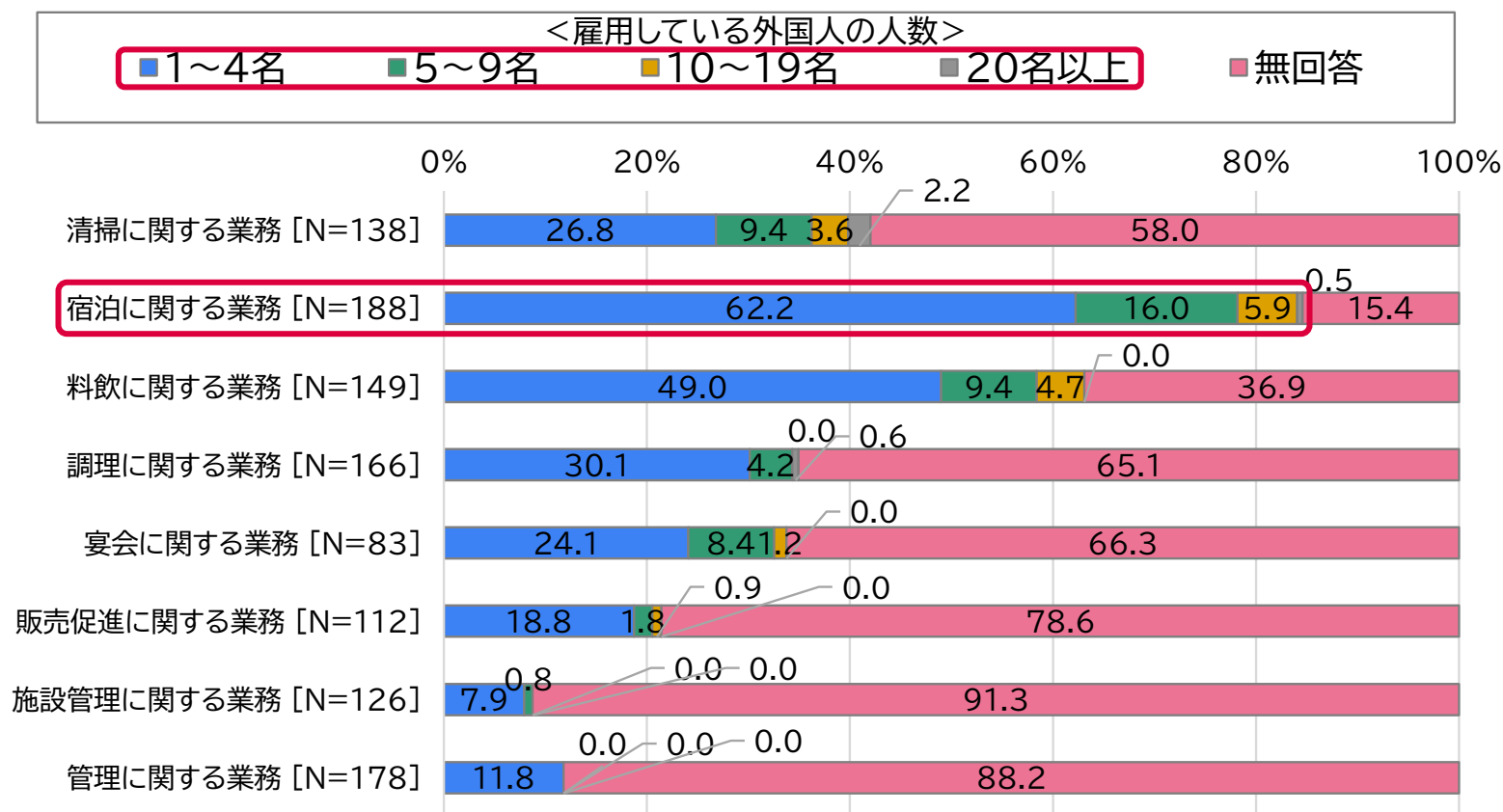


図 Q22外国人に依頼している業務

Q23: 宿泊施設で外国人を雇用した理由

- 現在または過去に外国人を雇用したことがある宿泊施設に、外国人を雇用した理由を質問したところ、**日本人従業員の人手不足対策(73.1%)**が最多となった。次いで、外国語対応の必要性向上(63.1%)が続いた。

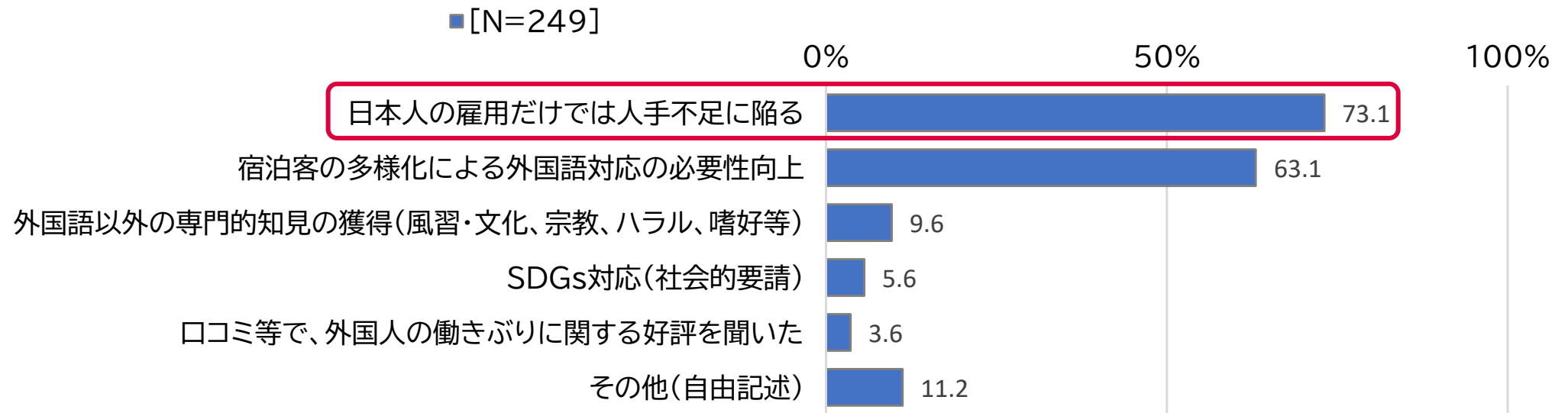


図 Q23 宿泊施設で外国人を雇用した理由 ※複数回答

Q23:宿泊施設で外国人を雇用した理由(宿泊施設の種別)

- 外国人を雇用した理由に関して、宿泊施設の種別による傾向を把握するため、外国人を雇用した理由と、宿泊施設の種別をクロス集計した。

※以下グラフは、外国人を雇用した理由について、宿泊施設の能動的な動機である、日本人従業員の人手不足対策、外国語対応の必要性、外国語以外の専門的知見の獲得、を抜粋して掲載。

- 旅館、シティホテル・リゾートホテルでは、**日本人従業員の人手不足対策(各78.0%、68.3%)**が最多となった。
- ビジネスホテルでは、**外国語対応の必要性向上(68.4%)**が最多となった。

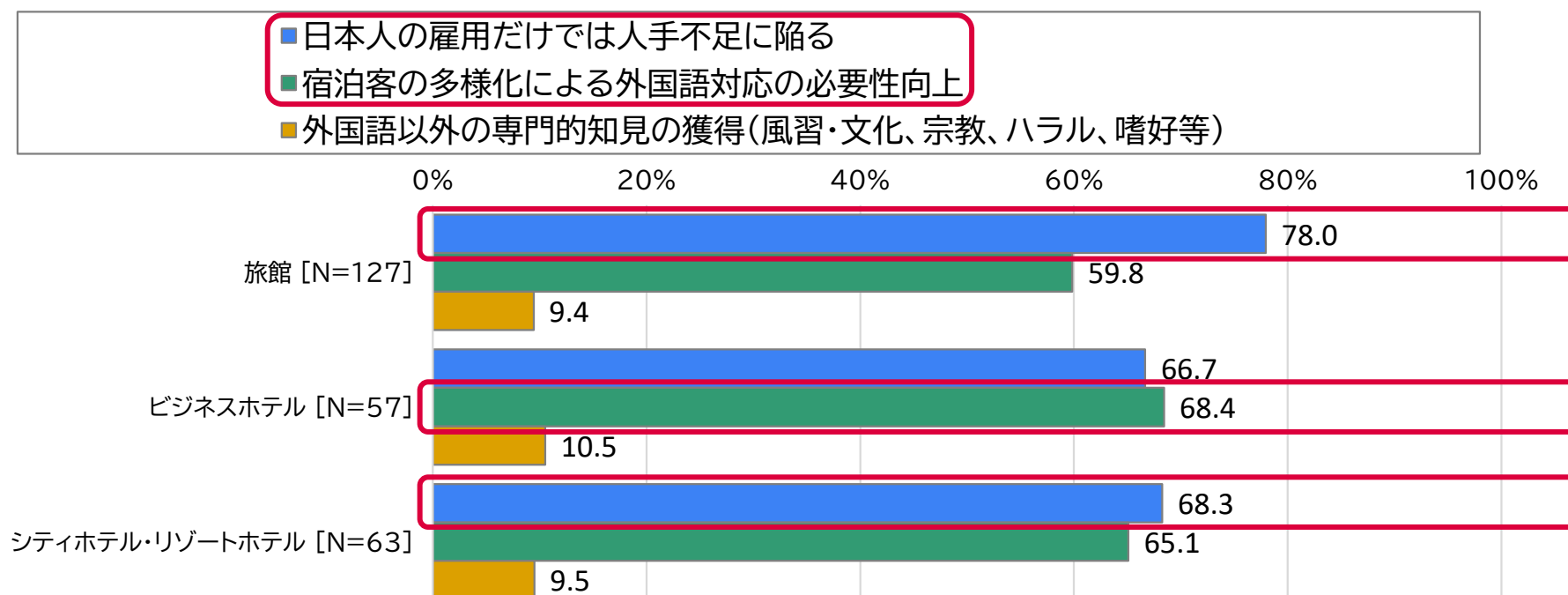


図 Q23宿泊施設で外国人を雇用した理由(宿泊施設の種別) ※複数回答

Q23: 宿泊施設で外国人を雇用した理由(宿泊施設の規模別)

- 外国人を雇用した理由に関して、宿泊施設の規模による傾向を把握するため、外国人を雇用した理由と、宿泊施設の規模(部屋数)をクロス集計した。

※以下グラフは、外国人を雇用した理由について、宿泊施設の能動的な動機である、日本人従業員の人手不足対策、外国語対応の必要性、外国語以外の専門的知見の獲得、を抜粋して掲載。

- 日本人従業員の人手不足対策のために外国人を雇用した施設は、**50～99部屋(25.3%)**が最多となった。次いで、10～30部屋(22.5%)が続いた。
- 外国語対応の必要性を感じて外国人を雇用した施設は、**50～99部屋(24.8%)**が最多となった。次いで、10～30部屋(22.3%)が続いた。

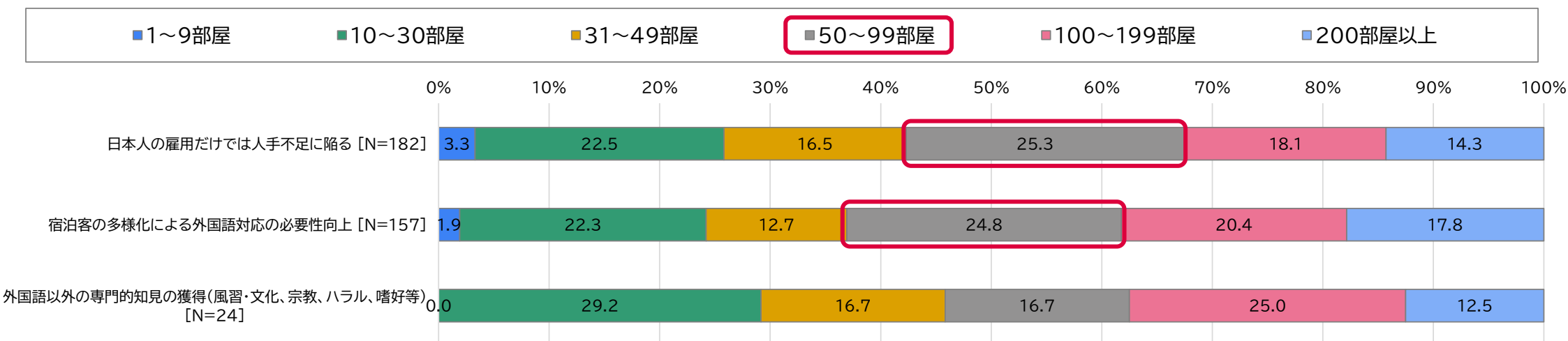


図 Q23 宿泊施設で外国人を雇用した理由(宿泊施設の規模別)

Q23: 宿泊施設で外国人を雇用した理由(外国人の雇用状況別)

- 宿泊施設で外国人を雇用した理由に関して、外国人の雇用状況による傾向を把握するため、外国人を雇用した理由と、現在の外国人の雇用状況をクロス集計した。

※以下グラフは、外国人を雇用した理由について、宿泊施設の能動的な動機である、日本人従業員の人手不足対策、外国語対応の必要性、外国語以外の専門的知見の獲得、を抜粋して掲載。

- 特定技能人材も含む外国人を雇用している施設は、**日本人従業員の人手不足対策(89.6%)**が最多となった。次いで、外国語対応の必要性向上(70.1%)が続いた。
- 特定技能人材以外の外国人を雇用している施設は、**日本人従業員の人手不足対策(70.0%)**が最多となった。次いで、外国語対応の必要性向上(64.2%)が続いた。

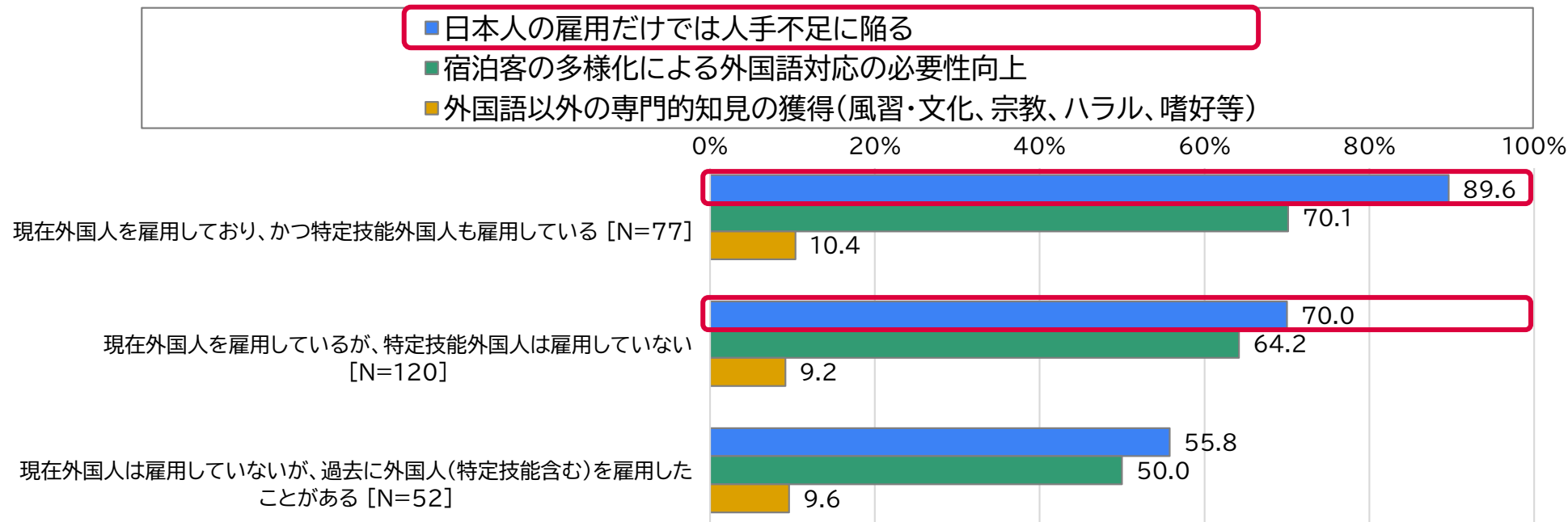


図 Q23 宿泊施設で外国人を雇用した理由(外国人の雇用状況別)

Q23: 宿泊施設で外国人を雇用した理由(外国人の国籍別)

- 外国人を雇用した理由に関して、国籍別の傾向を把握するため、外国人を雇用した理由と、雇用している外国人の国籍をクロス集計した。

※以下グラフは、外国人の国籍について、雇用人数が多い(Q20で20%以上の割合となった)国を抜粋して掲載した。

- 日本人従業員の人手不足対策のために外国人を雇用した施設は、**ネパール(54.2%)**が最多となった。
- 外国語対応の必要性を感じて外国人を雇用した施設は、**ネパール(53.4%)**が最多となった。
- 外国語以外の専門的知見を獲得するために外国人を雇用した施設は、**ネパール(73.7%)**が最多となった。

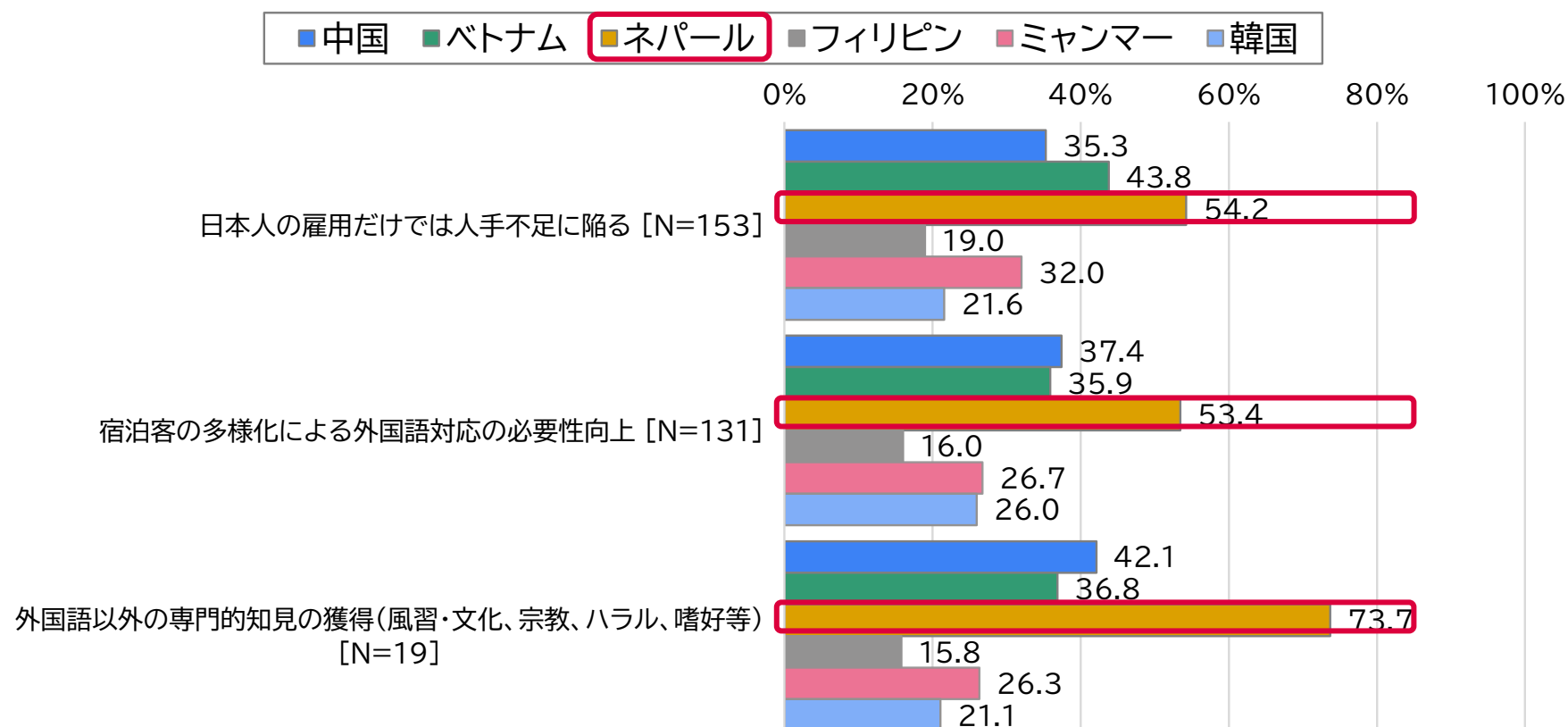


図 Q23宿泊施設で外国人を雇用した理由(外国人の国籍別) ※複数回答

Q24:宿泊施設が外国人を雇用する際に活用したルート

- 外国人を雇用したことのある宿泊施設に、外国人を雇用する際に活用したルートを質問したところ、**自社で求人票を作成・発出(43.4%)が最多**となった。次いで、海外人材の斡旋をする事業者の活用(34.9%)、国内の教育機関の卒業生(外国人留学生)を雇用(28.1%)が続いた。

■[N=249]

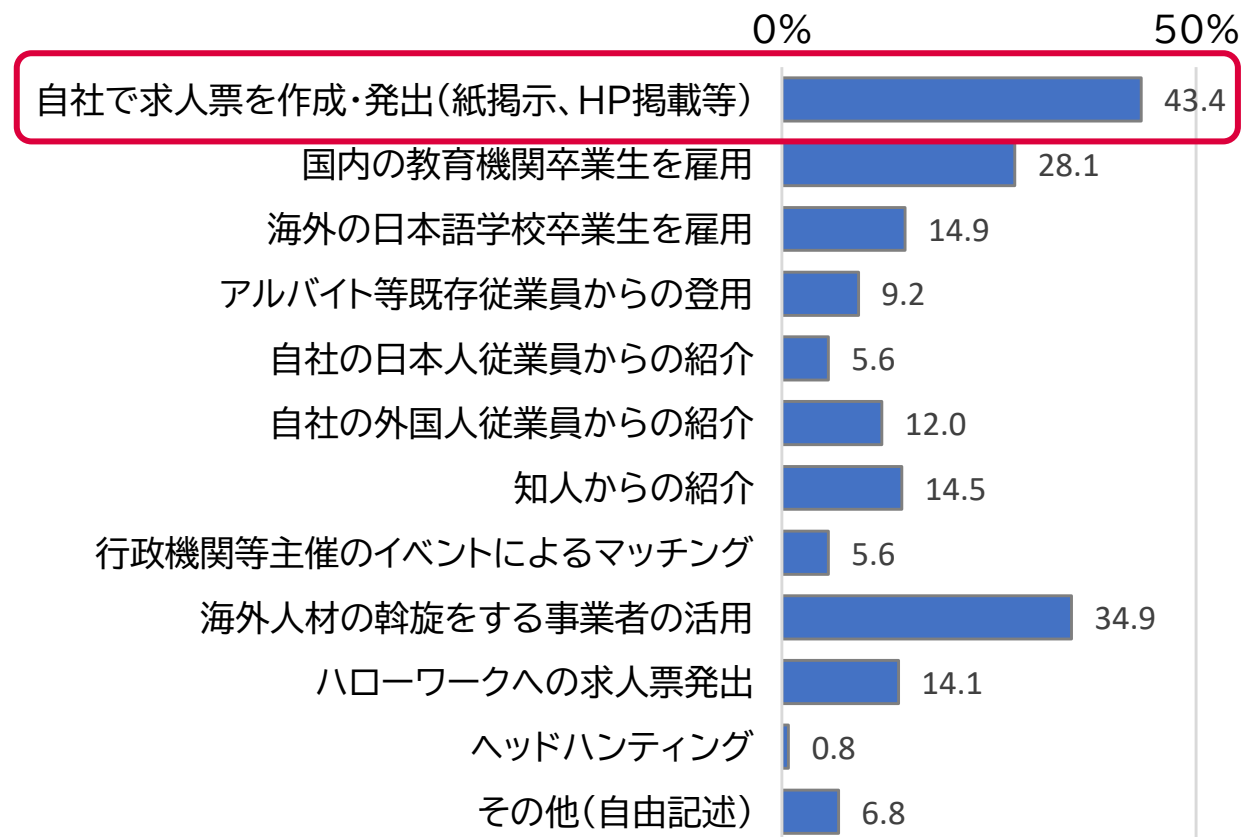


図 Q24宿泊施設が外国人を雇用する際に活用したルート ※複数回答

5-1. 宿泊事業者調査

Q24: 宿泊施設が外国人を雇用する際に活用したルート(宿泊施設の規模別)

- 外国人の雇用ルートに関して、宿泊施設の規模による傾向を把握するため、外国人を雇用する際に活用したルートと、宿泊施設の規模(部屋数)をクロス集計した。
- 例えば、回答数が多い「自社で求人票を作成・発出」「海外人材の斡旋をする事業者の活用」については、**50～99部屋が最多**。

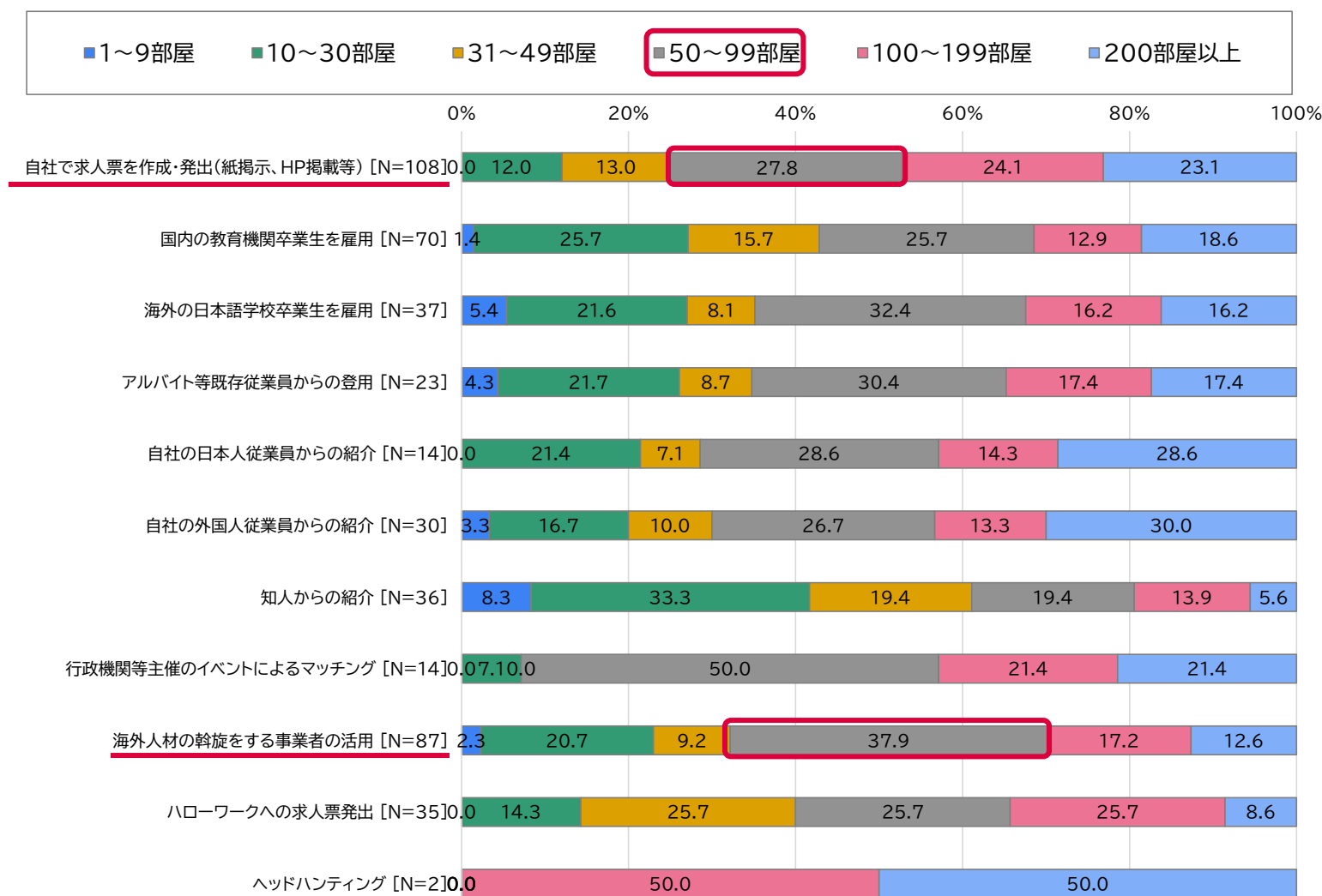


図 Q24 宿泊施設が外国人を雇用する際に活用したルート(宿泊施設の規模別)

Q25: 宿泊施設で雇用した外国人に対する印象(就業パフォーマンスの評価)

- 現在または過去に外国人を雇用したことがある宿泊施設に、現在雇用している、もしくは過去に雇用した外国人に対する印象(就業パフォーマンスの評価)を質問した。
- 肯定的な意見では**就業態度(71.1%)**が**最多**となった。次いで、接客姿勢(56.6%)が続いた。
- 否定的な意見では**技能の習得不足(16.1%)**が**最多**となった。次いで、日本の文化・風習・就労スタイルへの不整合(15.3%)が続いた。

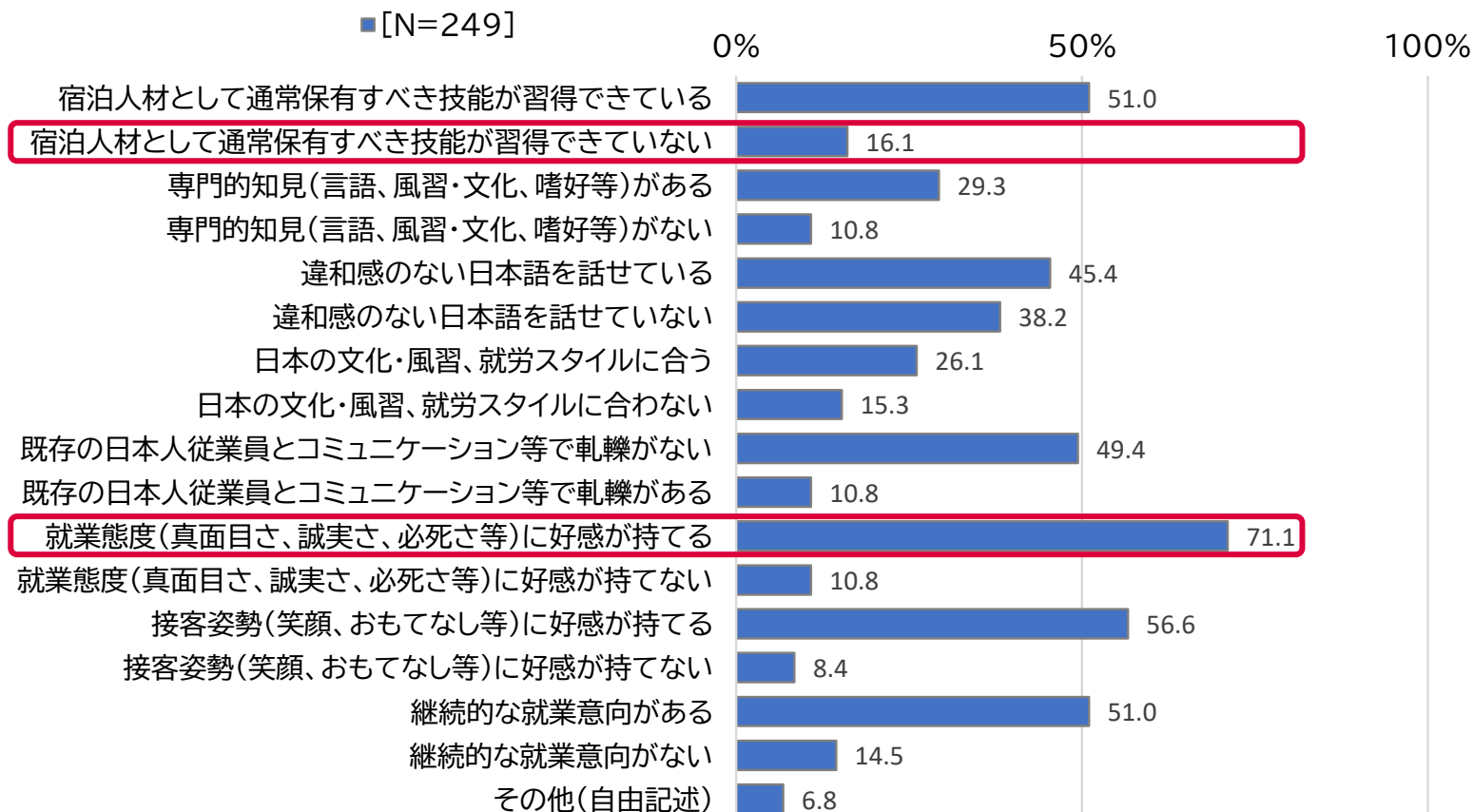


図 Q25 宿泊施設で雇用した外国人に対する印象(就業パフォーマンスの評価) ※複数回答

Q26: 宿泊施設が外国人を雇用する際の課題

- 現在または過去に外国人を雇用したことがある宿泊施設に、外国人を雇用する際の課題を質問したところ、**日本の在留資格許可申請への対応(32.5%)**や**言語の通じづらさ(同32.5%)**が最多となった。次いで、長期での就労意思の低さ(31.7%)が続いた。

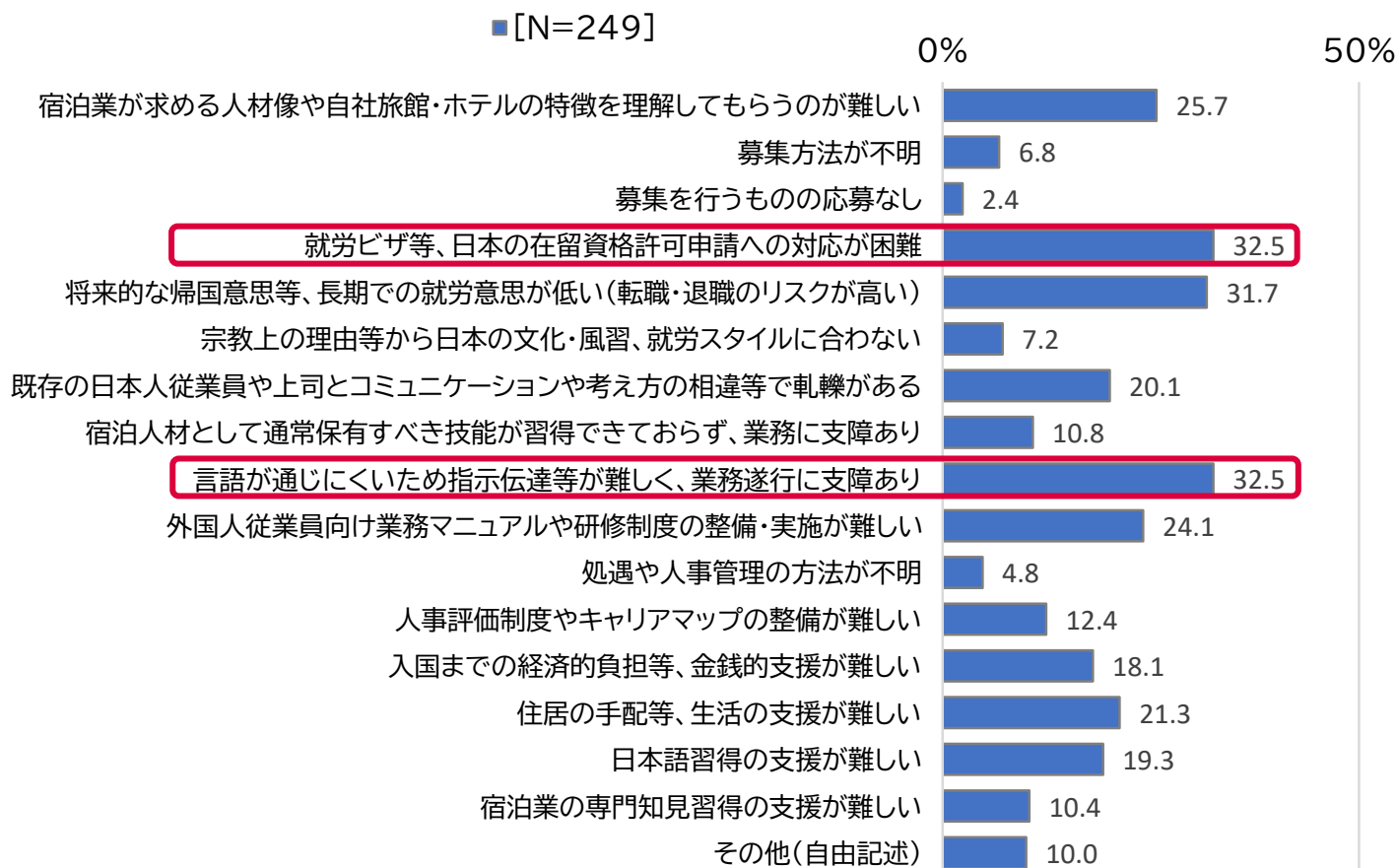


図 Q26 宿泊施設が外国人を雇用する際の課題 ※複数回答

Q27: 宿泊施設が特定技能人材を雇用する際の課題

- 現在または過去に外国人を雇用したことがある宿泊施設に、特定技能人材を雇用する際の課題を質問したところ、**特定技能に関する認知不足(23.7%)が最多**となった。次いで、住居の手配といった生活支援(22.5%)、在留期間の短さ(20.1%)が続いた。

■[N=249]

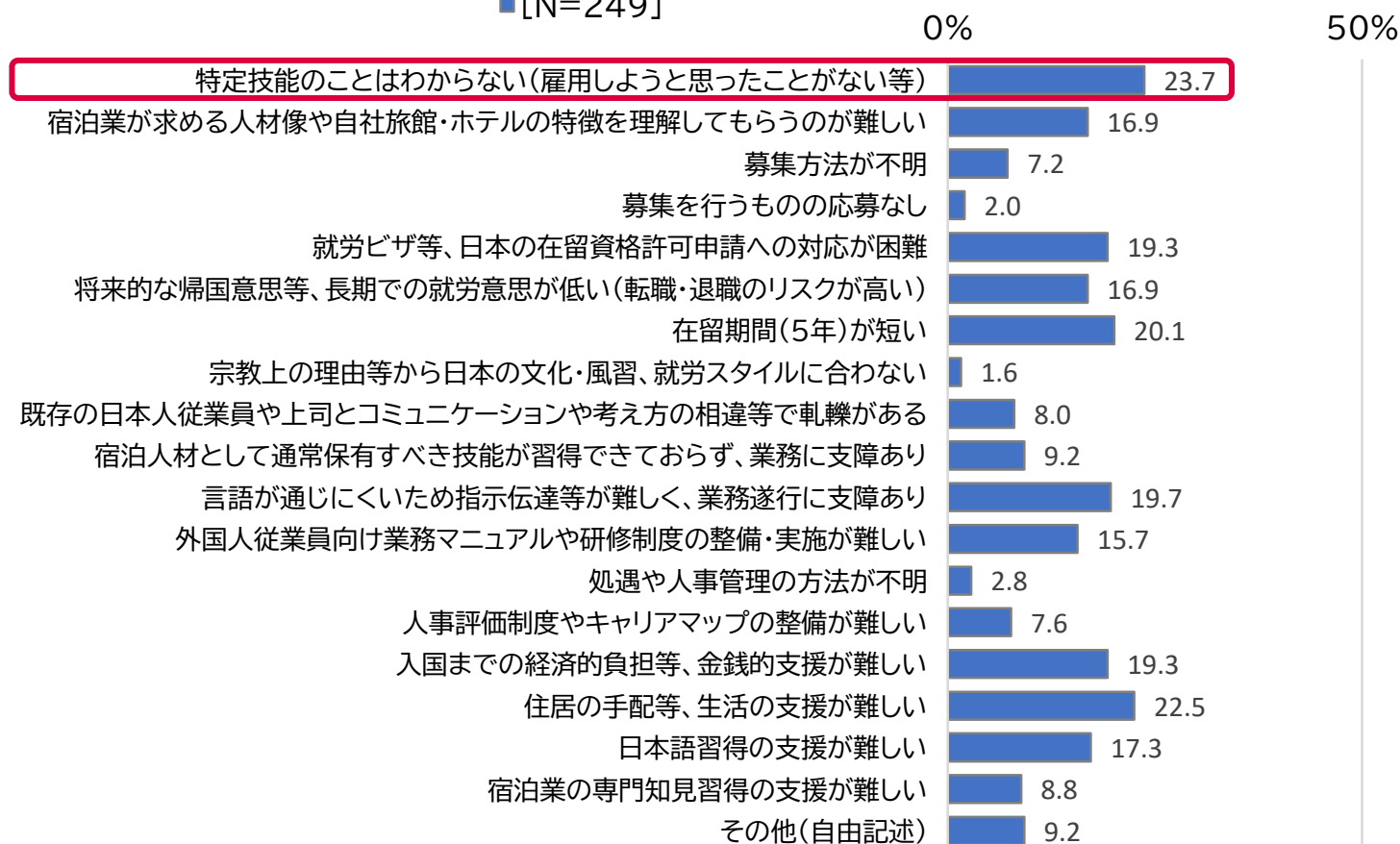


図 Q27 宿泊施設が特定技能人材を雇用する際の課題 ※複数回答

Q27: 宿泊施設が特定技能人材を雇用する際の課題(宿泊施設の種別)

- 特定技能人材を雇用する際の課題に関して、宿泊施設の種別による傾向を把握するため、特定技能人材を雇用する際の課題と、宿泊施設の種別をクロス集計した。

※以下表は、宿泊施設について、「その他」は回答数が少なかったため割愛。

- 旅館では、日本の在留資格許可申請への対応が困難(22.8%)が最多となった。
- ビジネスホテルでは、特定技能のことはわからない(42.1%)が最多となった。
- シティホテル・リゾートホテルでは、生活の支援が難しい(28.6%)が最多となった。

表 Q27 宿泊施設が特定技能人材を雇用する際の課題(宿泊施設の種別) ※複数回答

宿泊施設の種別	N数	特定技能のことはわからない(雇用しようと思ったことがない等)	宿泊業が求める人材像や自社旅館・ホテルの特徴を理解してもらうのが難しい	募集方法が不明	募集を行うものの応募なし	就労ビザ等、日本の在留資格許可申請への対応が困難	将来的な帰国意思等、長期での就労意思が低い(転職・退職のリスクが高い)	在留期間(5年)が短い	宗教上の理由等から日本の文化・風習、就労スタイルに合わない	既存の日本人従業員や上司とコミュニケーションや考え方の相違等で軋轢がある
旅館	127	18.9%	20.5%	9.4%	2.4%	22.8%	19.7%	19.7%	0.8%	7.9%
ビジネスホテル	57	42.1%	10.5%	5.3%	1.8%	15.8%	15.8%	17.5%	1.8%	7.0%
シティホテル・リゾートホテル	63	17.5%	15.9%	4.8%	1.6%	15.9%	11.1%	22.2%	3.2%	9.5%

宿泊施設の種別	N数	宿泊人材として通常保有すべき技能が習得できておらず、業務に支障あり	言語が通じにくい指示伝達等が難しく、業務遂行に支障あり	外国人従業員向け業務マニュアルや研修制度の整備・実施が難しい	処遇や人事管理の方法が不明	人事評価制度やキャリアマップの整備が難しい	入国までの経済的負担等、金銭的支援が難しい	住居の手配等、生活の支援が難しい	日本語習得の支援が難しい	宿泊業の専門知見習得の支援が難しい	その他(自由記述)
旅館	127	7.9%	18.9%	15.0%	1.6%	10.2%	20.5%	21.3%	18.1%	7.1%	11.8%
ビジネスホテル	57	8.8%	17.5%	12.3%	5.3%	1.8%	14.0%	17.5%	15.8%	10.5%	3.5%
シティホテル・リゾートホテル	63	12.7%	22.2%	20.6%	3.2%	7.9%	22.2%	28.6%	17.5%	11.1%	7.9%

5-1. 宿泊事業者調査

Q27: 宿泊施設が特定技能人材を雇用する際の課題(宿泊施設の規模別)

- 特定技能人材を雇用する際の課題に関して、宿泊施設の規模による傾向を把握するため、特定技能人材を雇用する際の課題と、宿泊施設の規模(部屋数)をクロス集計した。

※以下グラフは、雇用する際の課題について、「その他」を除くN=20以上の回答を抜粋して掲載。

- 例えば回答数が多い「特定技能のことはわからない」は、10～30部屋(27.1%)が最多となった。

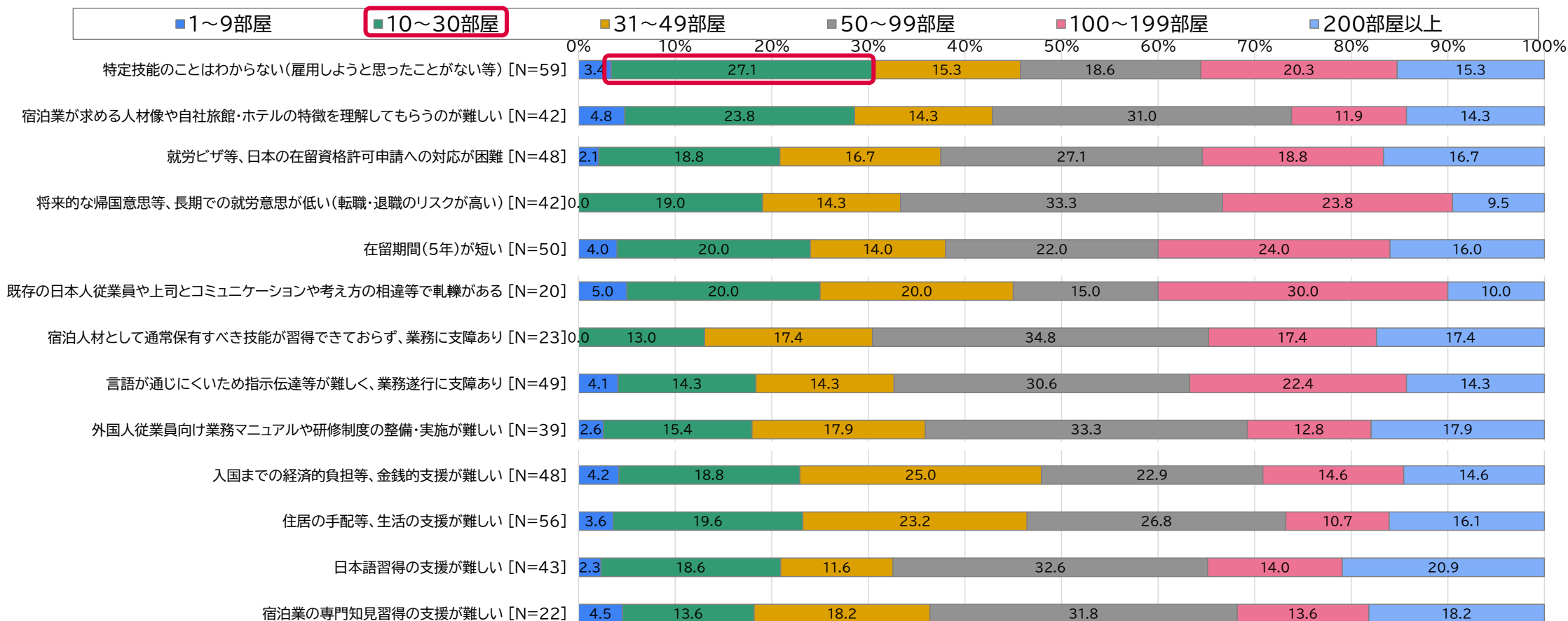


図 Q27 宿泊施設が特定技能人材を雇用する際の課題(宿泊施設の規模別)

Q28: 宿泊施設が外国人を雇用していない理由

- 現在は外国人を雇用していない、または過去一度も外国人を雇用したことがない宿泊施設に、外国人を雇用していない理由を質問したところ、**雇用するつもりがない(56.2%)**が**最多**となった。次いで、雇用したいが行動を起こせていない(35.5%)が続いた。

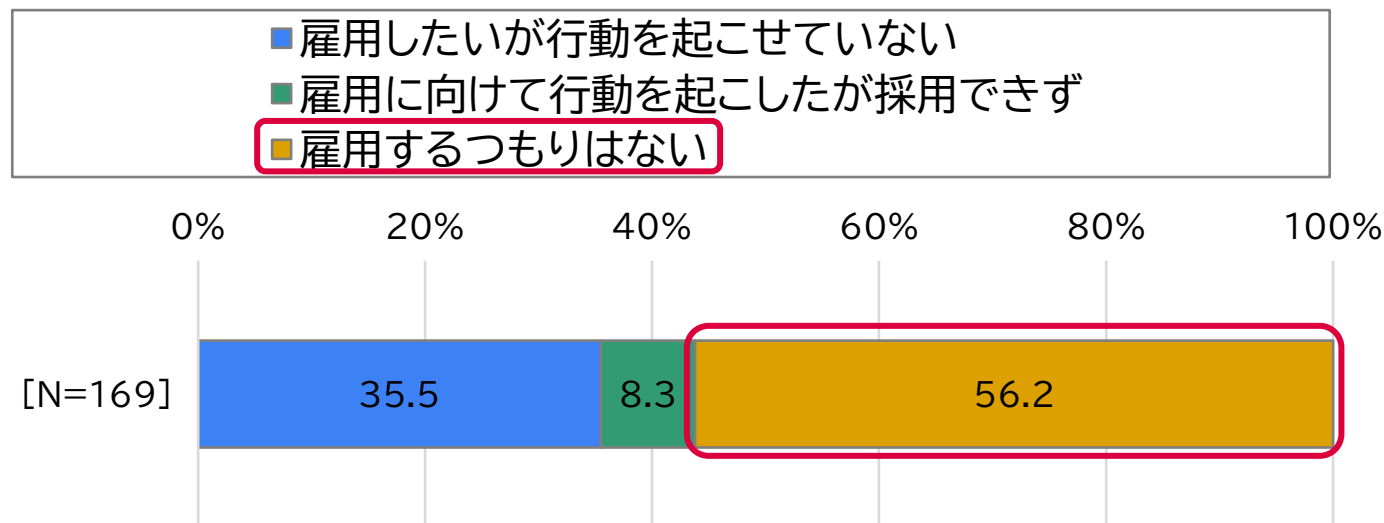


図 Q28 宿泊施設が外国人を雇用していない理由

Q29:宿泊施設が外国人を雇用するための行動を起こせていない理由

- 外国人を雇用したいが行動を起こせていないと回答した宿泊施設に、外国人を雇用するための行動を起こせていない理由を質問したところ、**外国人の雇用ニーズは強くない(46.7%)**が最多となった。次いで、募集にかかる時間や人員の余裕がない(31.7%)が続いた。

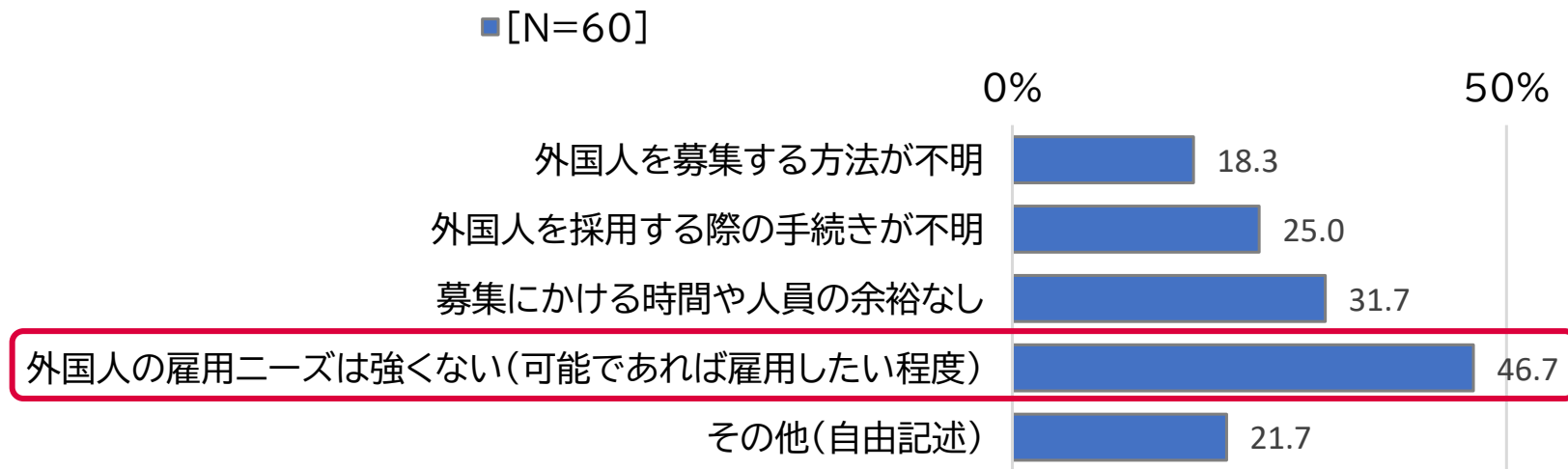


図 Q29宿泊施設が外国人を雇用するための行動を起こせていない理由 ※複数回答

Q29:宿泊施設が外国人を雇用するための行動を起こせていない理由(宿泊施設の種別)

- 外国人を雇用するための行動を起こせていない理由に関して、施設種別ごとの傾向を把握するため、外国人を雇用するための行動を起こせていない理由と、回答した宿泊施設の種別をクロス集計した。
- 回答数が最も多い**旅館**では、**外国人の雇用ニーズは強くない(45.7%)が最多**となった。次いで、募集にかかる時間や人員の余裕がない(34.3%)が続いた。

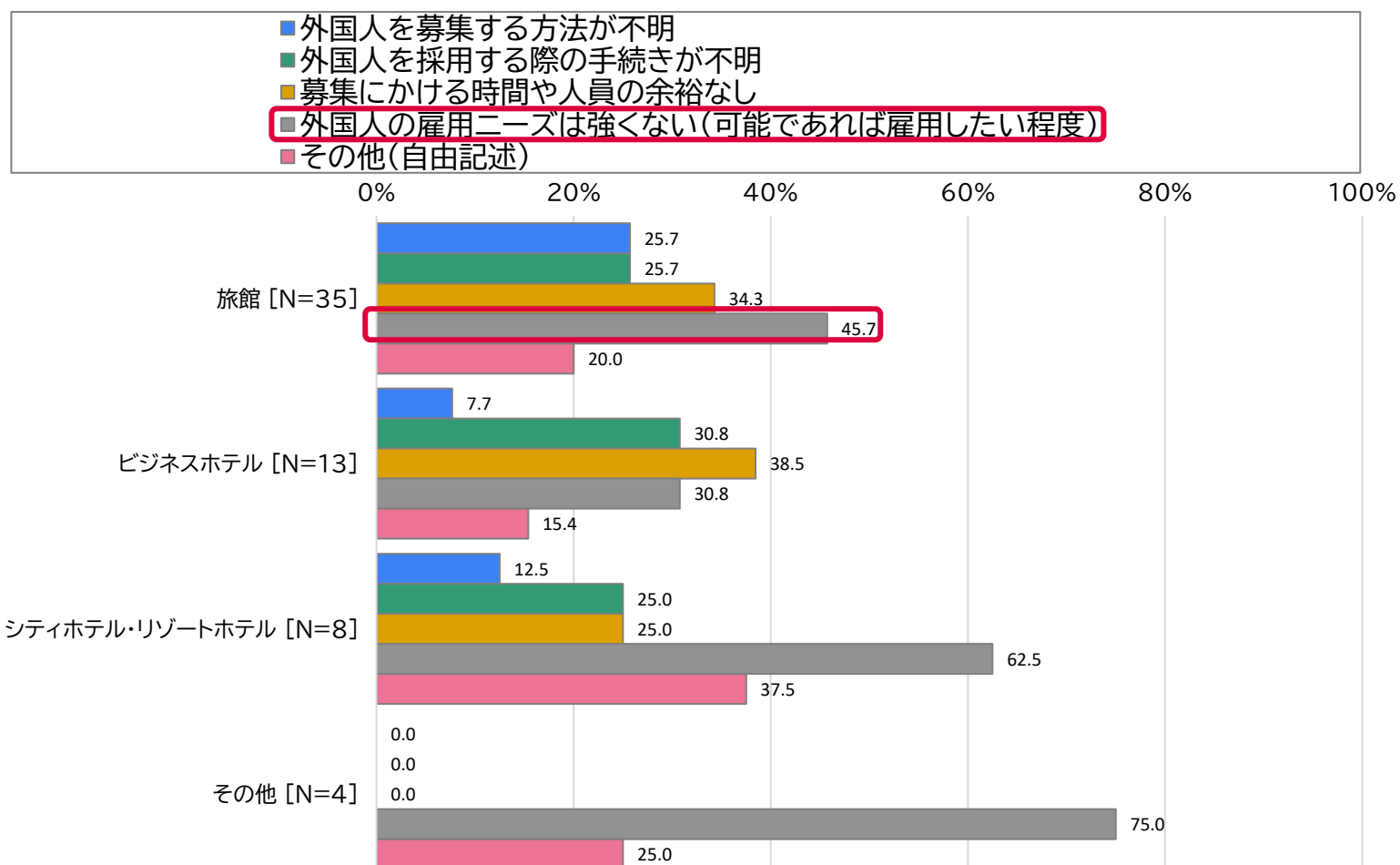


図 Q29宿泊施設が外国人を雇用するための行動を起こせていない理由(宿泊施設の種別) ※複数回答

Q30:宿泊施設が外国人を採用できなかった理由

- 回答数が少ないことに注意が必要だが、外国人を雇用するために行動を起こしたが採用できなかった宿泊施設に、外国人を採用できなかった理由を質問したところ、**条件が折り合わなかった(64.3%)が最多**となった。次いで、外国人の応募がなかった(21.4%)が続いた。
- 「条件が折り合わない」状況について、参考となる自由記述を抜粋する。
 - web面接を実施したが、実際に会ってみると**日本語の習熟度がかなり低く**、健康診断(問診表)、人事考課、社会保険等のしくみを理解してもらうのが難しい。日本語教育の充実が必須である。
 - この制度を活用し雇用しても、彼らの**日本語力は殆どがN4レベルが多く**、**指導するも戦力にするには時間がかかる**のが現状である。

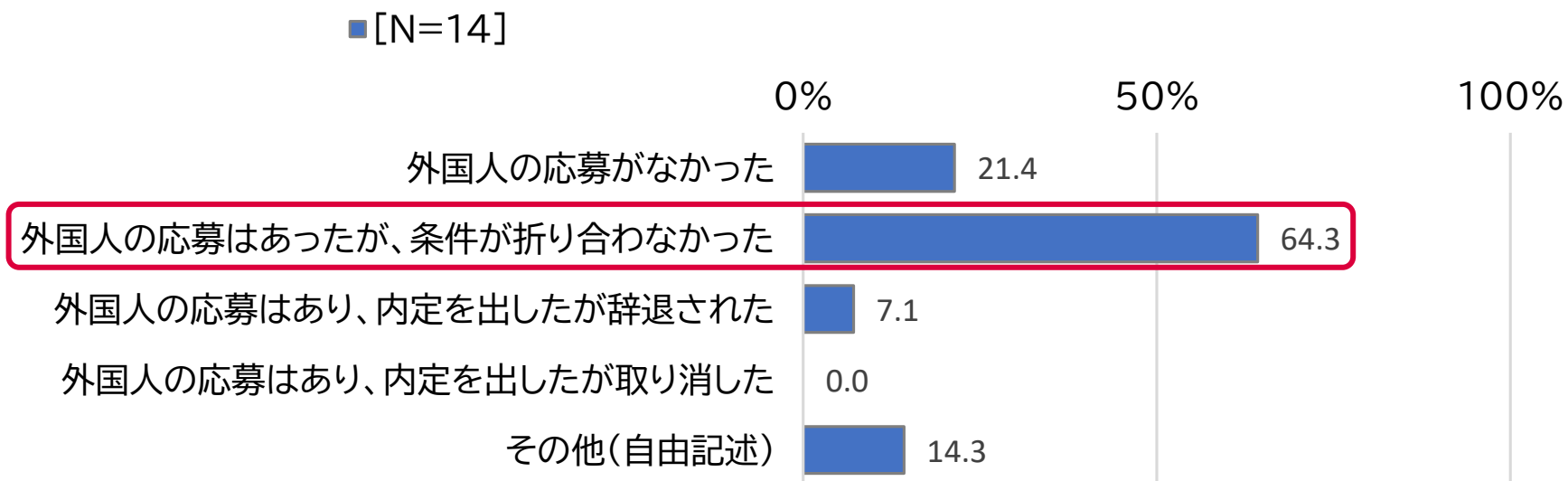


図 Q30宿泊施設が外国人を採用できなかった理由 ※複数回答

Q31: 宿泊施設が外国人を雇用したいと思わない理由

- 外国人を雇用する意向がない宿泊施設に、外国人を雇用したいと思わない理由を質問したところ、**日本人の雇用で充足している(45.3%)が最多**となった。次いで、文化や風習の違いにより業務上支障あり(21.1%)、言語が通じず業務上支障あり(20.0%)が続いた。

■[N=95]

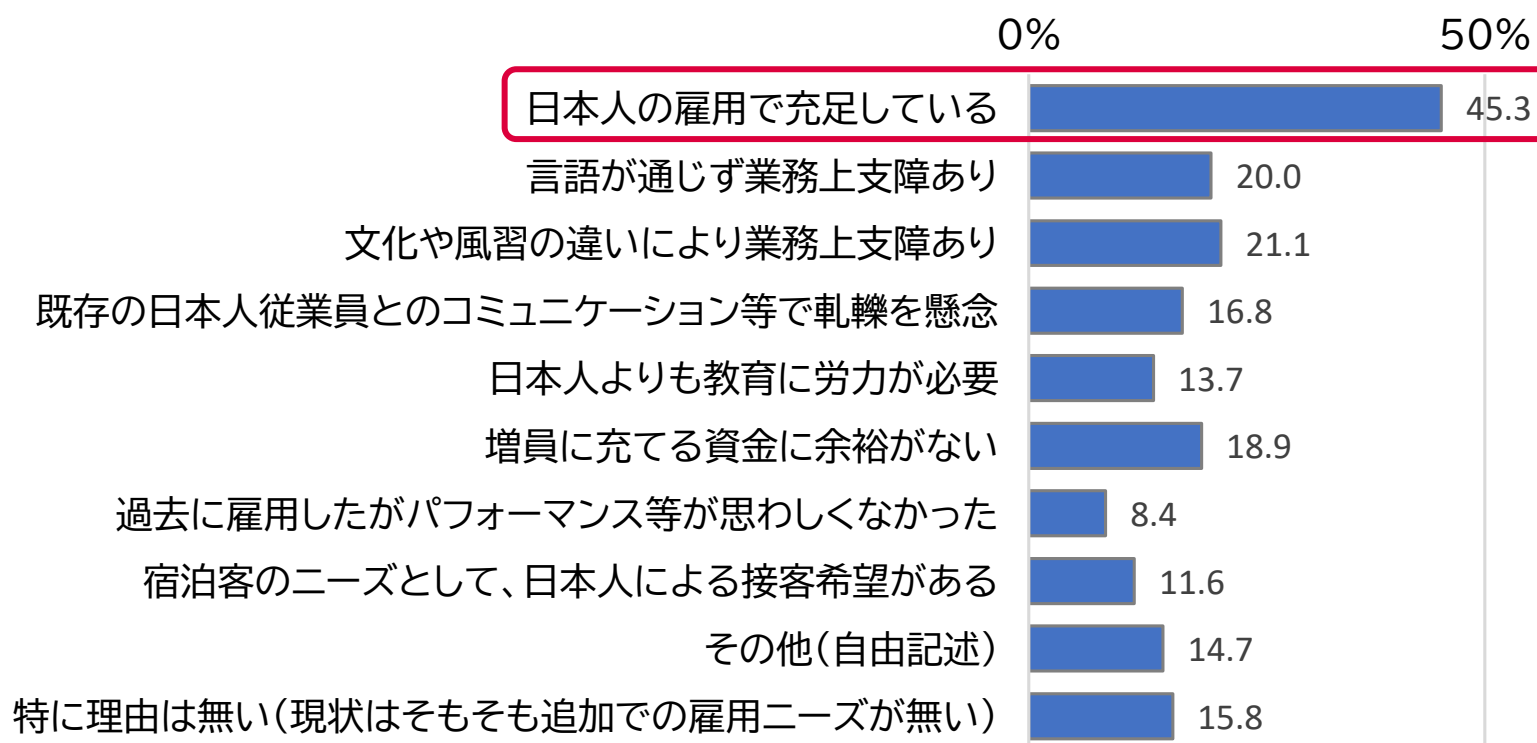


図 Q31 宿泊施設が外国人を雇用したいと思わない理由 ※複数回答

Q31: 宿泊施設が外国人を雇用したいと思わない理由(宿泊施設の種別)

- 宿泊施設が外国人を雇用したいと思わない理由に関して、宿泊施設の種別による傾向を把握するため、宿泊施設が外国人を雇用したいと思わない理由と、宿泊施設の種別をクロス集計した。

※以下グラフは、宿泊施設について、回答数が30以上ある旅館とビジネスホテルを抜粋して掲載。

- 旅館・ビジネスホテルでは、**日本人の雇用で充足している(各42.0%、50.0%)**が**最多**となった。

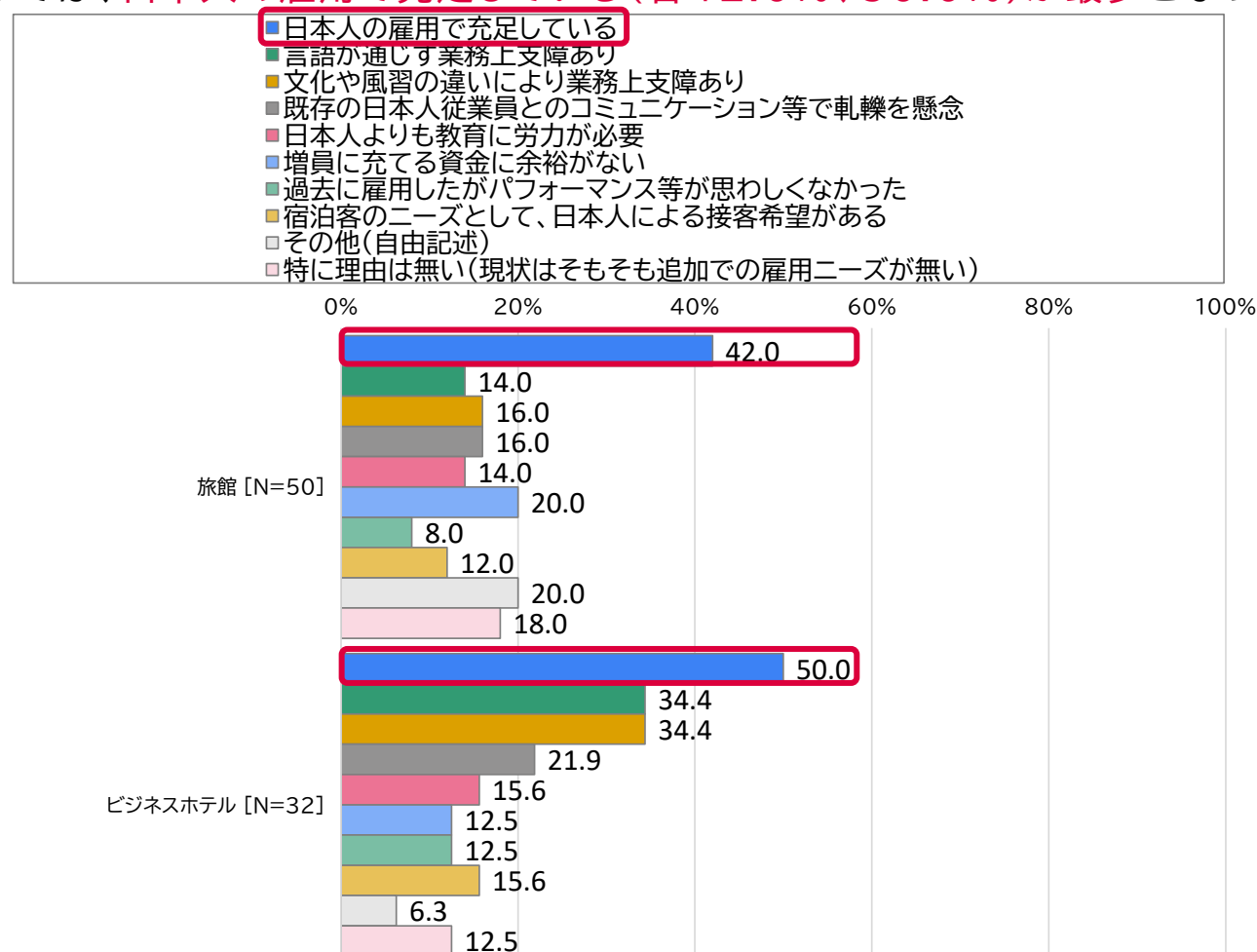


図 Q31 宿泊施設が外国人を雇用したいと思わない理由(宿泊施設の種別) ※複数回答

Q32: 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格

- 外国人を雇用する意向のある宿泊施設*に、今後新たに雇用を希望する在留資格を質問したところ、**特定技能(宿泊)(55.0%)**が**最多**となった。次いで、技術・人文知識・国際業務(42.1%)が続いた。
■ [N=271]

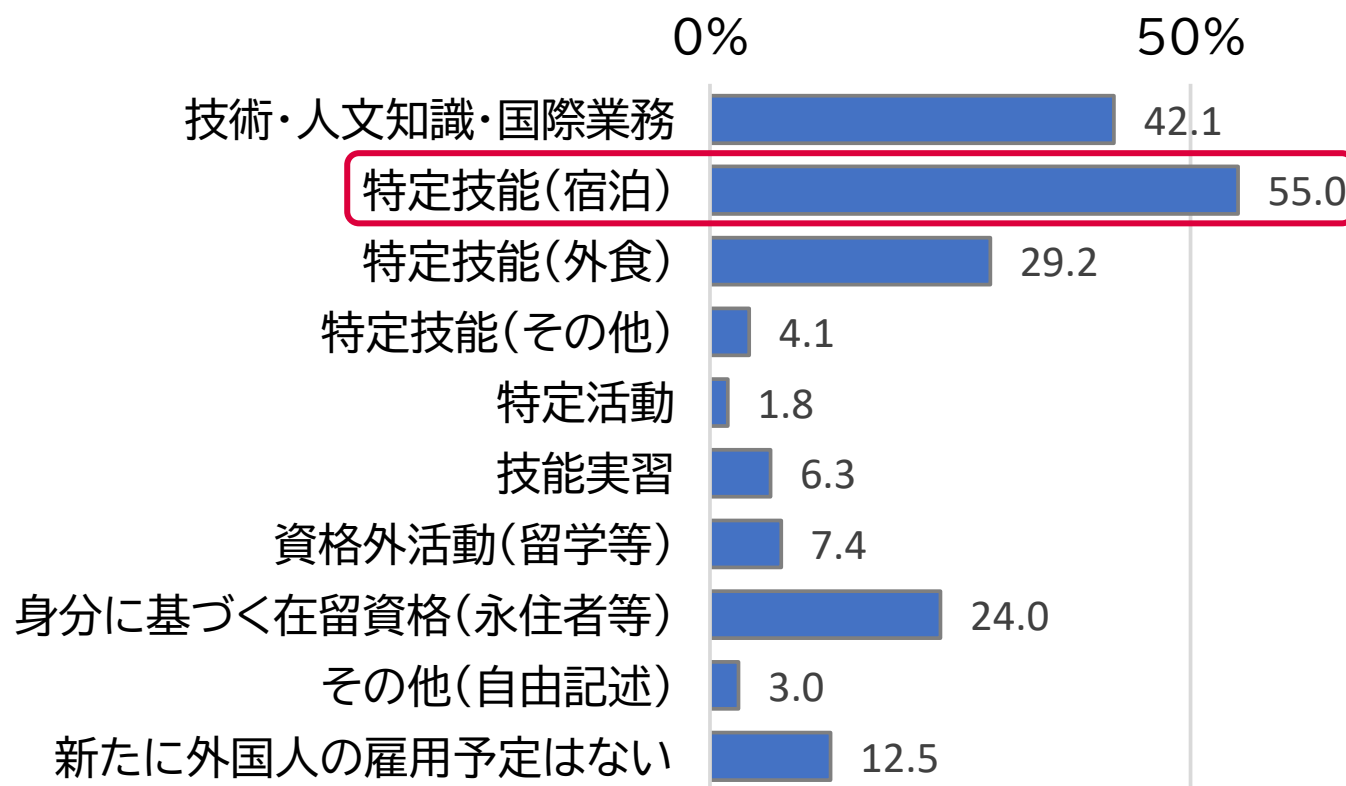


図 Q32 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格 ※複数回答

*現在外国人を雇用している施設、及び現在外国人を雇用していない施設のうちQ28で「雇用するつもりはない」と回答しなかった施設

Q32: 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格(宿泊施設の種別)

- 今後新たに雇用したい外国人の在留資格に関して、宿泊施設の種別による傾向を把握するため、今後新たに雇用したい外国人の在留資格と、宿泊施設の種別をクロス集計した。

※以下グラフは、在留資格について、本事業で着目している技術・人文知識・国際業務、特定技能を抜粋して掲載。

- 旅館、シティホテル・リゾートホテルでは、**特定技能(宿泊)**(各63.8%、49.2%)が**最多**となった。
- ビジネスホテルでは、**技術・人文知識・国際業務**(43.5%)が**最多**となった。

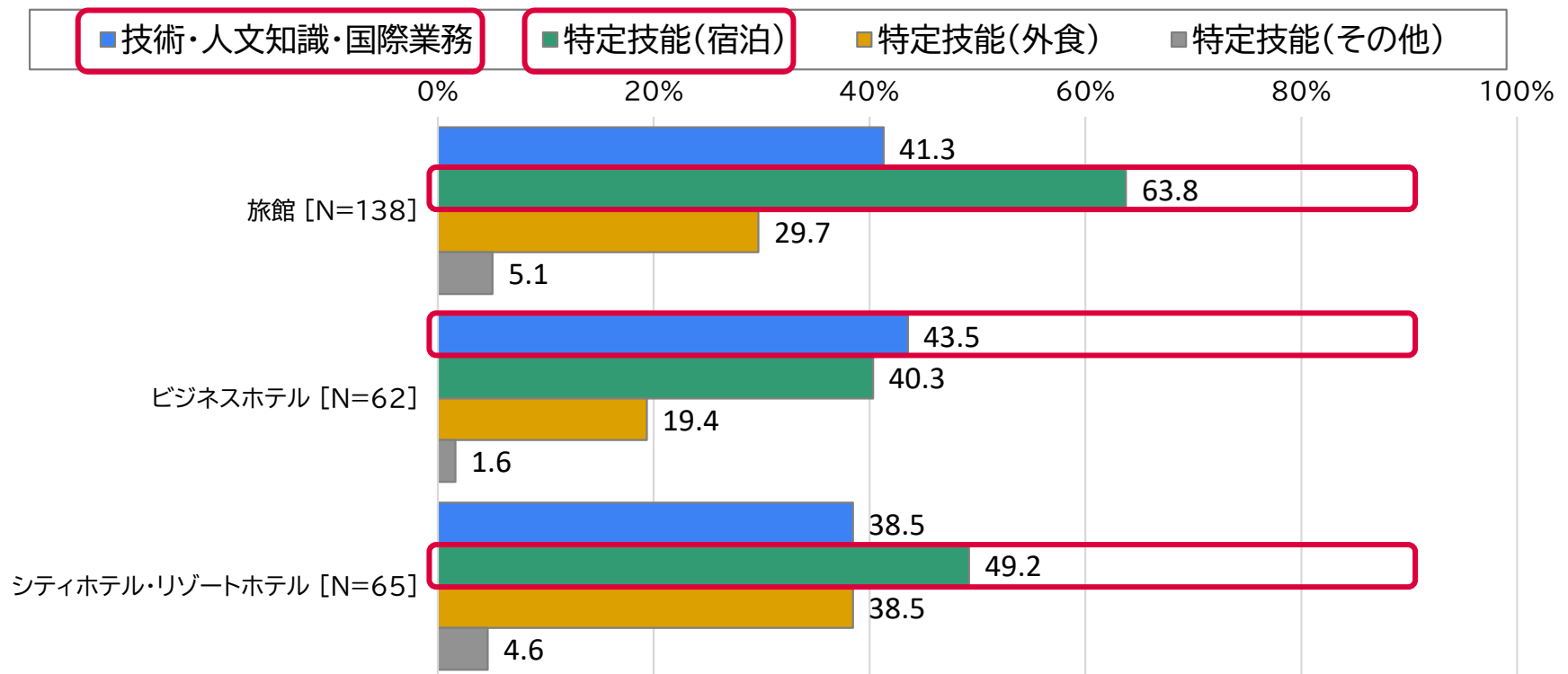


図 Q32 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格(宿泊施設の種別) ※複数回答

5-1. 宿泊事業者調査

Q32: 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格(現在雇用している在留資格別)

- 今後新たに雇用したい外国人の在留資格に関して、現在雇用している外国人の在留資格との関係性を把握するため、今後新たに雇用したい外国人の在留資格と、現在雇用している外国人の在留資格をクロス集計した。
※以下グラフは、現在雇用している在留資格について、本事業で着目している技術・人文知識・国際業務と特定技能(宿泊)を抜粋して掲載。
- 現在技術・人文知識・国際業務を雇用している宿泊施設は、**技術・人文知識・国際業務を追加で雇用したい割合は58.8%**となった。
- 現在特定技能(宿泊)を雇用している宿泊施設は、**特定技能(宿泊)を追加で雇用したい割合は70.8%**となった。

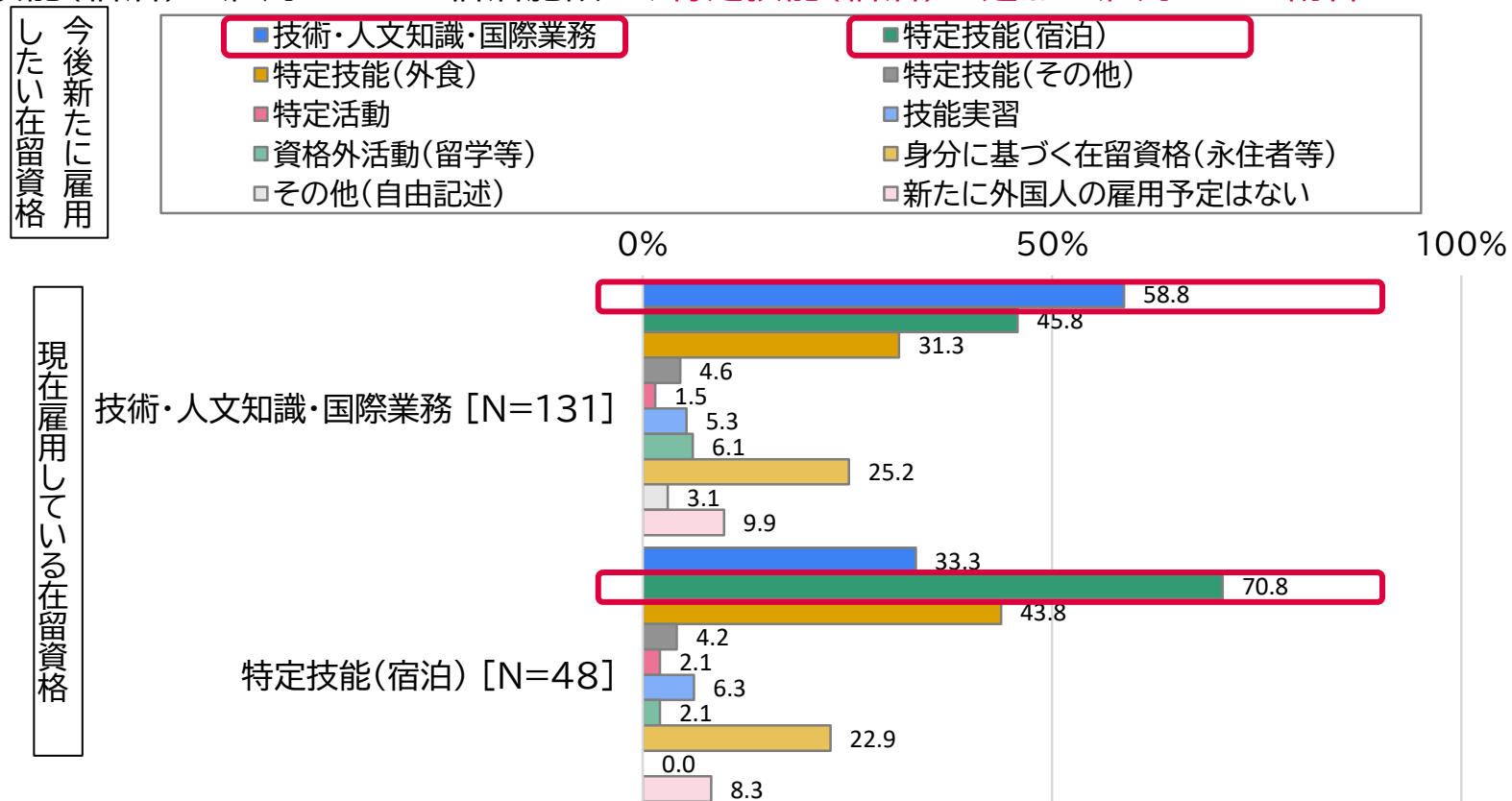


図 Q32 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格(現在雇用している在留資格別) ※複数回答

Q32: 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格(宿泊施設の規模別)

- 今後新たに雇用したい外国人の在留資格に関して、宿泊施設の規模による傾向を把握するため、今後新たに雇用したい外国人の在留資格と、宿泊施設の規模(部屋数)をクロス集計した。
※以下グラフは、在留資格について、回答数が70以上ある技術・人文知識・国際業務、特定技能(宿泊・外食)を抜粋して掲載。
- 技術・人文知識・国際業務は、**10～30部屋(24.6%)**が最多となった。次いで、50～99部屋(22.8%)、100～199部屋(21.1%)が続いた。
- 特定技能(宿泊)は、**10～30部屋(26.2%)**、**50～99部屋(同26.2%)**が最多となった。次いで、100～199部屋(19.5%)が続いた。

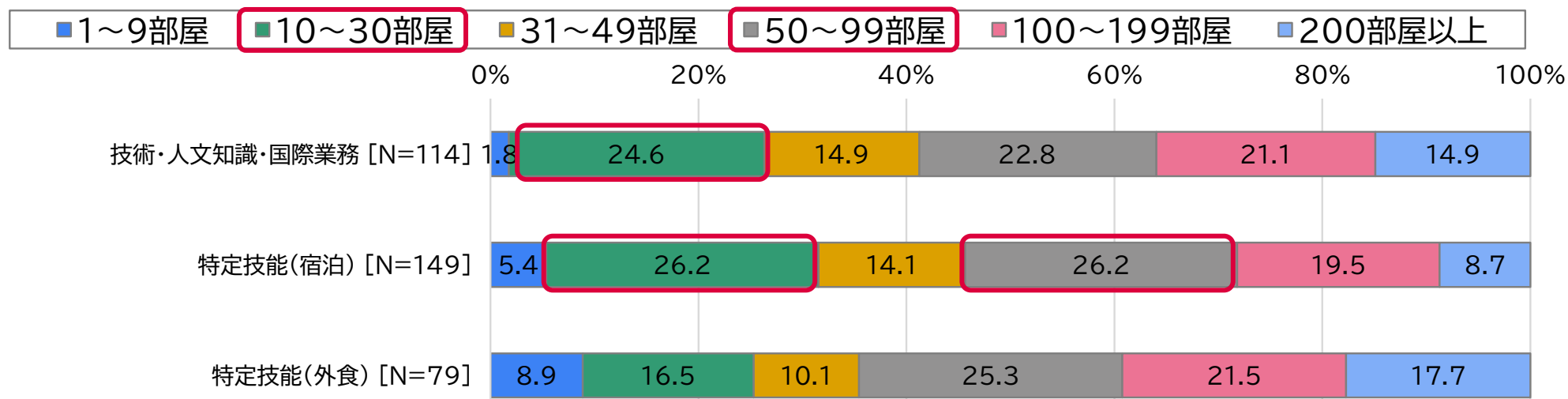


図 Q32 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格(宿泊施設の規模別)

Q32: 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格(雇用の充足度別)

- 今後新たに雇用したい外国人の在留資格に関して、宿泊施設における人手不足の状況(雇用の充足度)との関係性を把握するため、今後新たに雇用したい外国人の在留資格と、宿泊施設における雇用の充足度をクロス集計した。

※以下グラフは、在留資格は本事業で着目している特定技能を、部門は保有する施設が多い宿泊部門を抜粋して掲載。

- 特定技能(宿泊)を雇用したいという回答をした宿泊施設の雇用の充足度は、**81~100%の施設(44.0%)**が**最多**となった。次いで、61~80%の施設(29.8%)、41~60%の施設(12.1%)が続いた。

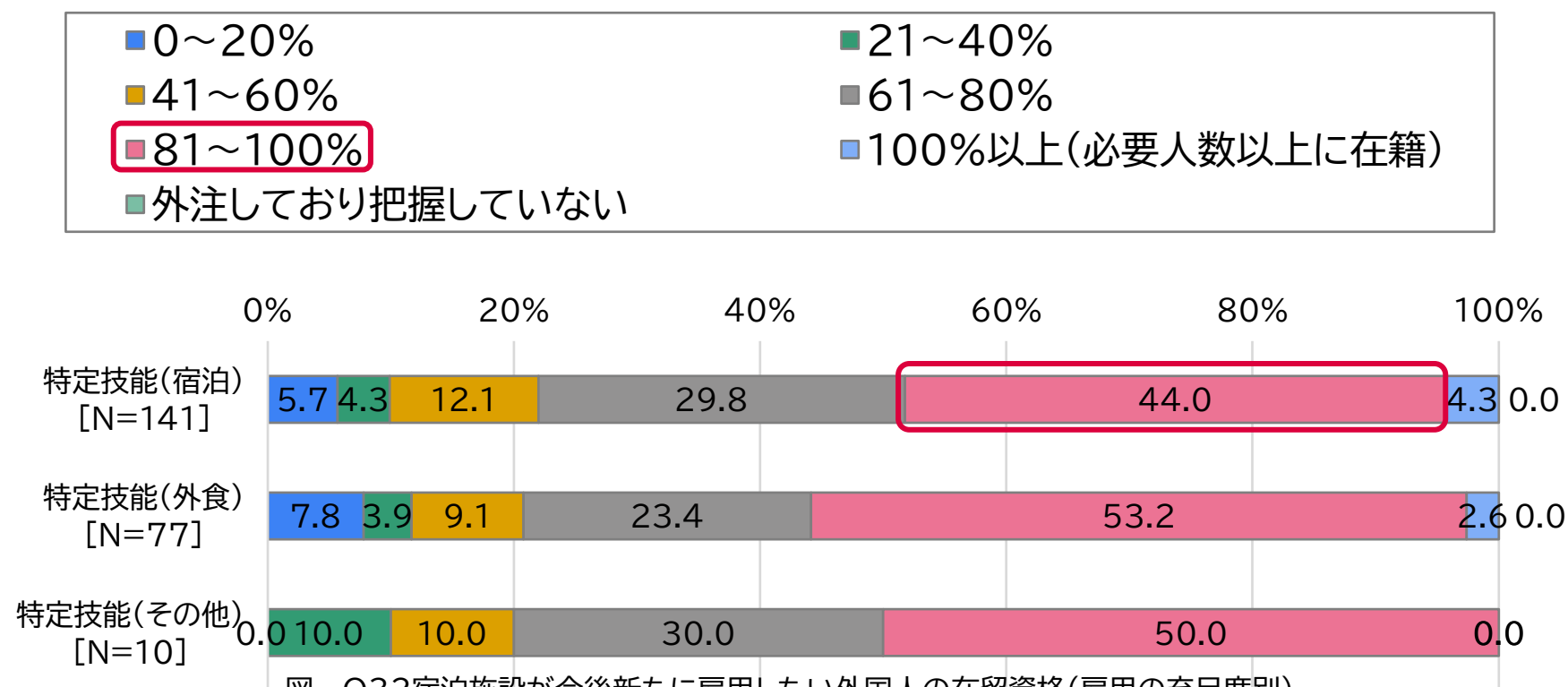


図 Q32 宿泊施設が今後新たに雇用したい外国人の在留資格(雇用の充足度別)

Q33: 宿泊施設が特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由

- 今後新たに雇用したい在留資格として「特定技能(宿泊)」と回答しなかった宿泊施設に、回答しなかった理由を質問したところ、**特定技能制度の認知不足(24.6%)**が最多となった。次いで、特定技能人材のレベルやスキルに関する認知不足(23.8%)、経費負担の重さ(23.0%)が続いた。

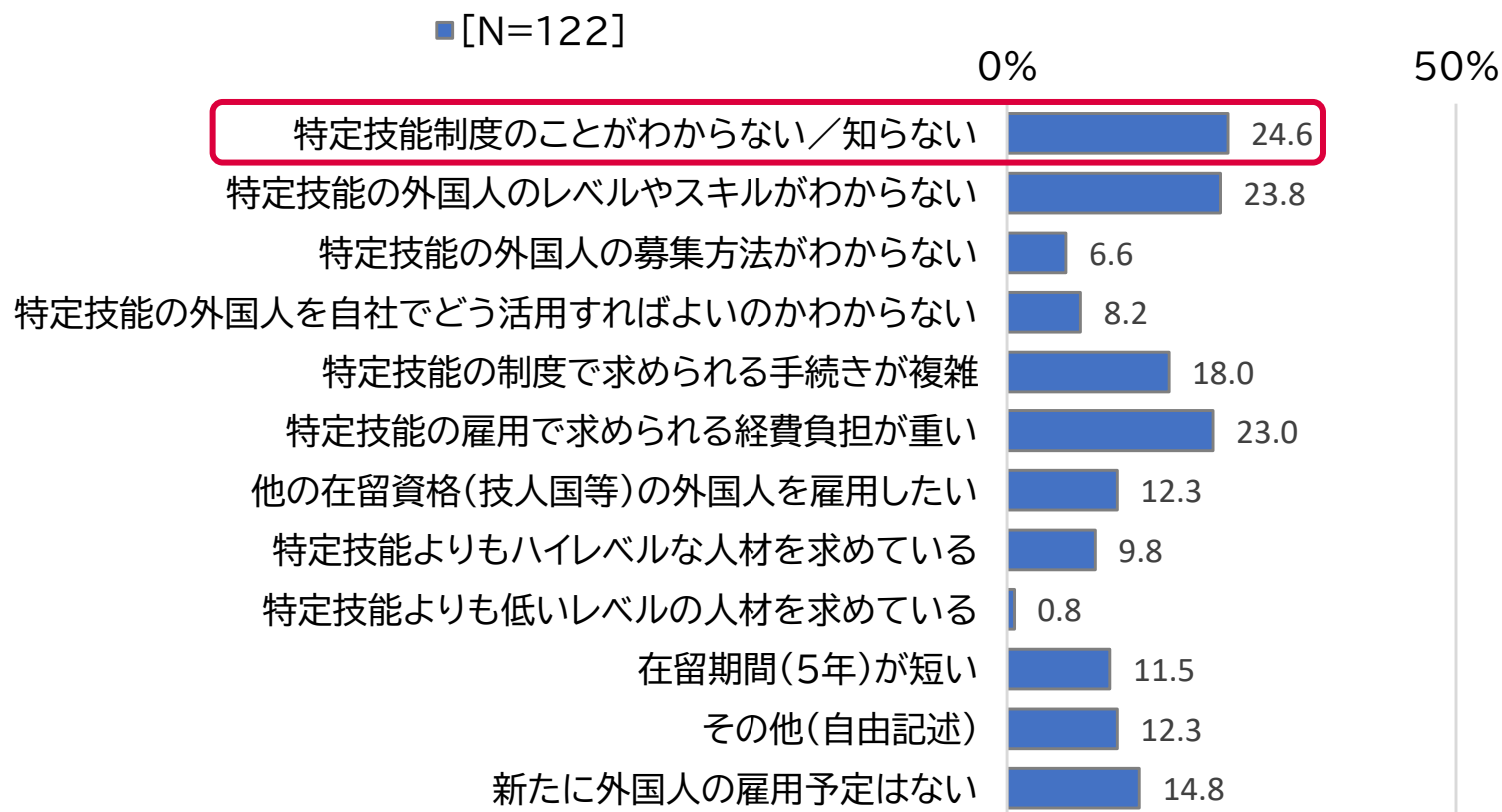


図 Q33 宿泊施設が特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由 ※複数回答

5-1. 宿泊事業者調査

Q33: 宿泊施設が特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由(宿泊施設の種別)

- 特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由に関して、宿泊施設の種別による傾向を把握するため、特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由と、宿泊施設の種別をクロス集計した。

※以下グラフは、宿泊施設について、回答数が30以上ある旅館、ビジネスホテル、シティホテル・リゾートホテルを抜粋して掲載。

- 旅館では、特定技能の雇用で求められる経費負担が重い(28.0%)が最多となった。
- ビジネスホテルでは、特定技能制度の認知不足(43.2%)が最多となった。
- シティホテル・リゾートホテルでは、特定技能人材のレベルやスキルの認知不足(27.3%)、特定技能の雇用で求められる経費負担が重い(同27.3%)が最多となった。

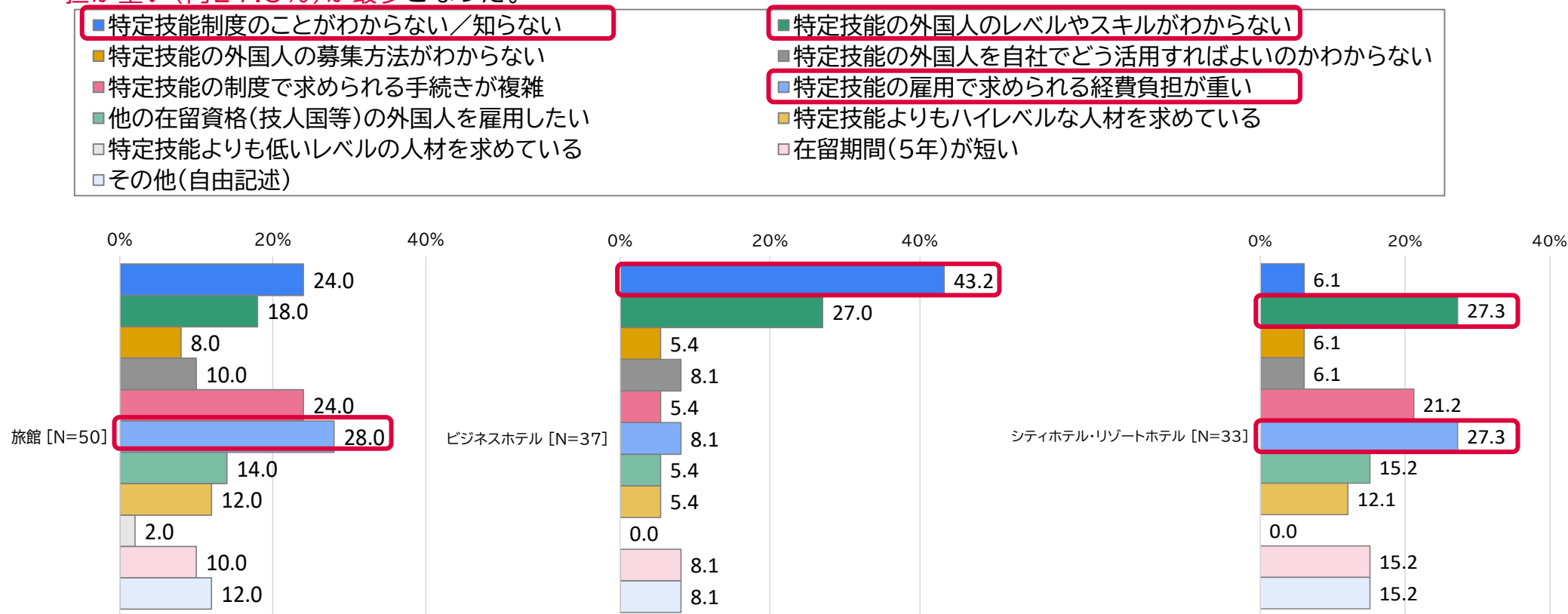


図 Q33 宿泊施設が特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由(宿泊施設の規模別) ※複数回答

5-1. 宿泊事業者調査

Q33: 宿泊施設が特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由(外国人の雇用状況別)

- 特定技能人材の雇用実績のある宿泊施設が、特定技能(宿泊)の雇用を希望しない理由を把握するため、特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由と、外国人の雇用状況(特定技能の雇用実績あり)をクロス集計した。
- 現在特定技能人材を雇用している宿泊施設は、特定技能人材のレベルやスキルの認知不足・その他(各21.4%)が最多となった。
- 「その他」について、「継続的費用がかかる。手続きが面倒。」、「3ヶ月に1回程度の報告の手間が非常にかかる」、「有資格者が少ない」、「宿泊部門については現状充足している」といった意見があった。
- 現在特定技能人材ではない外国人を雇用している宿泊施設は、特定技能の雇用で求められる経費負担が重い(29.0%)が最多となった。
- 過去に特定技能人材の雇用経験がある宿泊施設は、特定技能制度の認知不足・特定技能人材のレベルやスキルの認知不足(各38.5%)が最多となった。



図 Q33 宿泊施設が特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由(外国人の雇用状況別)
※複数回答

Q33: 宿泊施設が特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由(宿泊施設の規模別)

- 特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由に関して、宿泊施設の規模による傾向を把握するため、特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由と、宿泊施設の規模(部屋数)をクロス集計した。
- 特定技能人材のレベルやスキルの認知が不足している宿泊施設は、50～99部屋(27.6%)が最多となった。
- 他の在留資格を雇用したい宿泊施設は、50～99部屋(33.3%)、200部屋以上(同33.3%)が最多となった。
- 特定技能よりもハイレベルな人材を求める宿泊施設は、200部屋以上(33.3%)が最多となった。

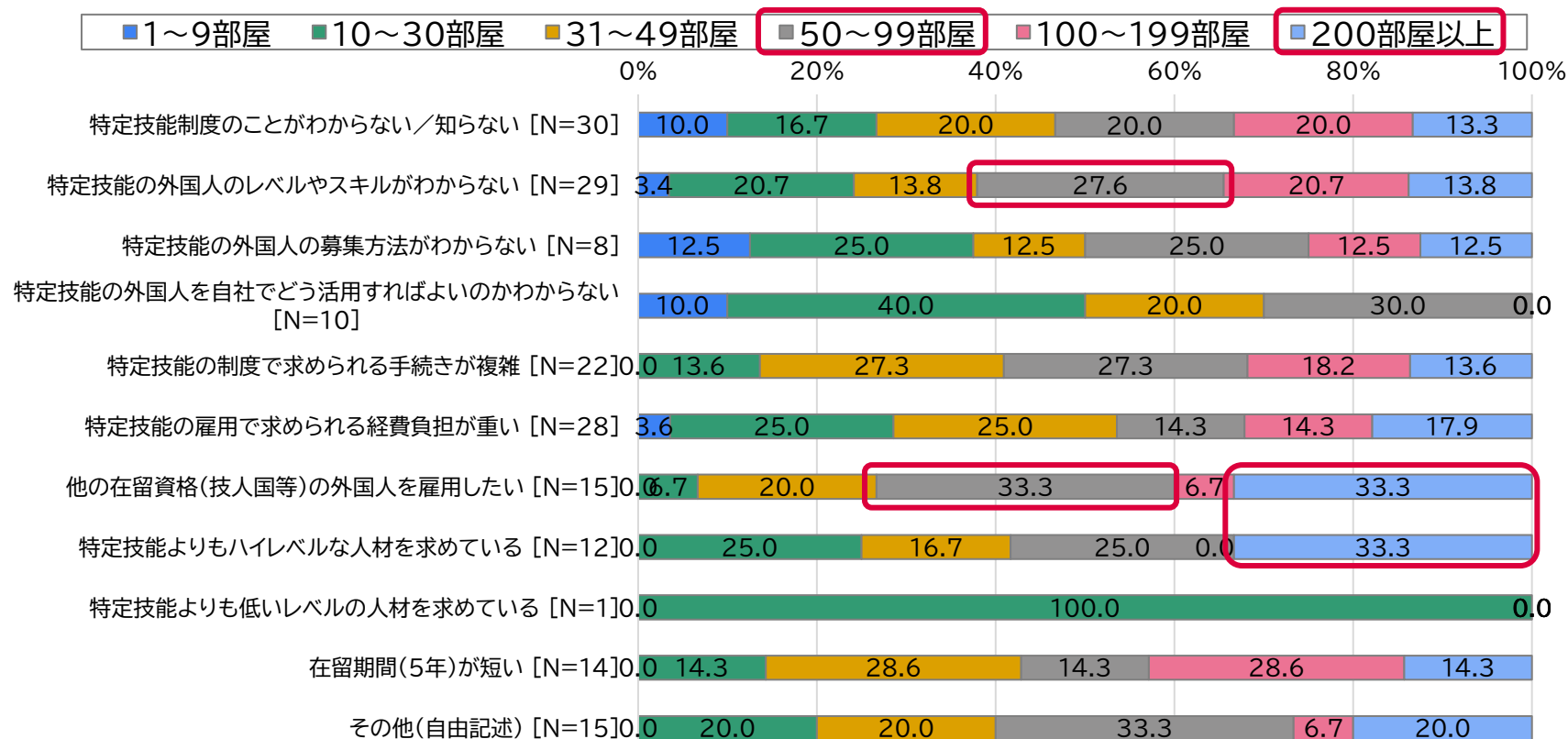


図 Q33 宿泊施設が特定技能(宿泊)を雇用したいと思わない理由(宿泊施設の規模別)

Q34: 宿泊施設が新たに雇用する外国人に依頼したい業務

- 外国人を雇用する意向のある宿泊施設に、新たに雇用する外国人に依頼したい業務を質問したところ、**宿泊に関する業務(70.5%)が最多**となった。次いで、料飲に関する業務(42.4%)、清掃に関する業務(38.4%)が続いた。

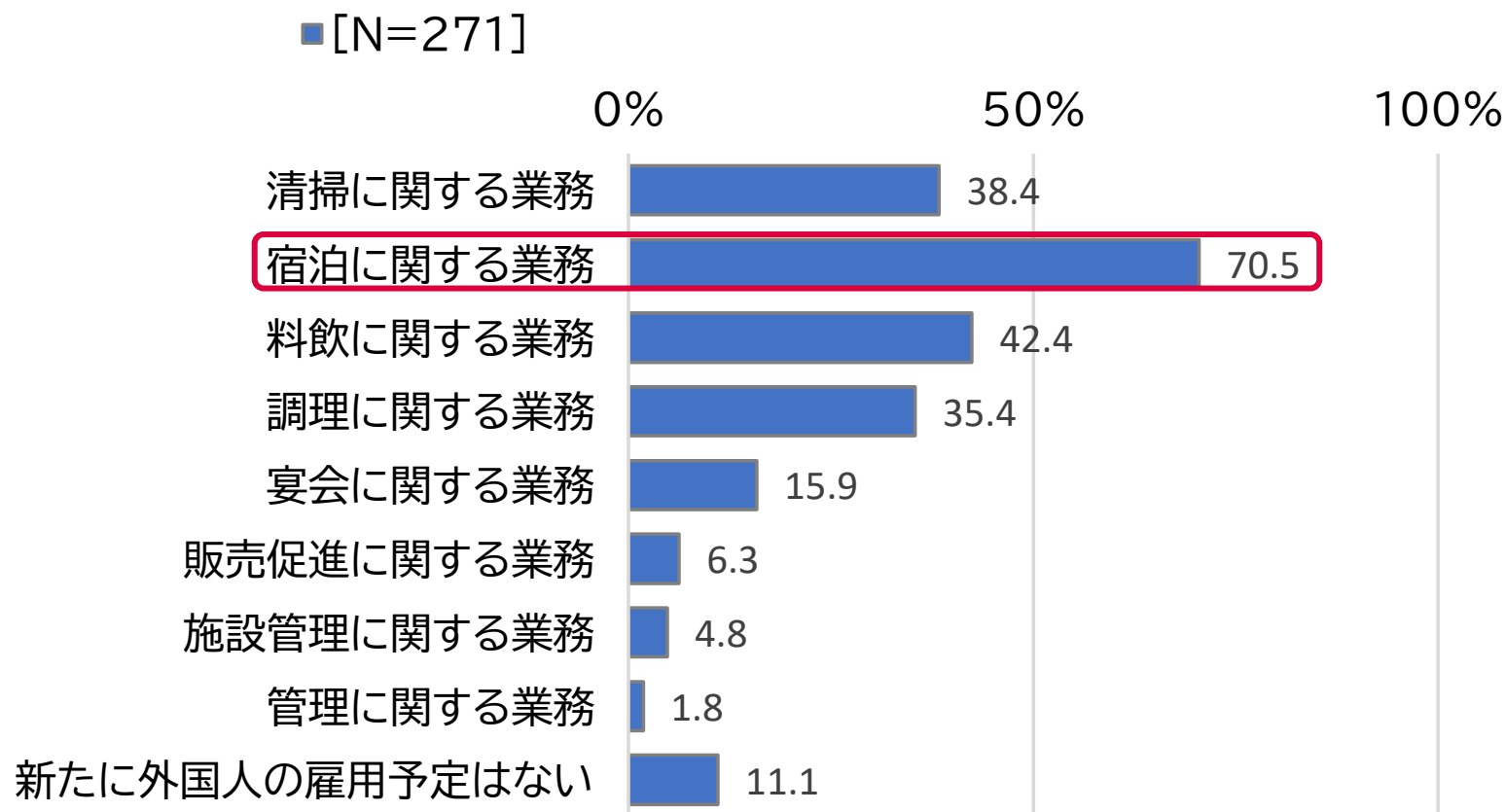


図 Q34 宿泊施設が新たに雇用する外国人に依頼したい業務 ※複数回答

Q35: 人手不足の改善のために、回答者が必要と考える対応

- 人手不足の改善のために、回答者が必要と考える対応は以下である(自由記述を一部抜粋・編集)。

対応分類		必要と考える対応の詳細
事業者負担の軽減	ビザ	・ 特定技能(宿泊)を雇用したいが、初期費用とビザの更新や報告など負担が多いため、支援や更なる規制緩和をしてもらいたい。また、観光専門の学校などで宿泊施設でのアルバイトで単位がもらえる等仕組みがあれば有難い。 ・ 宿泊施設は時間帯によって忙しい部署が異なるので全ての業務に対応できるようなビザを望む。 ・ 日本人就労者の確保が難しい場合には外国籍就労者も視野に入れなければならないが、宿泊観光産業に特化した就労ビザの新設が必要である。特定技能ではタスク及び経費がかかり過ぎるので、使い勝手が悪い。 ・ 海外人材の雇用は今後も必要不可欠になってくるが、国内の採用に比べてビザの手続きに時間を要し、入社までのリードタイムが非常に長い。その辺りもう少しスムーズになるようにして頂きたい。
	経費	・ 外国人雇用に関しての行政手続きの簡素化。あまりにも手間がかかりすぎてブラックボックス状態なので内製化できず、結果として管理団体などに管理費名目で高いコストを支払っている。 ・ 地方の企業で採用した特定技能の外国人スタッフが、条件のいい都会の企業へ転職することが多い。地方の企業だけが入国までの経費を払って負担になっている。入国後はしばらく転職できない制度にするか、転職する場合は入国までの経費を外国人スタッフもしくは都会の企業もある程度支払う制度が必要。 ・ 特定技能の外国人を採用しようにも渡航費から各会社負担では持ち出しが大きすぎる。特定技能や技能実習生をまとめて各自治体や政府が日本に渡航させ、それから面接が出来るようになると採用しやすい。
外国人雇用形態・業務内容の改善	雇用形態	・ 技人国の仕事の幅を増やすか、特定技能の語学力を上げてもらいたい。高齢者雇用には、行政の補助があっても良いと思う。
	業務内容	・ パートなど気軽に採用できる外国人求職者が増えれば良いと思う。またそのような制度が必要と思う。一企業でフルタイムの雇用ではなく、地域を巻き込んだ形で中小零細企業間でのワークシェアなどを行えば離職したとしても別の働き口を地域内で見つけたり、地域全体を通しての外国人受け入れにつながると思う。

5-2.宿泊業に従事する外国人従業員調査

- 調査概要
- 設問及び選択肢の一覧
- 調査結果

宿泊業に従事する外国人従業員調査の概要

● 宿泊業に従事する外国人従業員調査の概要は以下のとおりである。

- 本調査はやさしい日本語、英語の二言語で実施しており、紹介するデータはやさしい日本語の選択肢を表示する。分析においては一般的な日本語に翻訳した上でデータを紹介する。
- 複数回答の設問については、図タイトルにその旨を明記する（無記載は単数回答）。

実施目的	・ 宿泊施設で働く外国人従業員の年齢・在留資格・業務等の実態、および就労先として日本/宿泊業を選択した理由や、働くうえで課題に感じていること、将来ビジョンなどを把握
調査対象	宿泊施設で働く外国人従業員
調査項目	・ 属性情報 ➢ 勤務する宿泊施設の所在地、規模、種別、年齢、国籍、日本語力、在留資格 ➢ （在留資格が特定技能の場合）資格取得経緯、特定技能2号の取得希望有無 ・ 現在の業務内容等 ➢ 入国時期、転職経験、勤続年数、従事業務 ・ 現状までの経緯、今後の展望 ➢ 日本/宿泊業/現在の勤務先で働こうと考えた理由、求職時の情報源、現状の課題、将来設計
調査方法	Webアンケート調査（やさしい日本語、英語の二言語で実施） （全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会、日本旅館協会、日本ホテル協会、全日本ホテル連盟の団体の協力を得て、加盟宿泊施設にURL等を展開） ※参考：各団体の会員施設数 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会：約15,000※1、日本旅館協会：2,117※2、日本ホテル協会：246※3、全日本ホテル連盟：1,273※4
調査時期	2025年2月5日(水)～2月24日(月)
回収数	98(旅館:58、ビジネスホテル:13、シティホテル・リゾートホテル:19、その他:8)

※1 全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会「About Us」<https://www.zenryoren.jp/#aboutus>（2025年3月17日閲覧）

※2 日本旅館協会「やど日本 加盟施設一覧」<https://www.ryokan.or.jp/search/result/>（2025年3月17日閲覧）

※3 日本ホテル協会（2019）「支部別室数収容力等集計表」<https://www.j-hotel.or.jp/uploads/jhotel-admin/countingdata1707.pdf>（2025年3月17日閲覧）

※4 全日本ホテル連盟「ANHA会員ホテル一覧」<https://www.anha.or.jp/area1-list/>（2025年3月17日閲覧）

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 1/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。
- すべての設問は必須回答である(一部回答制御あり)。
- 以下表の「回答形式」において、「SA」は単数回答、「MA」は複数回答、「FA」は自由記述回答である。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q1	あなたがはたらいているホテル・旅館(りょかん)はどこにありますか。都道府県(とどうふけん)をおしえてください。	SA	47都道府県
Q2	あなたがはたらいているホテル・旅館(りょかん)には、客室(きゃくしつ)がいくつありますか。	SA	1. 1～9へや 2. 10～29へや 3. 30～99へや 4. 100～199へや 5. 200へやよりおおい 6. わからない
Q3	あなたがはたらいているホテル・旅館(りょかん)はどれですか。	SA	1. 旅館(りょかん) 2. ビジネスホテル 3. シティホテル・リゾートホテル 4. 1～3にはない・わからない
Q4	あなたはなんさいですか。	SA	1. 10～19さい 2. 20～29さい 3. 30～39さい 4. 40～49さい 5. 50～59さい 6. 60～69さい 7. 70さいよりもうえ

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 2/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q5	あなたはどこの国(くに)からきましたか。	SA	1. 中国(ちゅうごく) 2. ベトナム 3. ネパール 4. フィリピン 5. ミャンマー 6. 韓国(かんこく) 7. インドネシア 8. ブラジル 9. タイ 10. アメリカ 11. イギリス 12. イタリア 13. カナダ 14. ドイツ 15. フランス 16. ペルー 17. パキスタン 18. モンゴル 19. バングラデシュ 20. インド 21. ラオス 22. タジキスタン 23. カンボジア 24. スリランカ 25. ウズベキスタン 26. マレーシア 27. キルギス 28. その他(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-2. 宿泊業に従事する外国人従業員調査

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 3/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q6	あなたの日本語(にほんご)のレベルをおしえてください。	MA	1. JFT-Basic 2. JLPT-N1 3. JLPT-N2 4. JLPT-N3 5. JLPT-N4 6. JLPT-N5 7. にほんごしけんをうけていない・わからない
Q7	あなたのはたらくための在留資格(ざいりゅうしかく)をおしえてください。	SA	1. 技術(ぎじゅつ)・人文知識(じんぶんちしき)・国際業務(こくさいぎょうむ) 2. 特定技能(宿泊):とくていぎのう(しゅくはく) 3. 特定技能(外食):とくていぎのう(がいしょく) 4. 特定技能(その他):とくていぎのう(そのた) 5. 特定活動(とくていかつどう) 6. 技能実習(ぎじゅつじっしゅう) 7. 留学生(資格外活動):りゅうがくせい(しかくがいかつどう) 8. 留学生(りゅうがくせい)以外(いがい)の資格外活動(しかくがいかつどう) 9. 身分(みぶん)に基(もと)づく在留資格(ざいりゅうしかく) 10. その他・わからない

5-2. 宿泊業に従事する外国人従業員調査

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 4/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。
- Q8、Q9はQ7にて、選択肢2・3・4のいずれかを回答した人が回答対象。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q8	特定技能資格(とくていぎのうしかく)をとるまでのことをおしえてください。 ※Q7にて、選択肢2・3・4のいずれかを回答した人のみに表示	SA	1. 日本(にほん)でりゅうがくしたあと、特定技能(とくていぎのう)しけんをうけた 2. 日本(にほん)で技能実習(ぎのうじっしゅう)をしてから、特定技能(とくていぎのう)になった 3. がいこくで、特定技能試験(とくていぎのうしけん)をうけた 4. 留学(りゅうがく)や技能実習(ぎのうじっしゅう)ではない在留資格(ざいりゅうしかく)で日本(にほん)にきて、特定技能試験(とくていぎのうしけん)をうけた 5. その他(日本語か英語・Englishでかいてください)
Q9	特定技能(とくていぎのう)2号(ごう)をとりたいですか。 ※Q7にて、選択肢2・3・4のいずれかを回答した人のみに表示	SA	1. とりたい 2. まあまあとりたい 3. どちらでもない 4. そんなにとりたくない 5. とりたくない 6. 特定技能(とくていぎのう)2号(ごう)をしらない

5-2. 宿泊業に従事する外国人従業員調査

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 5/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q10	日本(にほん)にきたのはいつですか。	SA	1. 2024年(ねん)ごろ 2. 2022～2023年(ねん)ごろ 3. 2020～2021年(ねん)ごろ 4. 2016～2019年(ねん)ごろ 5. 2015年(ねん)よりむかし
Q11	日本(にほん)にいるあいだに、しごとをかえたことはありますか。	SA	1. ない(おなじホテル・旅館(りょかん)ではたらいている) 2. しごとをかえたことがある(ちがうホテル・旅館(りょかん)だった) 3. しごとをかえたことがある(ホテル・旅館(りょかん)とはちがうしごとだった) 4. わからない・おぼえていない
Q12	あなたはいまのホテル・旅館(りょかん)で、いつからはたらいていますか。	SA	1. 2024年(ねん)から 2. 2022～2023年(ねん)ごろから 3. 2020～2021年(ねん)ごろから 4. 2016～2019年(ねん)ごろから 5. 2011～2015年(ねん)ごろから 6. 2010年(ねん)よりむかし
Q13	いまやっているしごとをおしえてください。あてはまるものをぜんぶえらんでください。	MA	1. そうじをする 2. おきゃくさまのせわをする(フロント、ドアマンなど) 3. レストランでたべものやのみものをだすしごと 4. りょうりをつくる 5. パーティーやかいぎのしごと 6. 営業(えいぎょう)のしごと 7. たてものをかんりする 8. ホテル・旅館(りょかん)ではたらくひとをかんりする 9. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 6/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q14	どうして日本(にほん)ではたらこうとおもいましたか。 3つまでおしえてください。	MA	1. ベンリで、くらしやすいから 2. あぶないことがすくない、あんしんしてくらせるから 3. たてものがきれいで、きもちよくくらせるから 4. 日本(にほん)の文化(ぶんか)やくらしをしりたかったから 5. 日本(にほん)のひとがれいぎただしくて、いいとおもったから 6. 給料(きゅうりょう)がたかいから 7. クビ(レイオフ)になりにくいから 8. 日本(にほん)のしごとをまなびたいから 9. しごとでえらくなりたいから 10. ともだちが日本(にほん)にいたから 11. ともだちやかぞくに、日本(にほん)ではたらくことをすすめられたから 12. とれた在留資格(ざいりゅうしかく)が、日本(にほん)のものだったから(がいきくの在留資格(ざいりゅうしかく)がとれなかったから) 13. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 7/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q15	どうして旅館(りょかん)やホテルに関心(かんしん)をもちましたか。 3つまでおしえてください。	MA	1. もともとホテルのしごとをやってみたかった 2. 日本(にほん)のおもてなしをべんきょうしたかった 3. ホテルではたらくためのスキルをべんきょうしたかった 4. おかねがたくさんもらえるから 5. まわりのひとにホテルのしごとがいいといわれた 6. まわりのひとがホテルではたらいていた 7. 日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)ではたらくひとたちが、いいひとだったから 8. 日本語学校(にほんごがっこう)でホテルのしごとをおしえてもらった 9. インターネットでみつけて、いいなとおもった 10. しごとを紹介(しょうかい)するイベントでして、いいなとおもった 11. にほんではたらくための在留資格(ざいりゅうしかく)がほしかったから 12. そんなにからだがしんどくないから 13. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 8/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q16	どうしていまのホテル・旅館(りょかん)ではたらこうとおもいましたか。 3つまでおしえてください。	MA	1. ほかのホテル・旅館(りょかん)よりおかねがたくさんもらえるから 2. ホテル・旅館(りょかん)がたっているばしょがべんりだったから 3. すむところやせいかつのサポートをもらえるから 4. ホテル・旅館(りょかん)ではたらくひとがすてきだったから 5. しごとがおもしろそうだとおもったから 6. べんきょうしてえらくなれるとおもったから 7. ホテル・旅館(りょかん)や、おきゃくさんがすてきだったから 8. はたらくじかんや、やすみをえらびやすかったから 9. 学校(がっこう)やおくりだし機関(きかん)でおしえてもらったから 10. きゅうじんサイト(はたらくひとをばしゅうをするウェブサイト)でみつけたから 11. まわりのひとにすすめられたから 12. ホテル・旅館(りょかん)のちかくに、じぶんとおなじくからきた人がたくさんいるから 13. むかしからしっていたから 14. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-2.宿泊業に従事する外国人従業員調査

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 9/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q17	しごとをさがしているとき、どこでじょうほうをしらべましたか。 あてはまるものをぜんぶえらんでください。	MA	1. 学校(がっこう)やおくりだし機関(きかん) 2. きゅうじんサイト(はたらくひとをぼしゅうをするウェブサイト) 3. てんしよくエージェント 4. SNSでつながった、こじんの(ひとりでしごとをしている)エージェント 5. インターネットけんさく 6. SNS(X、Facebookなど) 7. まわりのひとのかんがえ 8. しらべかたがよくわからなかった 9. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)
Q18	いまのしごとをはじめるまえに、もっとしりたかった情報(じょうほう)は なんですか。あてはまるものをぜんぶえらんでください。	MA	1. はたらくじかんのながさ 2. はたらくじかん(シフト)がバラバラなこと 3. 給料(きゅうりょう)がいくらか 4. どうすれば給料(きゅうりょう)があがるのか 5. いっしょにはたらくひとたちがどんなひとたちか 6. 日本(にほん)の文化(ぶんか)、コミュニケーション 7. じぶんがすむいえのこと 8. じぶんがすむまちのこと 9. くらすためにひつようなおかね 10. そのた(じゅうにかいてください) 11. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(やさしい日本語) 10/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q19	いまのしごとで、こまっていることについて、あてはまるものをぜんぶえらんでください。	MA	1. はたらくじかんがながい 2. はたらくじかん(シフト)がバラバラなこと 3. やすみがとりにくい 4. はたらくじかんがみじかい 5. いえからとおい 6. せんぱいからの指示(しじ)がわからない 7. 給料(きゅうりょう)がすくない 8. どうしたら給料(きゅうりょう)があがるのかわからない 9. やりたいしごとができない 10. おきゃくさんとのコミュニケーションがむずかしい 11. 上司(じょうし)やいっしょにはたらくひととのコミュニケーションがむずかしい 12. なやみをそうだんでできるひとがいない 13. にほんごのべんきょうをたすけてほしい 14. せいかつのこまりごとをたすけてほしい 15. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください) 16. とくにない
Q20	しょうらいになにをしたいかについて、おしえてください。	MA	1. いまのしごとばでえらくなって、給料(きゅうりょう)をあげたい 2. くににかえって、ホテル・旅館(りょかん)ではたらきたい 3. くににかえって、ちがうしごとではたらきたい 4. 日本(にほん)で、ちがうホテル・旅館(りょかん)ではたらきたい 5. 日本(にほん)で、ちがうしごと(製造業(せいぞうぎょう))をしたい 6. 日本(にほん)で、ちがうしごと(介護(かいご))をしたい 7. 日本(にほん)で、ちがうしごと(飲食業(いんしょくぎょう))をしたい 8. 日本(にほん)で、ちがうしごと(せんたくしにはない)をしたい 9. 日本(にほん)ではないがいこくで、はたらきたい 10. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください) 11. わからない

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 1/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。
- すべての設問は必須回答である(一部回答制御あり)。
- 以下表の「回答形式」において、「SA」は単数回答、「MA」は複数回答、「FA」は自由記述回答である。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q1	Where is the hotel or inn where you work located? Please tell us your prefecture.	SA	Options for all 47 prefectures
Q2	How many guest rooms does the hotel or inn where you work have?	SA	1. From 1 to 9 rooms 2. From 10 to 29 rooms 3. From 30 to 99 rooms 4. From 100 to 199 rooms 5. Over 200 rooms 6. I don't know
Q3	Which type of hotel or inn do you work at?	SA	1. Ryokan (traditional Japanese-style accommodation) 2. Business Hotels 3. City hotels and resort hotels 4. Other/I don't know
Q4	Please tell us your age.	SA	1. Teens 2. 20s 3. 30s 4. 40s 5. 50s 6. 60s 7. Age 70+

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 2/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q5	Please select your nationality.	SA	1. China 2. Vietnam 3. Nepal 4. Philippines 5. Myanmar 6. South Korea 7. Indonesia 8. Brazil 9. Thailand 10. America 11. England 12. Italy 13. Canada 14. Germany 15. France 16. Peru 17. Pakistan 18. Mongolia 19. Bangladesh 20. India 21. Laos 22. Tajikistan 23. Cambodia 24. Sri Lanka 25. Uzbekistan 26. Malaysia 27. Kyrgyzstan 28. Other (free description)

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 3/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q6	Please tell us about your Japanese language ability.	MA	1. JFT-Basic 2. JLPT-N1 3. JLPT-N2 4. JLPT-N3 5. JLPT-N4 6. JLPT-N5 7. I haven't taken the Japanese language exam/I don't understand.
Q7	Please tell us your current status of residence.	SA	1. Engineer, Specialist in Humanities, or International Services 2. Specified Skilled Worker (accommodation) 3. Specified Skilled Worker (food service) 4. Specified Skilled Worker (other) 5. Designated Activities 6. Technical Intern Trainee 7. International student (activities other than that permitted under the status of residence) 8. Activities other than those permitted under the status of residence of a foreign student (e.g. "family stay") 9. Status-based status of residence (e.g. "Spouse or Child of Japanese National", "Permanent Resident") 10. Other

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 4/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。
- Q8、Q9はQ7にて、選択肢2・3・4のいずれかを回答した人が回答対象。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q8	Please tell us how you obtained Specified Skilled Worker. ※Q7にて、選択肢2・3・4のいずれかを回答した人のみに表示 ※回答者制御情報は、回答者には表示されない	SA	1. After studying in Japan, I obtained a Specified Skilled Worker qualification. 2. After completing Technical Intern Trainee in Japan, I became a Specified Skilled Worker. 3. I took the Specified Skilled Worker exam overseas. 4. I came to Japan on a status of residence other than student or Technical Intern Trainee and took the Specified Skilled Worker exam. 5. Other(Please answer in free text in English or Japanese)
Q9	Do you wish to obtain Specified Skilled Worker (ii)? ※Q7にて、選択肢2・3・4のいずれかを回答した人のみに表示 ※回答者制御情報は、回答者には表示されない	SA	1. I want to get it. 2. I would rather get it. 3. Neither. 4. I don't think I would want to get it anyway. 5. I don't want to get it. 6. I don't know about the system.

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 5/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q10	When did you come to Japan for work or study purposes?	SA	1. 2024 or later 2. 2022-2023 3. 2020-2021 4. 2016-2019 5. Before 2015
Q11	Have you ever changed jobs in Japan?	SA	1. No, I have never changed jobs in Japan. 2. Yes, I have changed jobs (within the same accommodation industry) 3. Yes, I have changed jobs from other industries. 4. I don't know/I don't remember.
Q12	When did you start working at your current hotel or inn?	SA	1. 2024 or later 2. 2022-2023 3. 2020-2021 4. 2016-2019 5. 2011-2015 6. Before 2010
Q13	Please tell us your current job.	MA	1. Cleaning 2. Looking after guests (front desk, doorman, etc.) 3. Serving food and drinks at a restaurant 4. Cooking 5. Banquet-related work 6. Sales promotion 7. Facility management 8. Managing people working in hotels and inns 9. Other

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 6/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q14	Why did you decide to work in Japan? Please choose up to three points that you considered most important.	MA	1. The living environment is good. 2. The security is good. 3. The house and the place I could live is good. 4. I was interested in Japanese culture and life. 5. I was attracted to the politeness of the Japanese people. 6. The wages are high. 7. I can work steadily. 8. I want to learn through work in Japan 9. I wanted to get promoted. 10. I have friends and acquaintances in Japan. 11. It was recommended by friends and family 12. The status of residence I was able to obtain was for Japan (I was unable to obtain a status of residence in other countries) 13. Other(Please answer in free text in English or Japanese)

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 7/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q15	Why did you decide to work in the hospitality industry? Please choose up to three points that you considered most important.	MA	1. I had always had a passion for the accommodation industry. 2. I wanted to learn about the culture of hospitality. 3. I wanted to gain skills related to the accommodation industry. 4. The salary in the accommodation industry is high. 5. It was recommended by friends and family. 6. I have friends and acquaintances who work in the accommodation industry. 7. I was attracted to the personalities of people working in the Japanese accommodation industry. 8. It was introduced at a Japanese language school or sending agency to Japan. 9. I learned about the accommodation industry on the Internet and became interested in it. 10. I learned about the accommodation industry at a job introduction event. 11. I wanted a residence permit to work in Japan. 12. I thought it didn't involve hard physical labor. 13. Other (Please answer in free text in English or Japanese)

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 8/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q16	Why did you decide to work in your current hotel or inn? Please tell me up to three.	MA	1. I can get more money than at other hotels and inns. 2. The location of the facility is good. 3. I can get support for living and life. 4. The facility and the people who work there were very nice. 5. I thought the job would be rewarding. 6. I thought I could advance my career. 7. The atmosphere of the hotel or inn and the guests are wonderful. 8. It was easy to adjust work hours and take vacations. 9. It was introduced by an educational institution or sending agency to Japan. 10. I matched with the hotel or inn on a job-seeking platform. 11. A friend or acquaintance introduced the hotel or inn to me. 12. There are many people of my nationality living in the area near the hotel or inn. 13. I already knew about the hotel or inn. 14. Other (Please answer in free text in English or Japanese)

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 9/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q17	What sources of information do you look at when looking for a job in Japan?	MA	1. School/Sending agency to Japan 2. Recruitment website 3. Recruitment Agent 4. A personal agent I met on social media 5. Internet Search 6. Social Media(Facebook、Youtube、Instagram、WeChat,etc) 7. Reviews from friends and acquaintances 8. I don't know how to find the job 9. Other(Please answer in free text in English or Japanese)
Q18	What information do you wish you had known more about before starting your current job?	MA	1. The length of time I have to work 2. Irregular shifts such as night shifts 3. The salary I can receive 4. Promotion (including salary increase) 5. Relationships in the workplace 6. Japanese Culture and Communication 7. Information about where to live 8. The living environment 9. Prices and living expenses 10. Other(Please answer in free text in English or Japanese) 11. Nothing in particular

5-2.宿泊業に従事する外国人従業員調査

宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 10/10

- 宿泊業に従事する外国人従業員調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q19	Please select all the issues you are currently facing at work.	MA	1. My working hours are long. 2. I don't like irregular shifts like night shifts. 3. It's hard to take vacation. 4. My working hours are not enough. 5. Transportation to work is inconvenient. 6. It's difficult to understand my tasks and responsibilities. 7. My salary is low. 8. I can't see myself getting promoted in my current job. 9. I can't do the task I want. 10.It's difficult to communicate with guests. 11.It's difficult to communicate with superiors and coworkers. 12.There is no one around to talk to about my worries. 13.I don't get enough support in learning Japanese. 14.I don't have enough support in life in Japan. 15.Other(Please answer in free text in English or Japanese) 16.Nothing in particular
Q20	Please tell us about your future plans.	MA	1. I want to succeed in my current job. 2. I want to return to my home country and work in a hotel or inn. 3. I want to return to my home country and do a different job. 4. I want to work in a different hotel or inn in Japan. 5. I want to do a different job (manufacturing) in Japan. 6. I want to do a different job (nursing care) in Japan. 7. I want to do a different job (food and beverage manufacturing) in Japan. 8. I want to do a different job(other than the above) in Japan . 9. I want to work in a foreign country other than Japan. 10.Other(Please answer in free text in English or Japanese) 11.I don't know./ I haven't decided yet

Q1:勤務する宿泊施設の所在地

- 回答者が勤務する宿泊施設の所在地について質問したところ、**北海道が29.6%で最も多く**、次いで岐阜県(13.3%)、神奈川県(9.2%)の順に多くなっている。

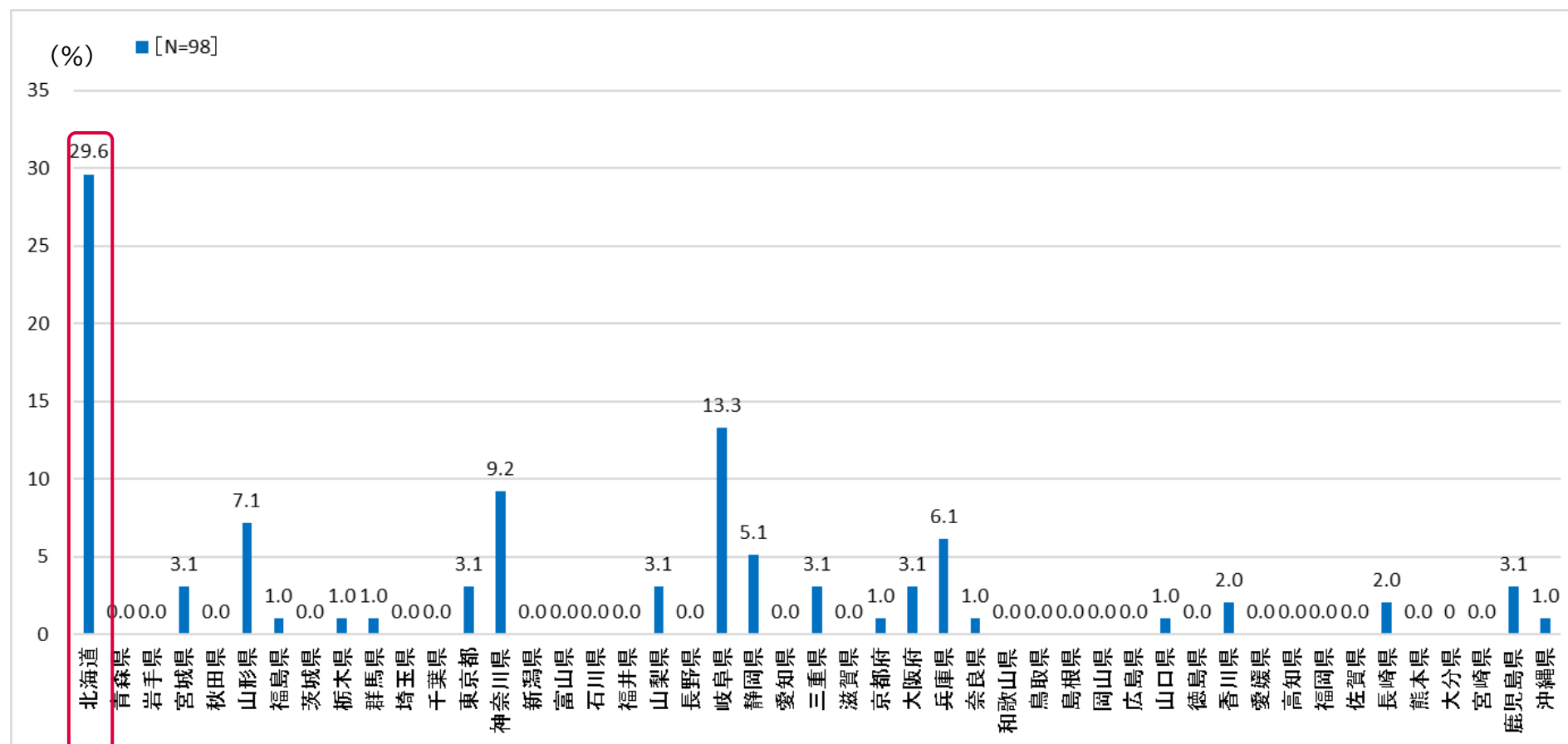


図 Q1回答者が勤務する宿泊施設の所在地

Q2: 勤務する宿泊施設の規模(部屋数)

- 回答者が勤務する宿泊施設の規模(部屋数)を質問したところ、「30～99部屋」が34.7%と最も多く、次いで「200部屋以上」が31.6%となっている。

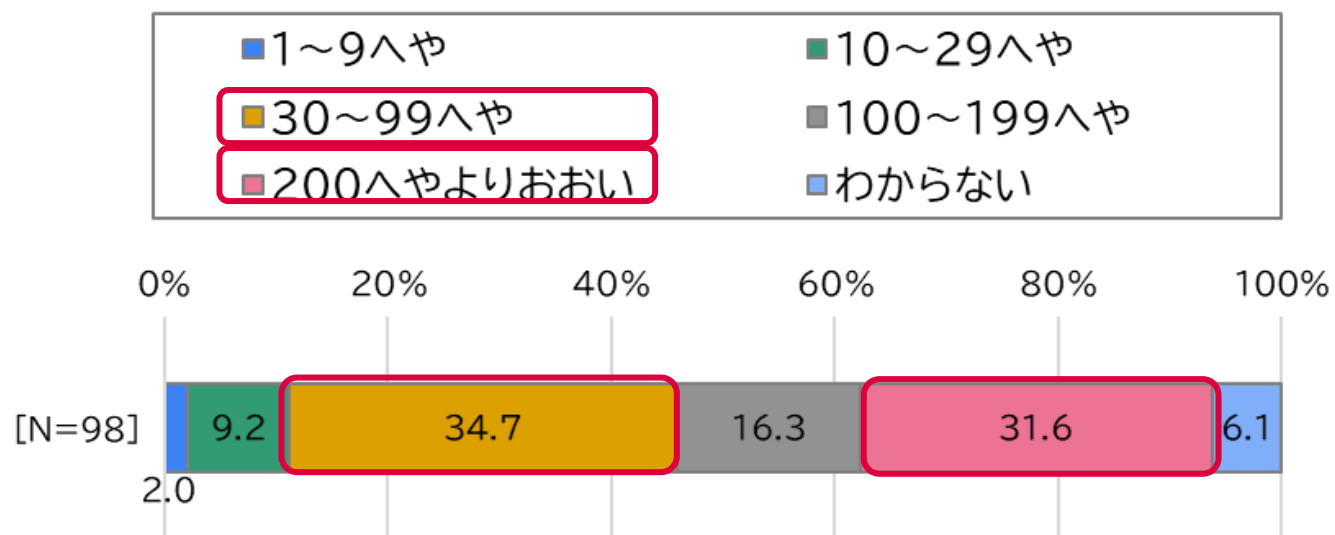


図 Q2回答者が勤務する宿泊施設の部屋数

Q3:勤務する宿泊施設の種類の種類

- 回答者が勤務する宿泊施設の種類の種類を質問したところ、「旅館」という回答が59.2%と最も多い。

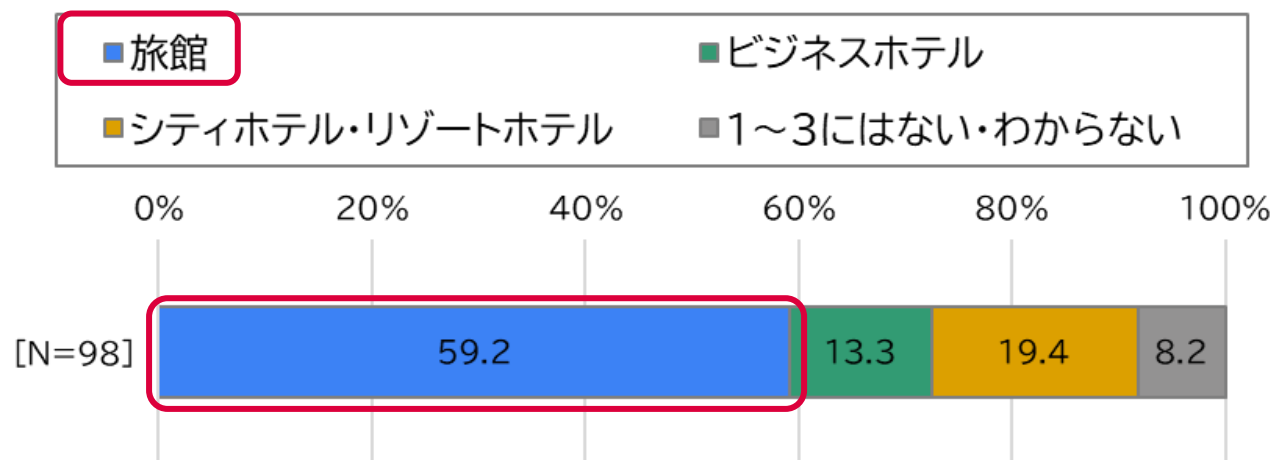


図 Q3宿泊施設の種別

Q4:回答者の現在の年齢

- 回答者の現在の年齢を質問したところ、「30代」が48.0%と最も多く、次いで「20代」が42.9%となっている。

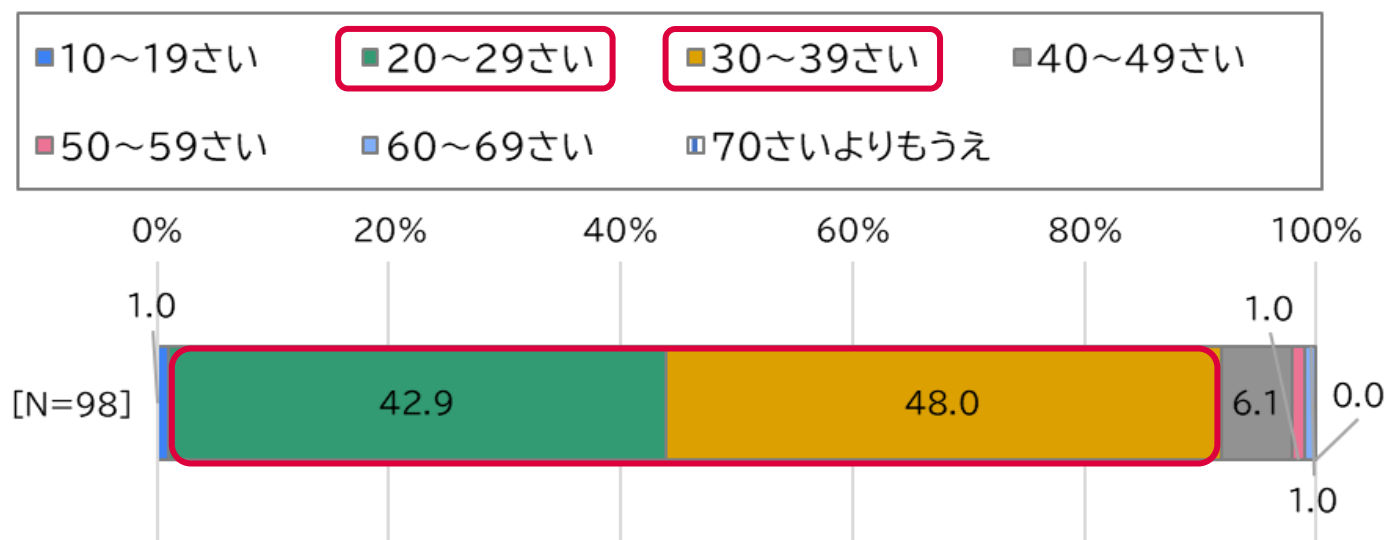


図 Q4回答者の年齢

Q5:回答者の国籍

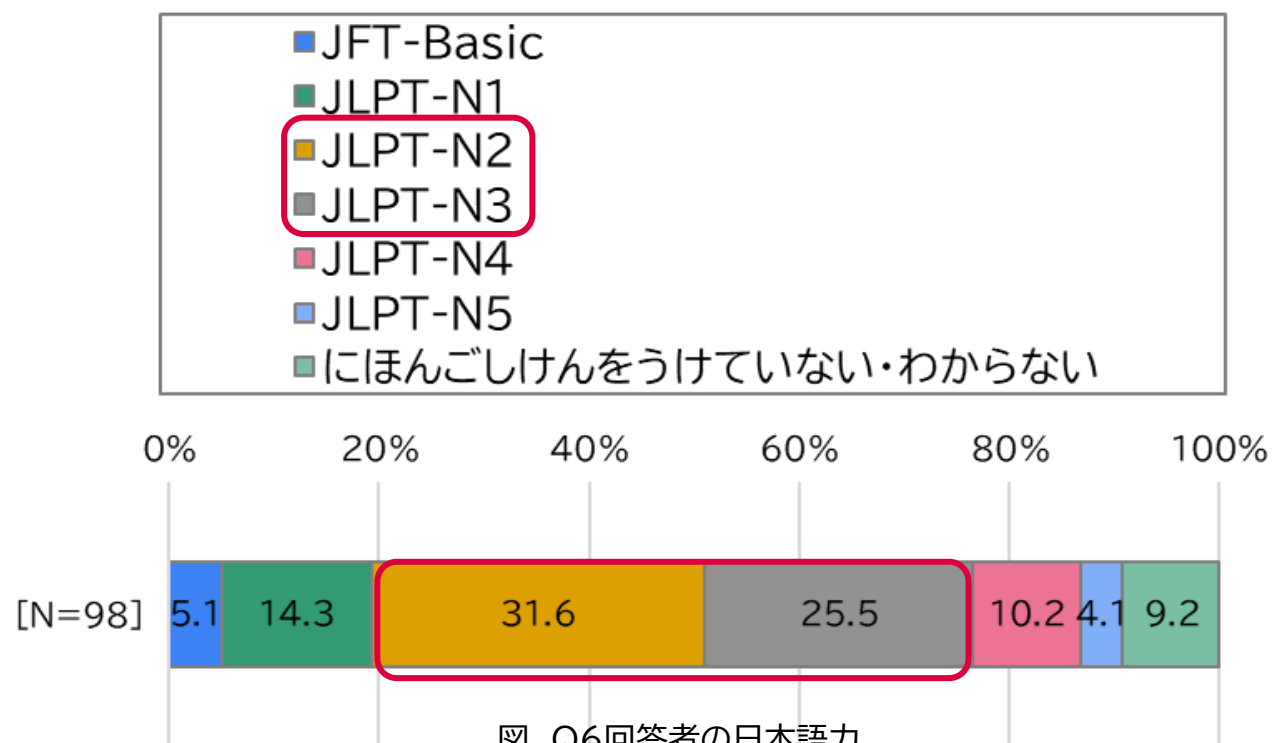
- 回答者の国籍を質問したところ、**ミャンマーが18人と最も多く、次にネパールが17人**となっている。

国籍	N=98
ミャンマー	18
ネパール	17
インドネシア	16
中国	10
ベトナム	9
フィリピン	5
韓国	3
インド	3
スリランカ	3
その他	14

表 Q5回答者の国籍

Q6:回答者の日本語力

- 回答者の日本語力について質問したところ、「JLPT-N2」が31.6%で最も多く、次が「JLPT-N3」の25.5%となった。



Q6:回答者の日本語力(国籍別)

- 回答者の国籍別に、回答者の日本語力のクロス集計を行った。
- 最も回答者数が多い国籍だった**ミャンマー**は「**JLPT-N3**」が**44.4%**、次いで「**JLPT-N4**」が**33.3%**となった。一方、例えば、回答数が10件の**中国**では「**JLPT-N1**」が**70.0%**となった。
- 国籍によって日本語力の傾向に違いがあることがわかる。

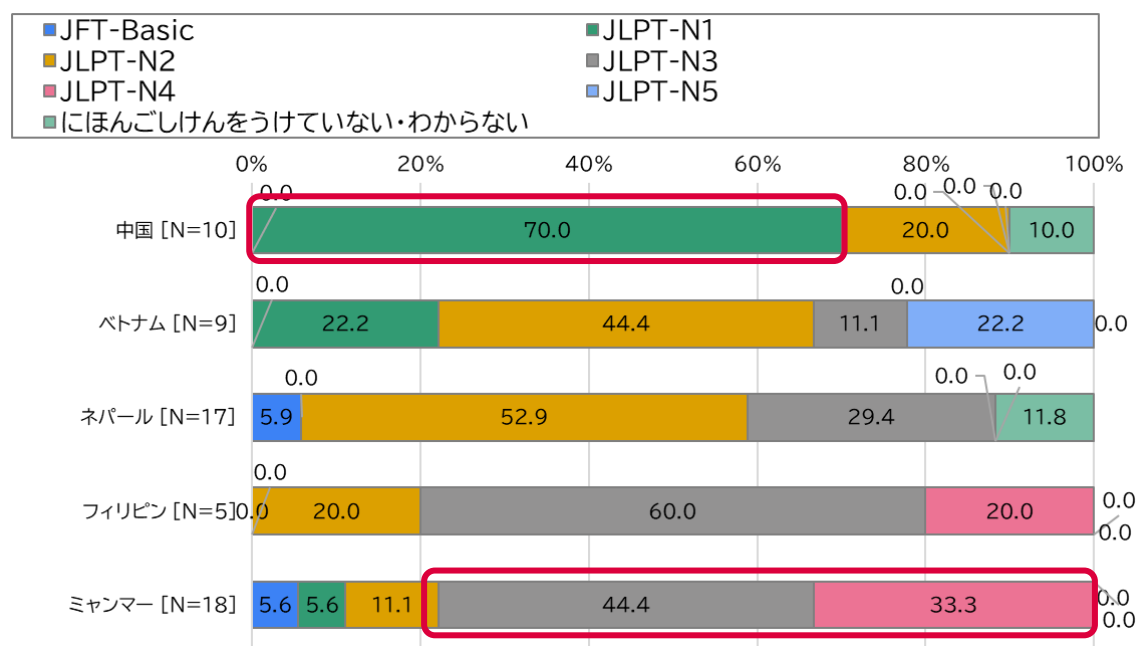


図 Q5回答者の国籍(一部抜粋)×Q6回答者の日本語力

Q7:回答者の在留資格

- 回答者の在留資格について質問したところ、「技術・人文知識・国際業務」が46.9%と最も多く、次に「特定技能(宿泊)」の14.3%、「特定技能(外食)」の11.2%となっている。

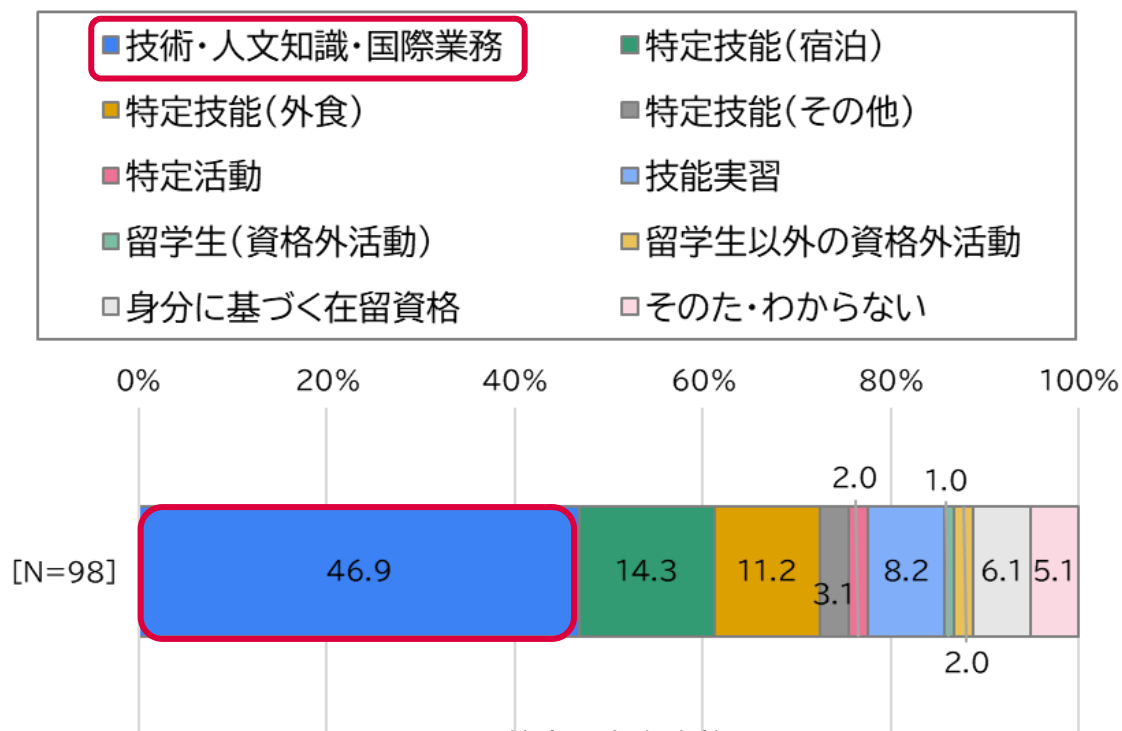


図 Q7回答者の在留資格

Q7:回答者の在留資格(国籍別)

- 国籍別の在留資格の傾向をみるため、回答者の在留資格と国籍をクロス集計した。
- ミャンマーにおいては「特定技能(外食)」が最も多く50.0%を占める一方、ネパールにおいては「技術・人文知識・国際業務」が最も多く82.4%を占めた。

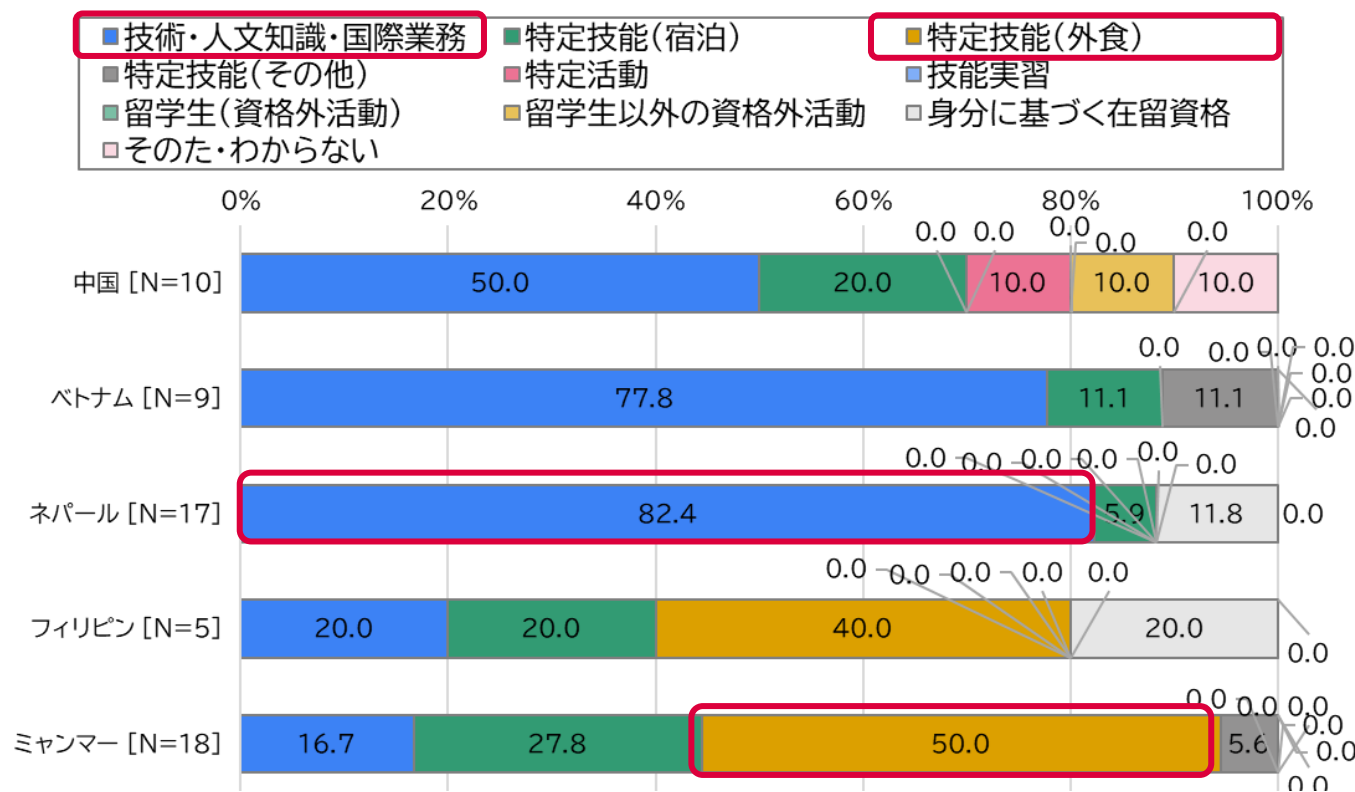


図 Q5回答者の国籍(一部抜粋)×Q7回答者の在留資格

Q8: 特定技能資格の取得経緯

- 在留資格について「特定技能」と回答した人(N=28)を対象に、特定技能資格の取得経緯を質問したところ、**日本以外の国で特定技能試験を受けた人が71.4%と最も多かった。**

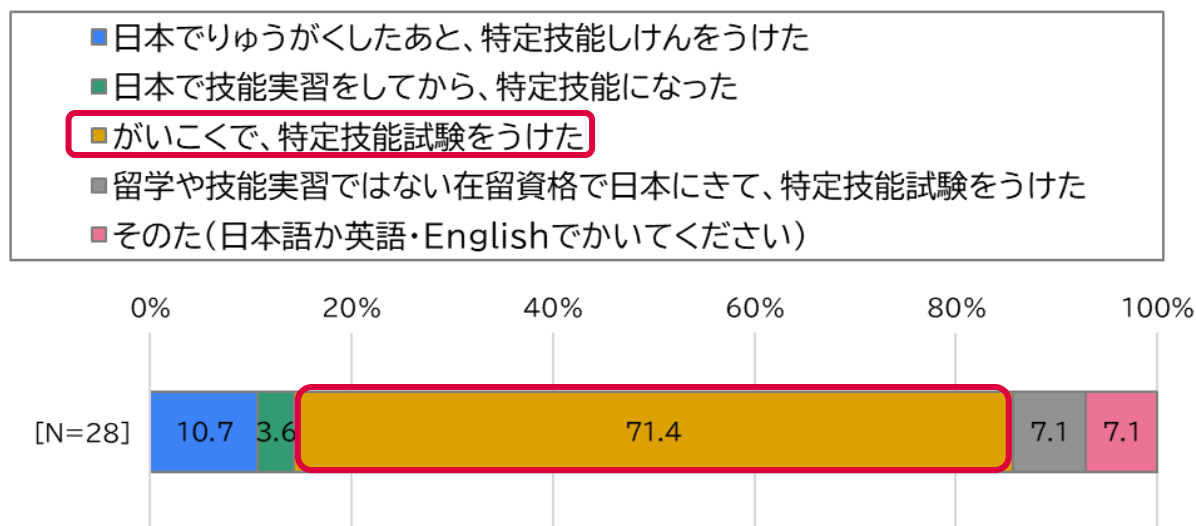


図 Q8特定技能資格の取得経緯

注: Q8、はQ7「現在の在留資格をお答えください」にて、「特定技能(宿泊)」「特定技能(外食)」「特定技能(その他)」のいずれかを回答した人が対象(N=28)

Q9: 特定技能2号の取得希望

- 在留資格について「特定技能」と回答した人(N=28)を対象に、特定技能2号の取得希望を質問したところ、「**取りたい**」が**78.6%**と最も多かった。

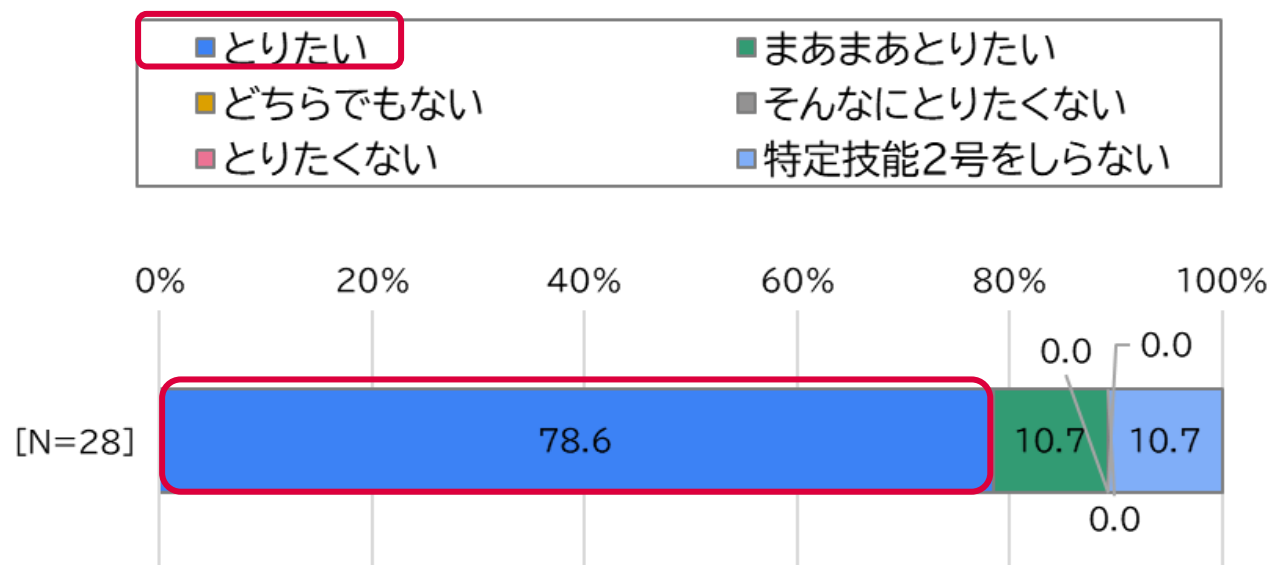
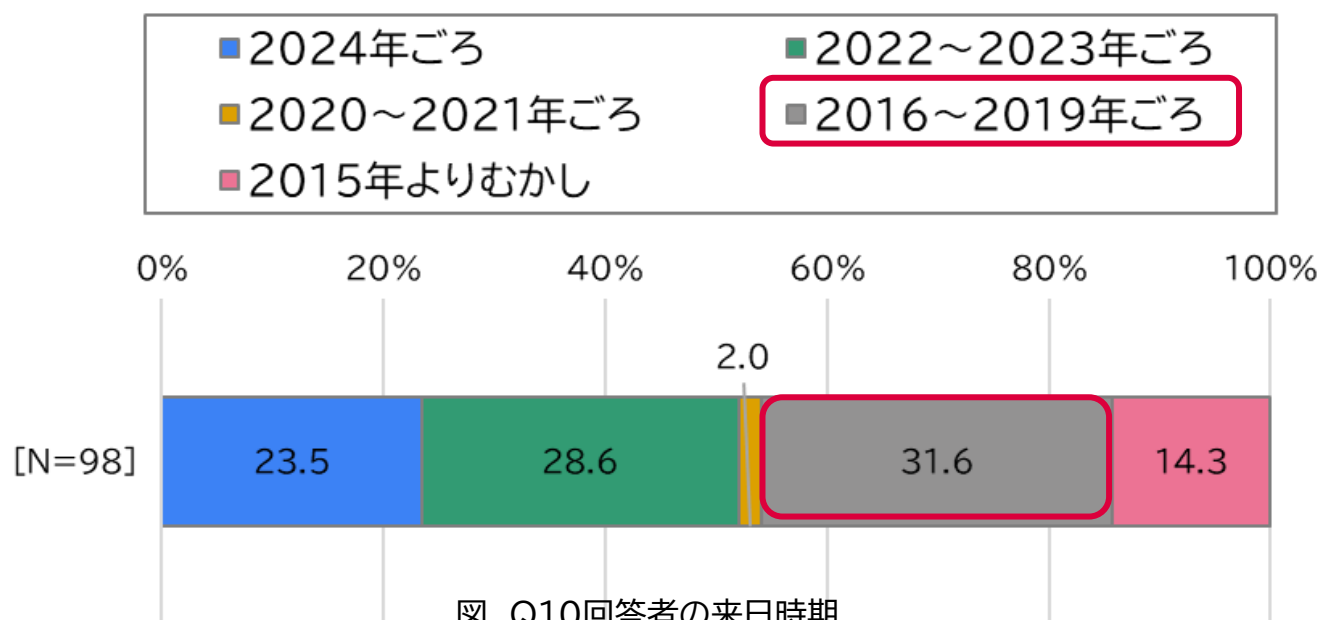


図 Q9特定技能2号の取得希望

注: Q9はQ7「現在の在留資格をお答えください」にて、「特定技能(宿泊)」「特定技能(外食)」「特定技能(その他)」のいずれかを回答した人が対象(N=28)

Q10:回答者の来日時期

- 回答者が(就職を目的に)日本に来た時期について質問したところ、「2016～2019年頃」が最も多く31.6%だった。次いで「2022～2023年頃」が28.6%で多かった。



Q11:回答者の転職経験の有無

- 回答者に転職経験の有無について質問したところ、「転職をしたことがない(同じホテル・旅館で働いている)」という割合が最も多く、79.6%となった。

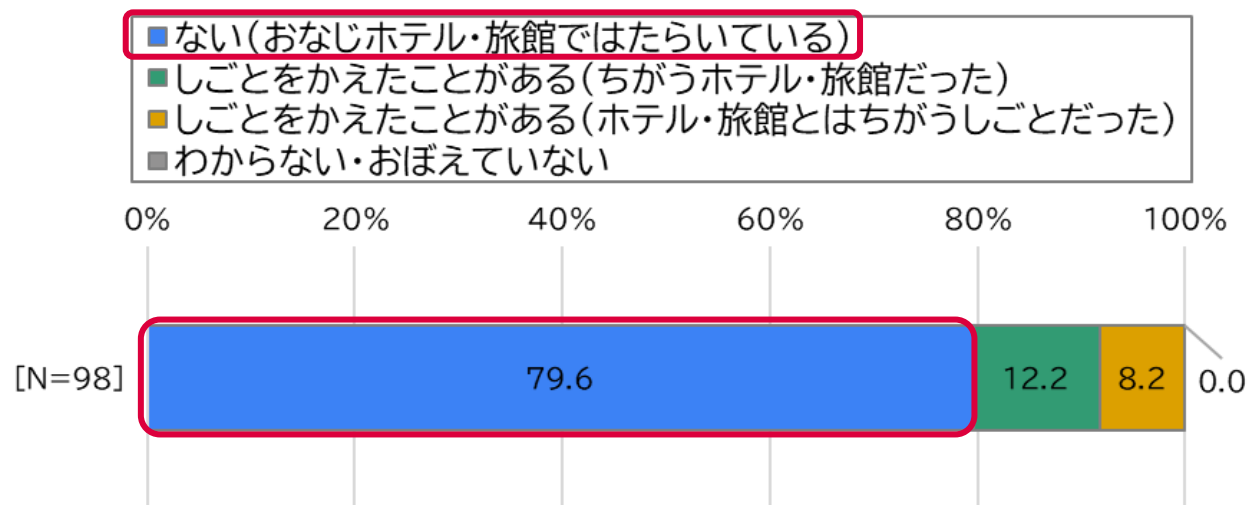


図 Q11回答者の転職経験の有無

Q12:回答者が現在の勤務先で働き始めた時期

- 回答者が現在の勤務先で働き始めた時期について質問したところ、(2025年2月時点で)「2～3年前」が最も多く38.8%、次いで「1年前」が30.6%となった。

(注)時間的な前後関係を問う日本語表現は難しいため、やさしい日本語・英語ともに現在の勤務先での働き始めた時期を西暦で質問した。

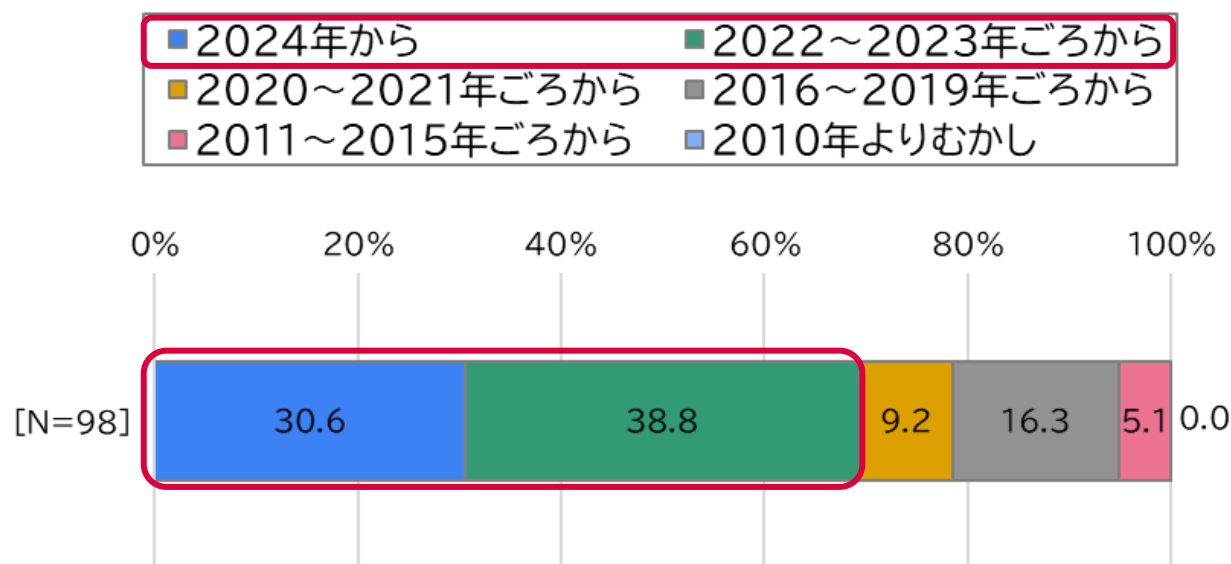


図 Q12回答者が現在の勤務先で働き始めた時期

Q13:回答者の現在の従事業務

- 回答者の現在の従事業務について質問したところ、「**宿泊客への接客**」が最多(**41.8%**)となり、「**料飲部門での接客**」が次に多くなった(**36.7%**)。

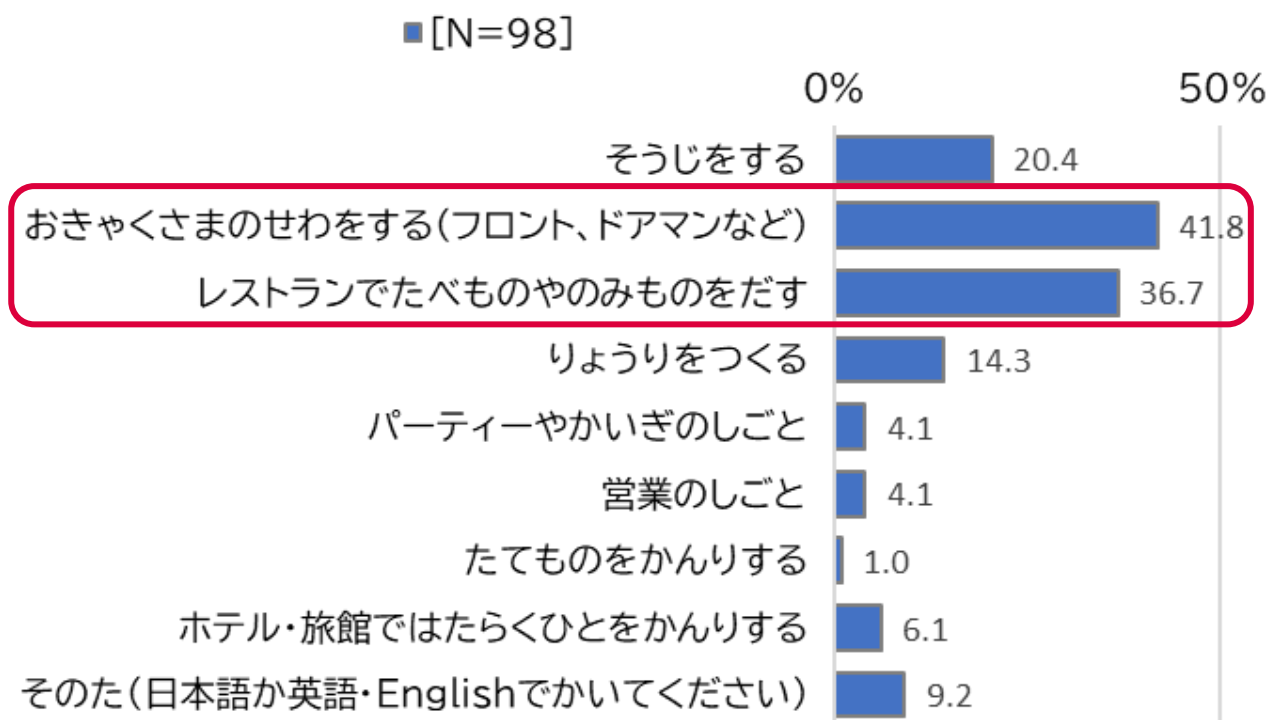


図 Q13回答者の現在の従事業務(複数回答)

Q14:就労先として、日本を選択した理由

- 外国人従業員が就労先として日本を選んだ理由を質問した。
- 「日本の文化や暮らしを知りたかった」が最多(54.1%)、次いで「便利で暮らしやすい」(44.9%)、「日本の仕事を学びたい」(38.8%)となった。

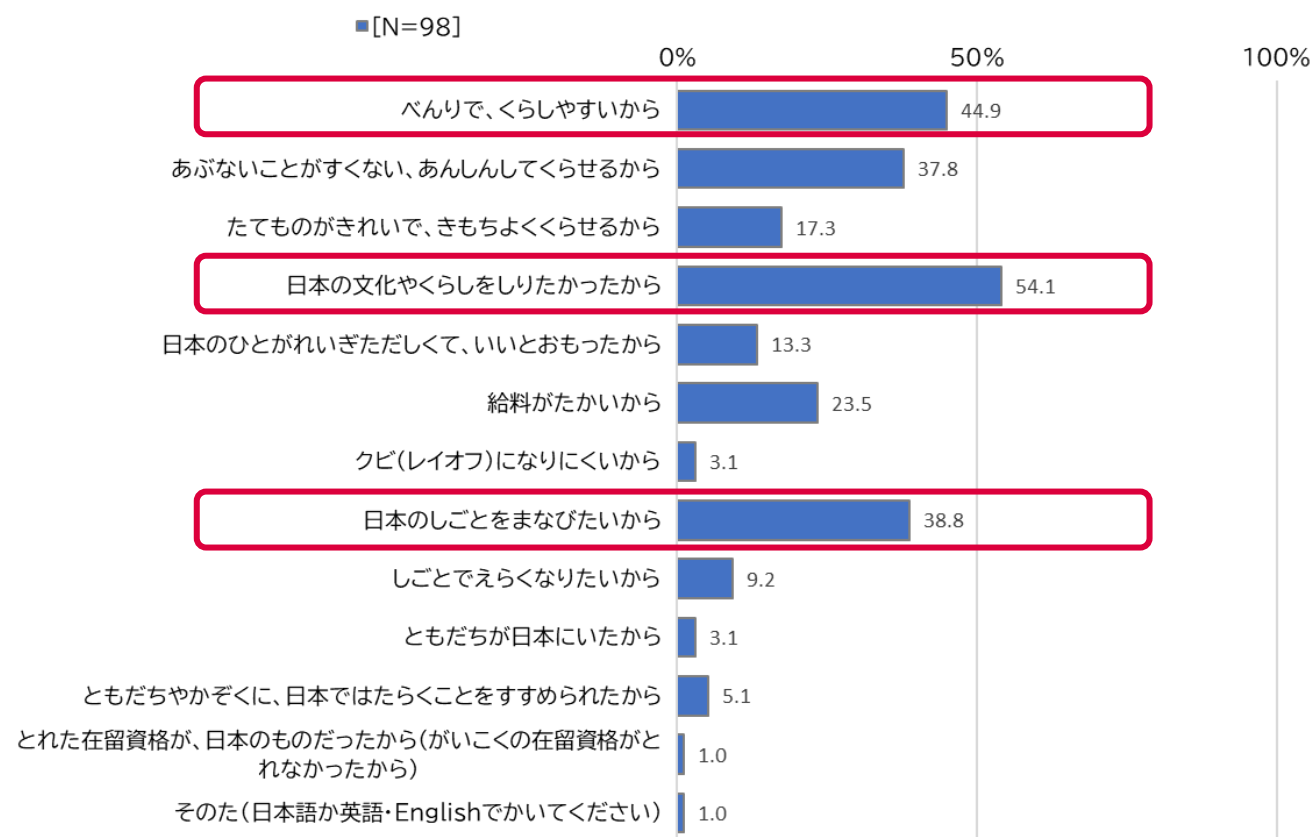


図 Q14回答者が就労先として日本を選んだ理由(複数回答)

Q15: 就労先として、宿泊業を選択した理由

- 回答者が就労先として宿泊業を選んだ理由を質問した。
- 「日本のおもてなしを勉強したかった」が最多(57.1%)、次いで「もともとホテルの仕事をやってみたかった」(50.0%)、「ホテルで働くためのスキルを勉強したかった」(46.9%)となった。それ以外の選択肢は低い割合に留まった。

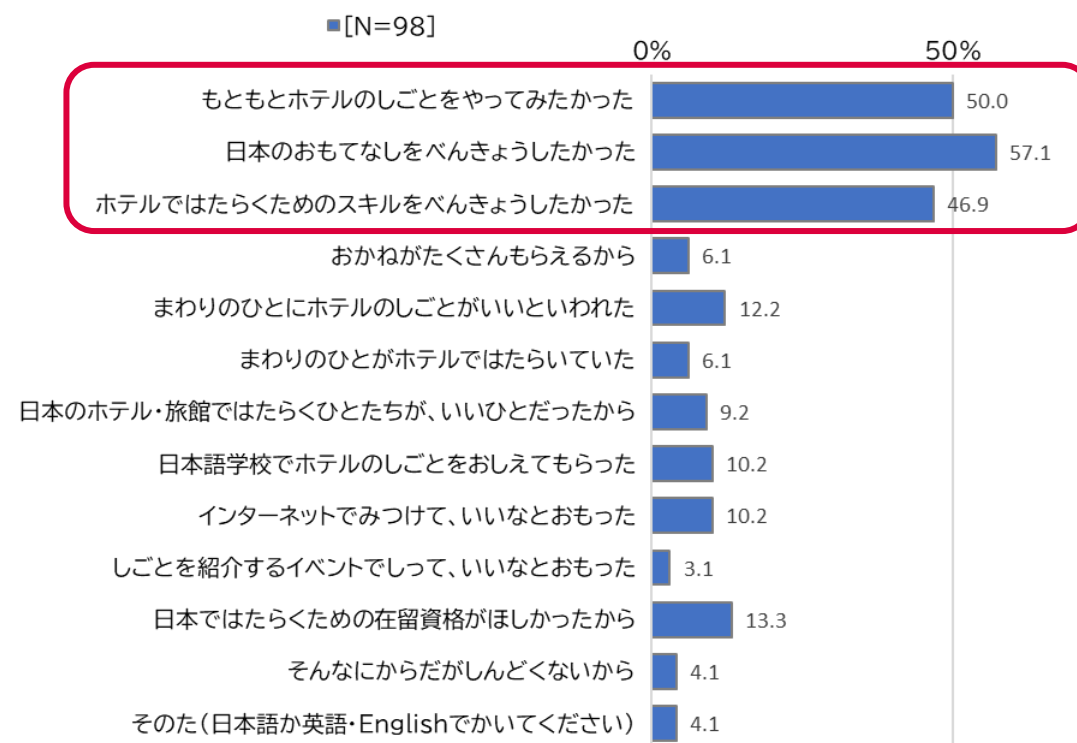


図 Q15回答者が宿泊業を選んだ理由(複数回答)

Q16:今の勤務先を選択した理由

- 回答者が現在勤務する宿泊施設を選んだ理由を質問した。
- 「仕事が面白そうだったから」が最多(44.9%)、次いで「ホテル・旅館の立地が便利だった」(29.6%)、「ホテル・旅館のスタッフの人柄がよかった」(同29.6%)となった。

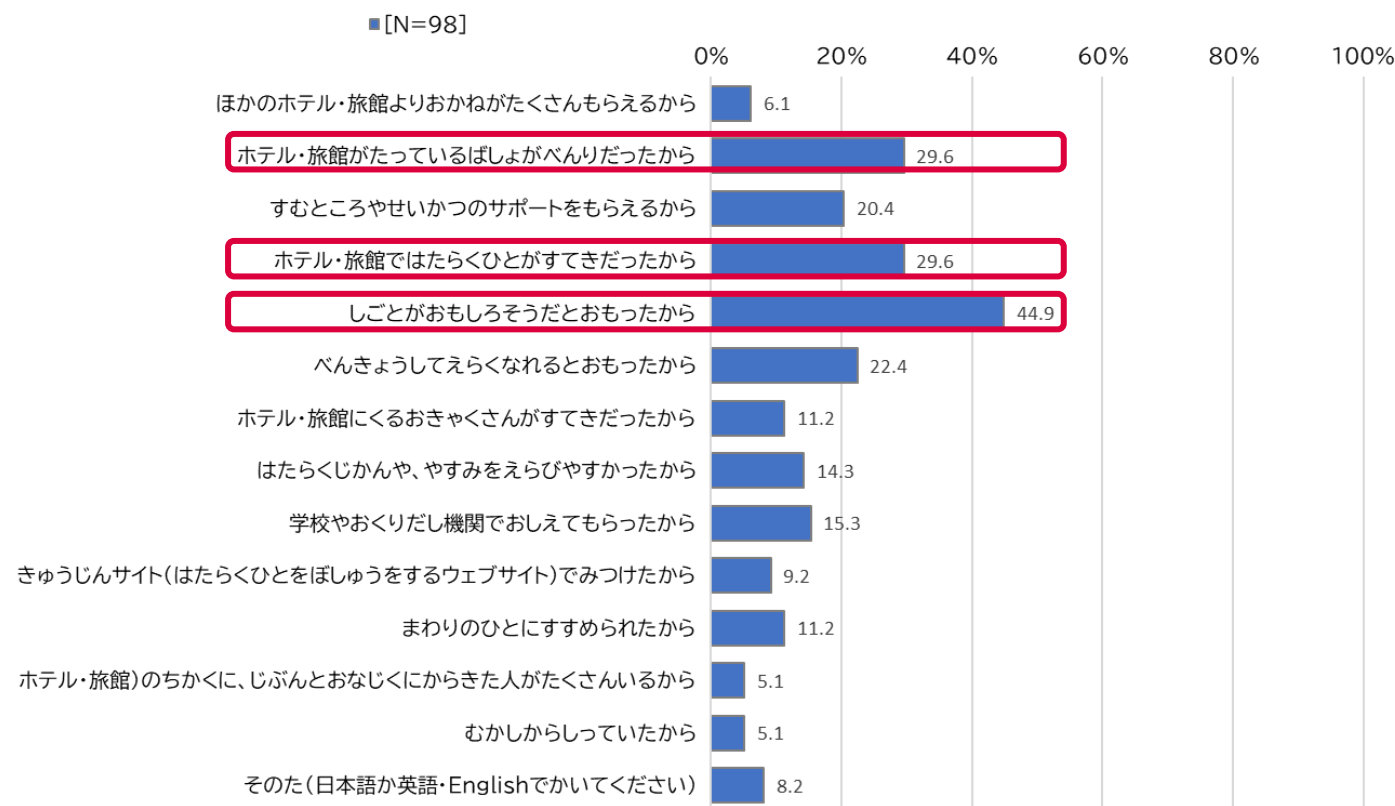


図 Q16回答者が今の勤務先を選択した理由(複数回答)

Q17:回答者が求職時に参考にした情報源

- 求職の際に回答者が参考にした情報源について質問したところ、**学校・送り出し機関が49.0%で最多**となった。次いで**インターネット検索が30.6%**で続いた。

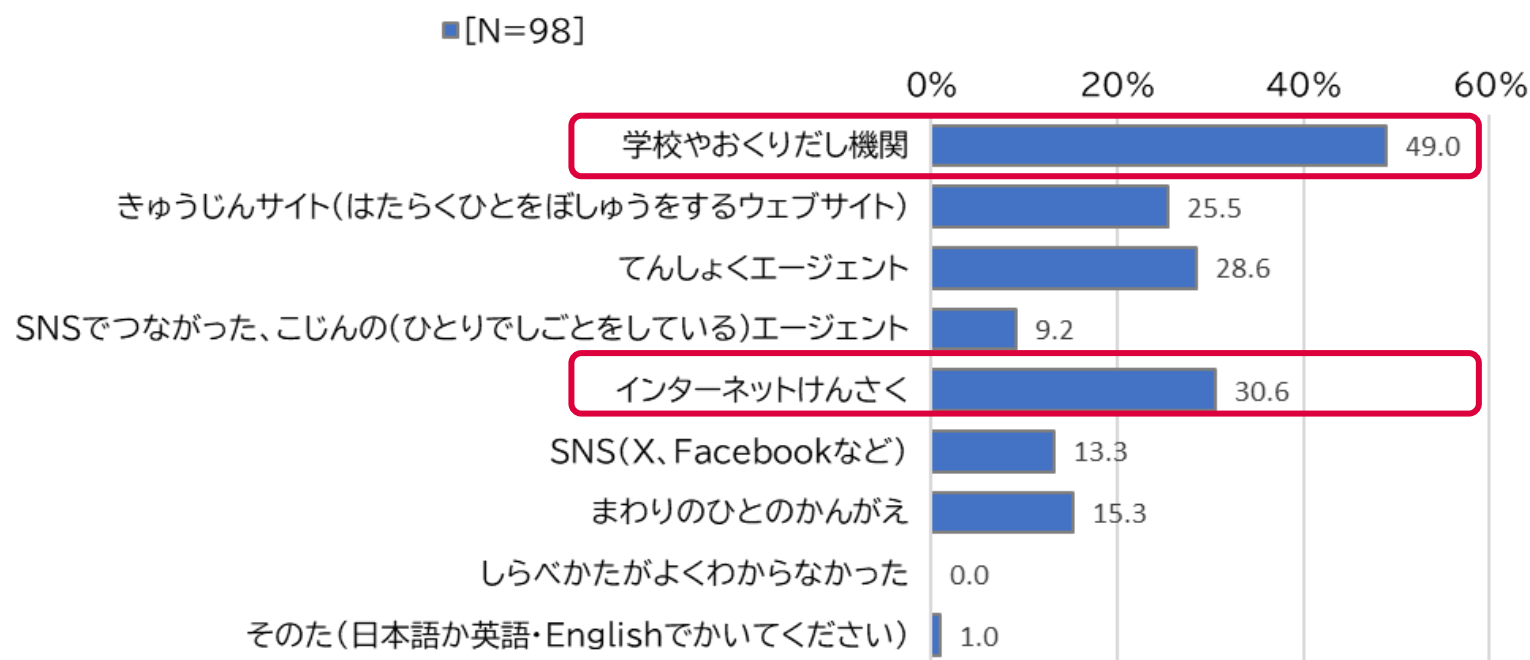


図 Q17回答者が求職時に参考にした情報ルート(複数回答)

Q18:回答者が就労前に知りたかった情報

- 就労前に知りたかった情報について質問したところ、「日本の文化、コミュニケーション」が最も多く、49.0%となった。次いで、「給料がいくらか」が41.8%となった。

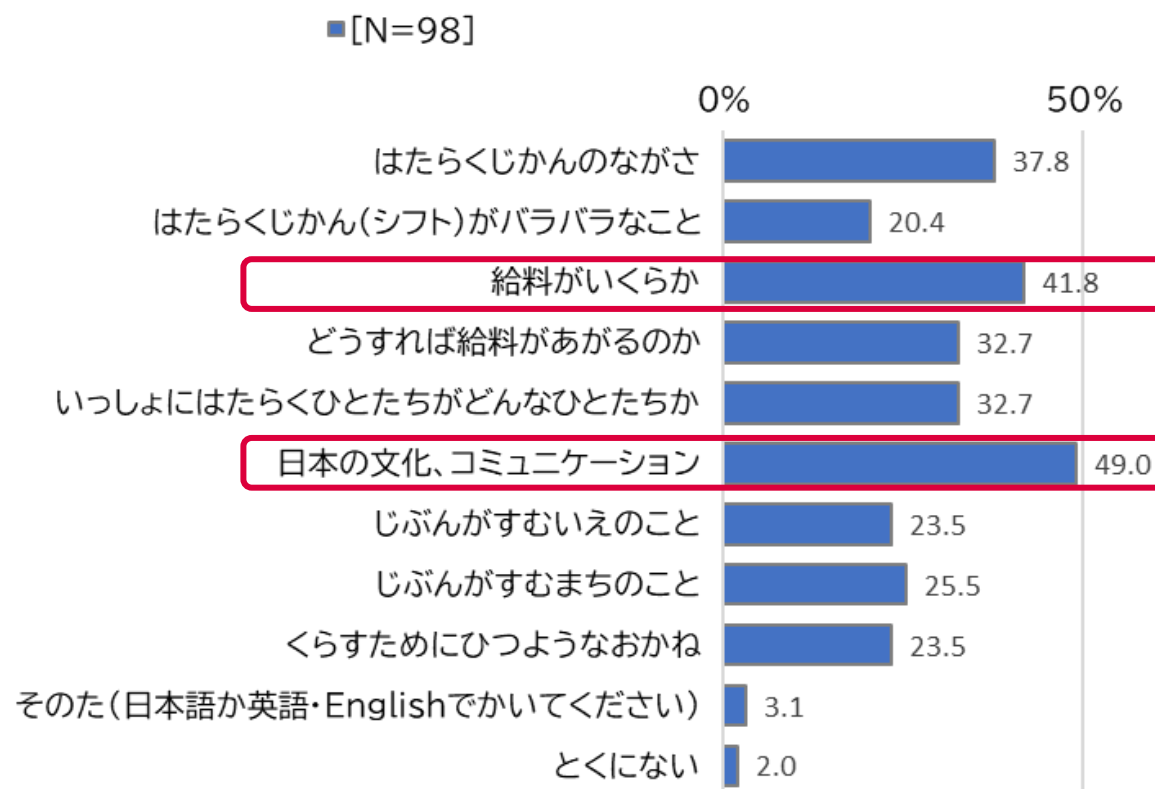


図 Q18回答者が就労前に知りたかった情報(複数回答)

Q19:回答者が働くうえで感じている課題

- 現在働くうえで感じている課題について質問したところ、「給料が少ない」が最も多い(42.9%)。
- 次いで「日本語学習の支援」(19.4%)、「シフトのばらつき」(15.3%)が挙げられている。

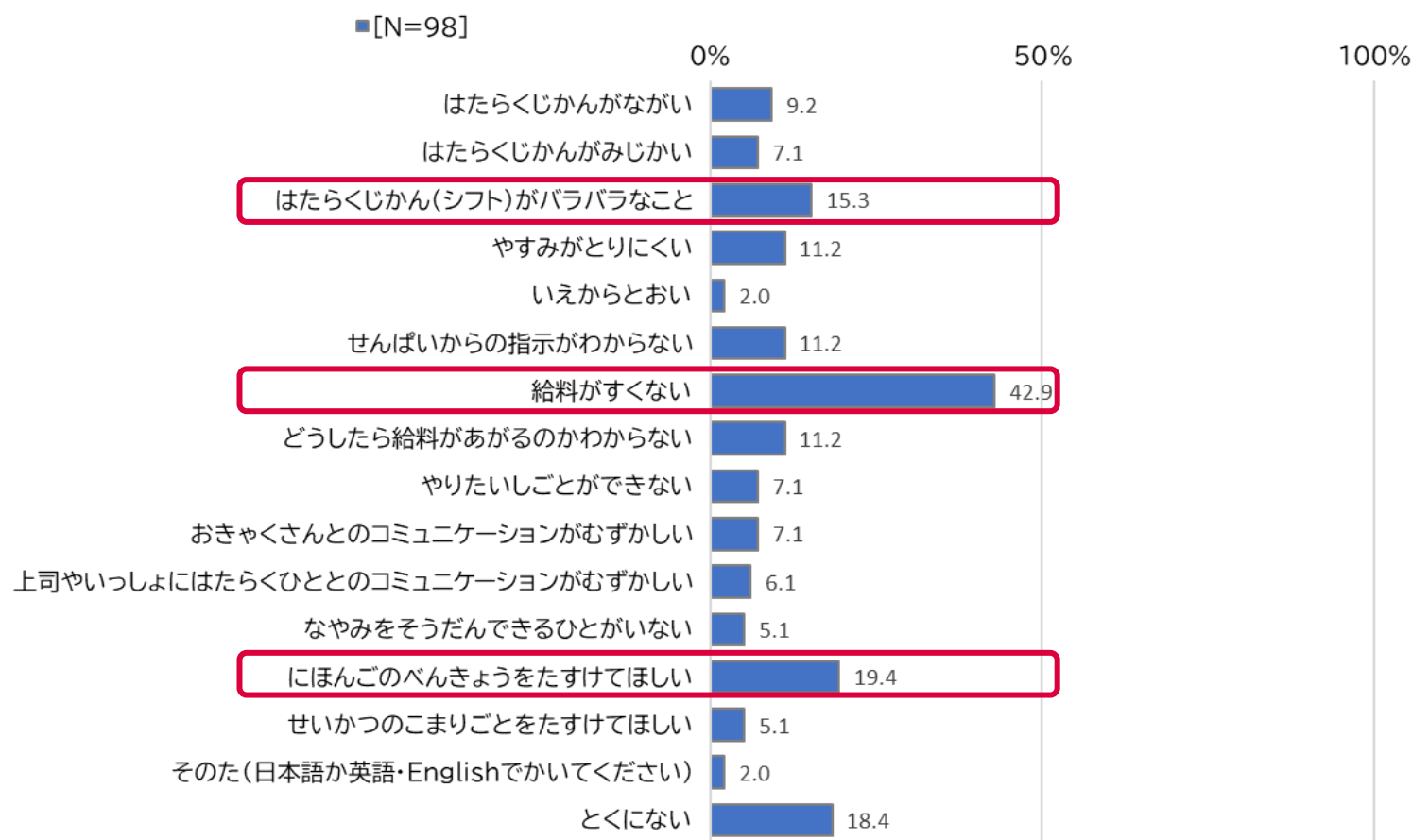


図 Q19働くうえで感じている課題(複数回答)

Q20:回答者の将来展望

- 回答者の将来展望について質問したところ、「現在の勤務先で昇格・昇給したい」という回答が**50.0%となり、最も多い**。次いで多いのが「分からない」の12.2%となった。

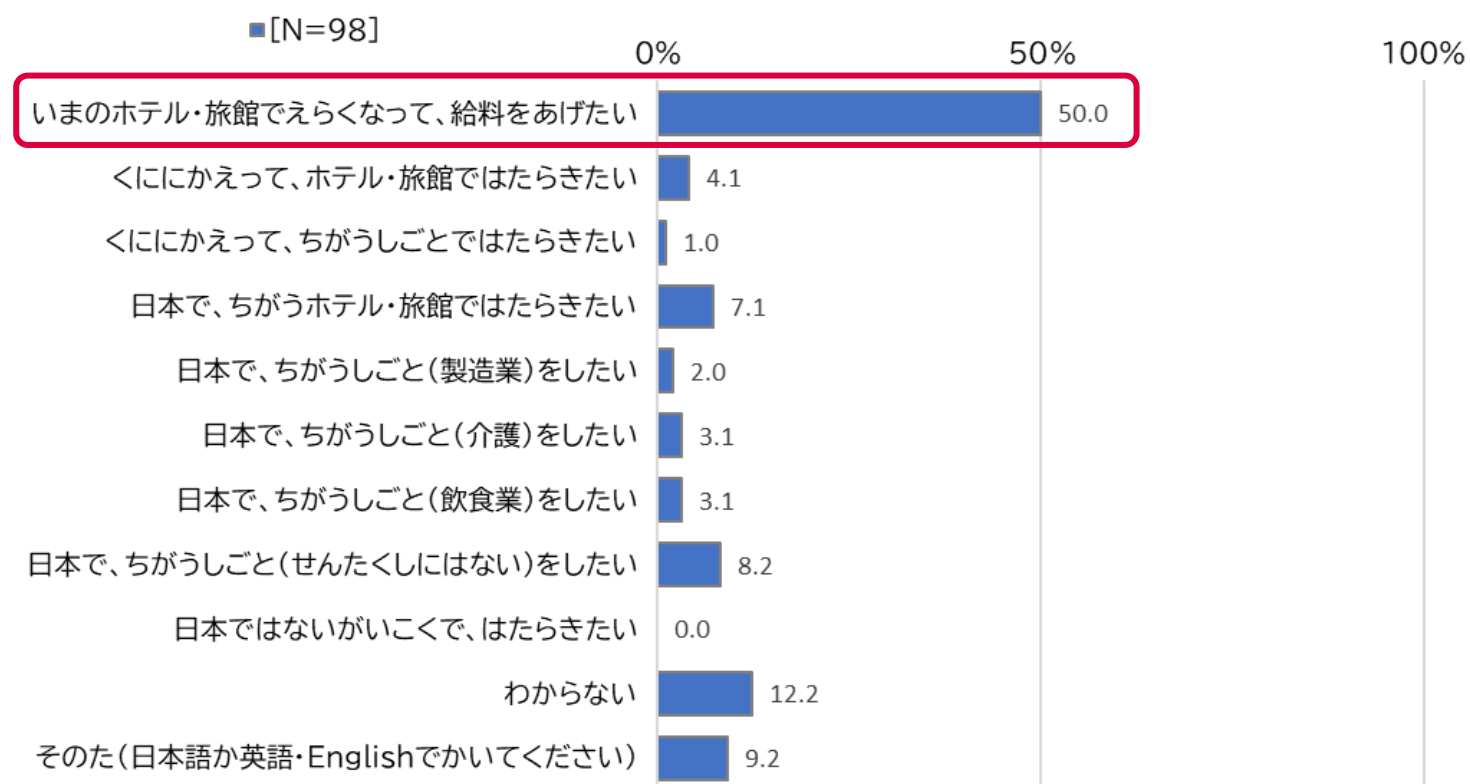


図 Q20回答者の将来展望

Q20:回答者の将来展望(在留資格別)

- 将来設計に関する回答について、回答者の在留資格を軸に、クロス集計を行った。
- 在留資格が技術・人文知識・国際業務で、**現在の宿泊施設での昇進・昇格の意欲を回答した者が26人**、その他の業界への転職意欲が8人と多かった。
- 特定技能(宿泊分野)について、**現在の宿泊施設での昇進・昇格意欲を回答した者が10人**、それ以外の回答項目では3～5人程度となり、ばらつきが出た。

	(人)	合計	技術・人文 知識・国際 業務	特定技能 (宿泊)	特定技能 (外食)	特定技能 (その他)	特定活動	技能実習	留学生 (資格外 活動)	留学生以 外の資格 外活動	身分に基 づく在留 資格	その他・ わからない
合計		(98)	45	28	5	2	2	6	1	0	4	5
将来展望	いまのホテル・旅館でえらくなって、給料をあげたい	(49)	26	10	3	2	1	3	1	0	2	1
	日本国内転職希望(宿泊)	(7)	1	5	0	0	1	0	0	0	0	0
	日本国内転職希望(その他業界)	(16)	8	5	1	0	0	2	0	0	0	0
	帰国希望	(8)	3	3	1	0	0	0	0	0	0	1
	わからない	(16)	6	5	0	0	0	1	0	0	1	3
	その他	(5)	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0

表 Q20回答者の将来展望×Q7回答者の在留資格

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

- 調査概要
- 設問及び選択肢の一覧
- 調査結果

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の概要

● 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の概要は以下のとおりである。

- 本調査はやさしい日本語、英語の二言語で実施しており、紹介するデータはやさしい日本語の選択肢を表示する。分析においては一般的な日本語に翻訳した上でデータを紹介する。
- 複数回答の設問については、図タイトルにその旨を明記する（無記載は単数回答）。

実施目的	・ 特定技能試験(宿泊)の合格者の実態、および日本/宿泊業を選択した理由や、合格したものの宿泊業での就労には至っていない理由・事情を把握
調査対象	宿泊分野特定技能1号評価試験、または宿泊分野特定技能2号評価試験(以下、「特定技能試験(宿泊)」)を受験し、合格した方
調査項目	・ 属性情報 ➢ 特定技能試験を受けた国、合格した年、国籍、年齢、日本語力、現在の仕事 ・ 現状までの経緯 ➢ 特定技能試験を知ったきっかけ ➢ 日本/特定技能(宿泊)を受験しようと考えた理由 ・ (現在宿泊業で働いていない場合)宿泊業での就労に至っていない理由 ➢ 上記の理由、日本で就きたい仕事内容 ・ 必要なサポート ➢ 働き方改善にむけて、必要とするサポート
調査方法	Webアンケート調査(やさしい日本語、英語の二言語で実施) (一般社団法人宿泊業技能試験センターの協力を得て、対象者にURL等を展開)
調査時期	2025年2月27日(木)～3月3日(月)
回収数	963

5-3.宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 1/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。
 - すべての設問は必須回答である(一部回答制御あり)。
 - 以下表の「回答形式」において、「SA」は単数回答、「MA」は複数回答、「FA」は自由記述回答である。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q1	あなたが特定技能(とくていぎのう)のテストをうけた国(くに)はどこですか。	SA	1. 日本(にほん) 2. インド 3. インドネシア 4. ネパール 5. フィリピン 6. スリランカ 7. ミャンマー 8. ベトナム
Q2	いつ、特定技能(とくていぎのう)のテストにこうかくしましたか。	SA	1. 2025年(ねん) 2. 2024年(ねん) 3. 2023年(ねん) 4. 2022年(ねん) 5. 2021年(ねん) 6. 2020年(ねん) 7. 2019年(ねん) 8. おぼえていない

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 2/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q3	あなたはどこの国(くに)の人(ひと)ですか。	SA	1. 中国(ちゅうごく) 2. ベトナム 3. ネパール 4. フィリピン 5. ミャンマー 6. 韓国(かんこく) 7. インドネシア 8. ブラジル 9. タイ 10. アメリカ 11. イギリス 12. イタリア 13. カナダ 14. ドイツ 15. フランス 16. ペルー 17. パキスタン 18. モンゴル 19. バングラデシュ 20. インド 21. ラオス 22. タジキスタン 23. カンボジア 24. スリランカ 25. ウズベキスタン 26. マレーシア 27. キルギス 28. その他(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 3/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q4	あなたは何才(なんさい)ですか。	SA	1. 10～19才(さい) 2. 20～29才(さい) 3. 30～39才(さい) 4. 40～49才(さい) 5. 50～59才(さい) 6. 60～69才(さい) 7. 70さいよりも上(うえ)
Q5	あなたの日本語(にほんご)のレベルをおしえてください。 すべてえらんでください。	MA	1. JFT-Basic 2. JLPT-N1 3. JLPT-N2 4. JLPT-N3 5. JLPT-N4 6. JLPT-N5 7. 日本語(にほんご)しけんをうけていない・わからない

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 4/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q6	今(いま)のしごとをおしえてください。	SA	1. 日本(にほん)で技能実習(ぎのうじっしゅう) 2. 日本(にほん)で留学生(りゅうがくせい) 3. 特定技能(とくていぎのう)の宿泊(しゅくはく) 4. 特定技能(とくていぎのう)の外食(がいしょく) 5. 宿泊(しゅくはく)や外食(がいしょく)とはべつの特定技能(とくていぎのう) 6. 技術(ぎじゅつ)・人文知識(じんぶんちしき)・国際業務(こくさいぎょうむ):技人国(ぎじんこく) 7. 技人国(ぎじんこく)・技能実習(ぎのうじっしゅう)・特定技能(とくていぎのう)とはべつの在留資格(ざいりゅうしかく) 8. じぶんの国(くに)ではたらいっている 9. じぶんの国(くに)で学校(がっこう)にいらっている 10. 日本(にほん)やじぶんの国(くに)とはべつの国(くに)ではたらいっている 11. 日本(にほん)やじぶんの国(くに)とはべつの国(くに)で学校(がっこう)にいらっている 12. 学校(がっこう)もいらっていないし、はたらいっていない 13. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 5/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

- Q7は、Q6にて選択肢2・3・4・9・11・12のいずれかを選択した人以外が回答対象。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q7	どんなしごとをしていますか。 ※Q6にて、選択肢2・3・4・9・11・12のいずれかを選択した人以外に表示	SA	1. ホテルのしごと 2. りょこう会社(かいしゃ)でのしごと 3. そうじ・クリーニング(ベッドメイキングだけしている というひとはこれをえらんでください) 4. 建設(けんせつ)・いえやビルをたてる 5. 工場(こうじょう)でものをつくる 6. 店(みせ)でものをうる 7. レストランでのしごと 8. 配達(はいたつ)・デリバリー 9. 病院(びょういん)のしごと 10. 介護(かいご) 11. 自動車整備(じどうしゃせいび) 12. 農業(のうぎょう)・やさいをつくる 13. 食べ物(たべもの)や飲み物(のみもの)をつくる 14. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)
Q8	特定技能(とくていぎのう)のテストを、どこでしりましたか。すべてえらんでください。	MA	1. 学校(がっこう)、トレーニングセンター、エージェンシーなど 2. 日本(にほん)のしごとを紹介(しょうかい)するイベント 3. 宿泊業(しゅくはくぎょう)技能試験(ぎのうしけん)センターのウェブサイト、おしらせ 4. 日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)のウェブサイト、おしらせ 5. 日本(にほん)のかいしゃからのおしらせ 6. インターネット 7. SNS(Facebook、Youtube、Instagram、WeChat など) 8. ともだち、しりあいから 9. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 6/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q9	特定技能(とくていぎのう)のテストで、こまったことをすべておしえてください。	MA	1. テストの仕組み(しくみ)がわからなかった 2. テストがむずかしかった 3. 受験料(じゅけんりょう)のおかねがたかかった 4. コンピュータ・パソコンでテストをうけるのがむずかしかった 5. テストの日本語(にほんご)がむずかしかった 6. テスト勉強(べんきょう)のやりかたがわからなかった 7. テストのインフォメーションがわかりにくかった 8. テストをうける場所(ばしょ)にいきにくかった、場所(ばしょ)がすくなかった 9. テストをうけられる日(ひ)がすくなかった 10. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください) 11. こまったことはなかった

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 7/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q10	どうして日本(にほん)ではたらこうとおもいましたか。 りゆうを3つまでおしえてください。	MA	1. べんりで、くらしやすいから 2. あぶないことがすくない、あんしんしてくらせるから 3. たてものがきれいで、きもちよくらせるから 4. 日本(にほん)の文化(ぶんか)やくらしをしりたかったから 5. 日本(にほん)のひとがれいぎただしくて、いいとおもったから 6. 給料(きゅうりょう)がたかいから 7. クビ(レイオフ)になりにくいから 8. 日本(にほん)のしごとをまなびたいから 9. しごとでえらくなりたいから 10. ともだちが日本(にほん)にいたから 11. ともだちやかぞくに、日本(にほん)ではたらくことをすすめられたから 12. とれた在留資格(ざいりゅうしかく)が、日本(にほん)のものだったから(がいきくの在留資格(ざいりゅうしかく)がとれなかったから) 13. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 8/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q11	どうして宿泊(しゅくはく)の特定技能(とくていぎのう)のテストを受けましたか。リゆうを3つまでおしえてください。	MA	1. ホテルのしごとをやってみたかった 2. 日本(にほん)のおもてなしをべんきょうしたかった 3. ホテルではたらくためのスキルをべんきょうしたかった 4. おかねがたくさんもらえる 5. まわりのひとにホテルのしごとがいいといわれた 6. まわりのひとがホテルではたらいていた 7. 日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)ではたらくひとたちが、いいひとだった 8. 日本語学校(にほんごがっこう)でホテルのしごとをおしえてもらった 9. インターネットで見つけて、いいなとおもった 10. しごとを紹介(しょうかい)するイベントでして、いいなとおもった 11. 日本(にほん)ではたらくための在留資格(ざいりゅうしかく)がほしかった 12. からだがきつくないとおもった 13. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 9/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q12	しごとをさがしているとき、どこで情報(じょうほう)をしらべましたか。すべてえらんでください。	MA	1. 学校(がっこう)、テストのペンきょうをするところ 2. きゅうじんサイト(はたらくひとをばしゅうをするウェブサイト) 3. しごとを紹介(しょうかい)する会社(かいしゃ) 4. SNSでしりあった、しごとを紹介(しょうかい)する人(ひと) 5. インターネット 6. SNS(Facebook、Youtube、Instagram、WeChat など) 7. ともだち、しりあいから 8. しらべかたがよくわからなかった 9. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)
Q13	あなたは宿泊(しゅくはく)の特定技能(とくていぎのう)のテストにごうかくしたのに、特定技能(とくていぎのう)の資格(しかく)でホテル・旅館(りょかん)ではたらいっていません。なぜですか。	SA	1. テストに合格(ごうかく)したばかり(しごとを、さがしはじめた) 2. 日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)のしごとが、なかなかみつからない 3. ホテル・旅館(りょかん)とはちがうしごとがいい 4. ホテル・旅館(りょかん)のしごとははたらくじょうけんがわるい 5. 日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)の面接(めんせつ)をうけたが、だめだった 6. まだ学校(がっこう)にいきたいから 7. 日本(にほん)にいけなかったから 8. 日本(にほん)ではない国(くに)のしごとがいい 9. いま、日本(にほん)でほかの在留資格(ざいりゅうしかく)(技人国[ぎじんこく]など)で、ホテル・旅館(りょかん)のしごとをしている 10. そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-3.宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 10/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。
 - Q14は、Q13にて選択肢3・4のいずれかを回答した人のみ。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q14	ホテル・旅館(りょかん)のしごとの、わるいところはどこですか。すべてえらんでください。 ※Q13で選択肢3・4のいずれかを回答した人のみに表示	MA	1. はたらくじかんがながい 2. ながくはたらけない 3. 夜勤(やきん)がある、はたらくじかん(シフト)がづらい 4. やすみがとりにくい 5. 給料(きゅうりょう)がやすい 6. 給料(きゅうりょう)があがらない 7. ホテル・旅館(りょかん)は、日本語(にほんご)がたくさんひつよう 8. おきゃくさんとのコミュニケーションがむずかしい 9. 上司(じょうし)やいっしょにはたらくひととのコミュニケーションがむずかしい 10.ほかのしごとのほうがいい 11. いなかではたらくのがいやだ 12.日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)ではたらくしごとの数(かず)がすくない 13.そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-3.宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 11/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

- Q15は、Q13にて選択肢3・4のいずれかを回答した人が回答対象。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q15	日本(にほん)でどんなしごとをしたいですか。すべてえらんでください。 ※Q13で選択肢3・4のいずれかを回答した人のみ	MA	1. りょこう会社(かいしゃ)でのしごと 2. そうじ・クリーニング(ベッドメイキングだけしたい というひとはこれをえらんでください) 3. 建設(けんせつ)・いえやビルをたてる 4. 工場(こうじょう)でものををつくる 5. 店(みせ)でものをうる 6. レストランでのしごと 7. 配達(はいたつ)・デリバリー 8. 病院(びょういん)でのしごと 9. 介護(かいご) 10.自動車整備(じどうしゃせいび) 11. 農業(のうぎょう)・やさいをつくる 12.食べ物(たべもの)や飲み物(のみもの)をつくる 13.そのた(日本語か英語・Englishでかいてください)

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧 (やさしい日本語) 12/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(やさしい日本語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q16	日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)ではたらきたくするには、どんなサポートがあったらいいですか。すべてえらんでください。	MA	1. 日本語(にほんご)の勉強(べんきょう)のサポート 2. 日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)をのしるサポート 3. 日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)のしごとの紹介(しょうかい) 4. 日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)でしごとをするスキルを勉強(べんきょう)するサポート 5. 給料(きゅうりょう)をあげる 6. いそがしさをへらす 7. 夜勤(やきん)、よるのしごとをへらす 8. ホテル・旅館(りょかん)ではたらいっている、あなたのくの人(ひと)からのなし 9. 外国人(がいこくじん)がはたらきやすくするサポート 10. 日本(にほん)のホテル・旅館(りょかん)のしごとのトライアル、インターンシップ 11. その他(日本語か英語・Englishでかいてください)
Q17	どんなサポートがあれば、もっとはたらきやすくなりますか。すべてえらんでください。	MA	1. 日本(にほん)にくるまでのサポート(おかね) 2. 日本(にほん)にくるまでのサポート(おかねいがい) 3. 日本語(にほんご)のべんきょうのサポート 4. しごとをおぼえるためのサポート(けんしゅうなど) 5. しごとのスキルをたかめるためのサポート 6. いろいろなことばへのたいおう 7. 宗教(しゅうきょう)のきづかい(たべものなど) 8. その他(日本語か英語・Englishでかいてください)

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 1/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。
 - すべての設問は必須回答である(一部回答制御あり)。
 - 以下表の「回答形式」において、「SA」は単数回答、「MA」は複数回答、「FA」は自由記述回答である。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q1	Please select the country where you took the Specified Skilled Worker Test.	SA	1. Japan 2. India 3. Indonesia 4. Nepal 5. Philippines 6. Sri Lanka 7. Myanmar 8. Vietnam
Q2	When did you pass the Specified Skilled Worker Test ?	SA	1. 2025 2. 2024 3. 2023 4. 2022 5. 2021 6. 2020 7. 2019 8. I don't remember.

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 2/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q3	Please select your nationality.	SA	1. China 2. Vietnam 3. Nepal 4. Philippines 5. Myanmar 6. South Korea 7. Indonesia 8. Brazil 9. Thailand 10. America 11. England 12. Italy 13. Canada 14. Germany 15. France 16. Peru 17. Pakistan 18. Mongolia 19. Bangladesh 20. India 21. Laos 22. Tajikistan 23. Cambodia 24. Sri Lanka 25. Uzbekistan 26. Malaysia 27. Kyrgyzstan 28. Other (Please answer in free text in English or Japanese)

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 3/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q4	Please tell us your age.	SA	1. Teens 2. 20s 3. 30s 4. 40s 5. 50s 6. 60s 7. Age 70+
Q5	Please tell us about your Japanese language ability. Please select all options that apply to you.	MA	1. JFT-Basic 2. JLPT-N1 3. JLPT-N2 4. JLPT-N3 5. JLPT-N4 6. JLPT-N5 7. I haven't taken the Japanese language exam/I don't understand.

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 4/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q6	Please tell us about your current job.	SA	1. I am a Technical Intern Trainee in Japan. 2. I am an international student in Japan. 3. I am a Specified Skilled Worker (accommodation) 4. I am a Specified Skilled Worker (food service) 5. I am a Specified Skilled Worker (other) 6. I am working under the status of residence of Engineer, Specialist in Humanities, or International Services. 7. I am working under a visa status other than Engineer, Specialist in Humanities, or International Services, Technical Internship or Specified Skilled Worker Program. 8. I am working in my home country. 9. I am a student in my home country. 10. I am working outside Japan/home country 11. I am a student outside of Japan/home country 12. I am neither a student nor working. 13. Other(Please answer in free text in English or Japanese)

5-3. 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 5/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。
- Q7は、Q6にて選択肢2・3・4・9・11・12のいずれかを選択した人以外が回答対象。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q7	What kind of work do you do? ※Q6にて、選択肢2・3・4・9・11・12のいずれかを選択した人以外 ※回答者制御情報は、回答者には表示されない	SA	1. Accommodation industry 2. Tourism and travel industry 3. Building cleaning (choose this if you do the work of bed making) 4. Construction 5. Manufacturing 6. Retail 7. Foodservice, restaurant 8. Delivery 9. Medical and welfare 10. Nursing 11. Automobile Maintenance 12. Agriculture 13. Food and beverage manufacturing 14. Other (Please answer in free text in English or Japanese)
Q8	Where did you find out about the Specified Skilled Worker Test? Please select all options that apply to you.	MA	1. School/Sending agency to Japan 2. Events introducing jobs in Japan 3. Public relations from the General Incorporated Association Center for Accommodation Industry Proficiency Test 4. Public relations from Japanese hotels and inns 5. Public relations from companies other than Japanese hotels and inns 6. Internet Search 7. Social Media (Facebook, Youtube, Instagram, WeChat, etc) 8. Reviews from friends and acquaintances 9. Other (Please answer in free text in English or Japanese)

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 6/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q9	Please tell us about any problems or difficulties you faced with the Specified Skills Test? Please select all options that apply to you.	MA	1. The system of the test was difficult to understand. 2. The test content was difficult. 3. The test fee was expensive. 4. The CBT test was difficult(It was difficult to use the computer to answer the test questions). 5. The Japanese in the exam was difficult. 6. I didn't know how to study for the test. 7. The test information was difficult to understand. 8. The test centers were far away/inconvenient/not enough. 9. There were few test dates. 10. Other(Please answer in free text in English or Japanese) 11. There was nothing difficult or troublesome.

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 7/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q10	Why did you decide to work in Japan? Please choose up to three points that you considered most important.	MA	1. The living environment is good. 2. The security is good. 3. The house I could live is good. 4. I am interested in Japanese culture and life. 5. I am attracted to the politeness of the Japanese people. 6. The wages are high. 7. I can work steadily. 8. I want to learn through work in Japan. 9. I want to get promoted. 10. I have friends and acquaintances in Japan. 11. It was recommended by friends and family 12. The status of residence I was able to obtain was for Japan (I was unable to obtain a status of residence in other countries). 13. Other(Please answer in free text in English or Japanese)

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 8/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q11	Why did you take the Specified Skilled Worker test of accommodation? Please choose up to three points that you considered most important.	MA	1. I have always had a passion for the accommodation industry. 2. I wanted to learn about the culture of hospitality. 3. I wanted to gain skills related to the accommodation industry. 4. The salary in the accommodation industry is high 5. It was recommended by friends and family. 6. I have friends and acquaintances who work in the accommodation industry. 7. I was attracted to the personalities of people working in the Japanese accommodation industry. 8. It was introduced at a Japanese language school or sending agency to Japan. 9. I learned about the accommodation industry on the Internet and became interested in it. 10. I learned about the accommodation industry at a job introduction event. 11. I wanted a residence permit to work in Japan. 12. I thought it didn't involve hard physical labor. 13. Other(Please answer in free text in English or Japanese)

5-3.宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 9/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q12	What sources of information do you look at when looking for a job in Japan?	MA	1. School/Sending agency to Japan 2. Recruitment website 3. Recruitment Agent 4. A personal agent I met on social media 5. Internet Search 6. Social Media(Facebook, Youtube, Instagram, WeChat,etc) 7. Reviews from friends and acquaintances 8. I don't know how to find the job 9. Other(Please answer in free text in English or Japanese)
Q13	You passed the Specified Skills Test for accommodation, but you are not working in a hotel or inn with your Specified Skilled Worker qualification. Please tell us the reason.	SA	1. I have just passed the test (I am currently looking for a job in the accommodation industry in Japan). 2. I can't find a job offer from a Japanese accommodation Industry. 3. I thought a different industry would be better than the accommodation industry. 4. The accommodation industry has poor working conditions. 5. I interviewed for a job in the accommodation industry in Japan, but didn't get the job. 6. I still want to be a student. 7. I couldn't go to Japan. 8. It's better to work outside of Japan 9. I am already working in a Japanese hotel under another visa status (e.g., Engineer / Specialist in Humanities / International Services) 10.Other(Please answer in free text in English or Japanese)

5-3.宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 10/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。
- Q14は、Q13にて選択肢3・4のいずれかを回答した人のみ。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q14	What are the bad points of the accommodation industry? Please select all options that apply to you. ※Q13で選択肢3・4のいずれかを回答した人のみ ※回答者制御情報は、回答者には表示されない	MA	1. The accommodation industry has long working hours 2. It is difficult to work steadily and for a long time in the accommodation industry. 3. Night shifts are tough in the accommodation industry. 4. It's hard to take time off in the accommodation industry. 5. The accommodation industry has low wages. 6. The accommodation industry does not offer the chance for salary increases or promotions 7. High level of Japanese language proficiency is required in the accommodation industry. 8. Communication with hotel guests is difficult. 9. Communication with superiors and colleagues is difficult in the accommodation industry. 10. Jobs outside the accommodation industry are more attractive. 11. I don't like working in local areas. 12. There are few job openings in the accommodation industry in Japan. 13. Other(Please answer in free text in English or Japanese)

5-3.宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 11/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。
- Q15は、Q13にて選択肢3・4のいずれかを回答した人が回答対象。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q15	What job would you like to do in Japan? Please select all options that apply to you. ※Q13で選択肢3・4のいずれかを回答した人のみ ※回答者制御情報は、回答者には表示されない	MA	1. Tourism and travel industry 2. Building cleaning (choose this if you only want your bed made) 3. Construction 4. Manufacturing 5. Retail 6. Foodservice,restaurant 7. Delivery 8. Medical and welfare 9. Nursing 10.Automobile Maintenance 11.Agriculture 12.Food and beverage manufacturing 13.Other(Please answer in free text in English or Japanese)

宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査の設問及び選択肢の一覧(英語) 12/12

- 宿泊分野特定技能評価試験の合格者調査調査の設問及び選択肢(英語)の一覧は以下のとおり。

No.	設問文	回答形式	選択肢
Q16	What kind of support do you think is needed to encourage people who passed the Specified Skilled Worker test (accommodation) to find work in Japan's accommodation industry? Please select all options that apply to you.	MA	1. Support for learning Japanese 2. Introduction to the Japanese accommodation industry 3. Opportunities to match with Japanese accommodation companies 4. Support for acquiring skills necessary for the Japanese accommodation industry 5. Wage increase in Japan's accommodation industry 6. Work style reform of the Japanese accommodation industry 7. Reducing night shifts in Japan's accommodation industry 8. Reviews from seniors in my home countries who have worked in the accommodation industry in Japan 9. Improving work environment for people from abroad 10. Internship in the Japanese accommodation industry 11. Other(Please answer in free text in English or Japanese)
Q17	What kind of support do you think would make it easier to work in Japan? Please select all options that apply to you.	MA	1. Financial support until entry into Japan 2. Non-financial support until entry into Japan 3. Support for learning Japanese 4. Support for acquiring work skills at the workplace (training, etc.) 5. Support for career advancement 6. Multilingual Support 7. Religious considerations (including food) 8. Other(Please answer in free text in English or Japanese)

Q1:回答者が特定技能試験(宿泊)を受験した国

- 回答者が特定技能試験(宿泊)を受験した国は、**日本が最も多く(41.7%)**、次に**ミャンマーが多い(31.7%)**。

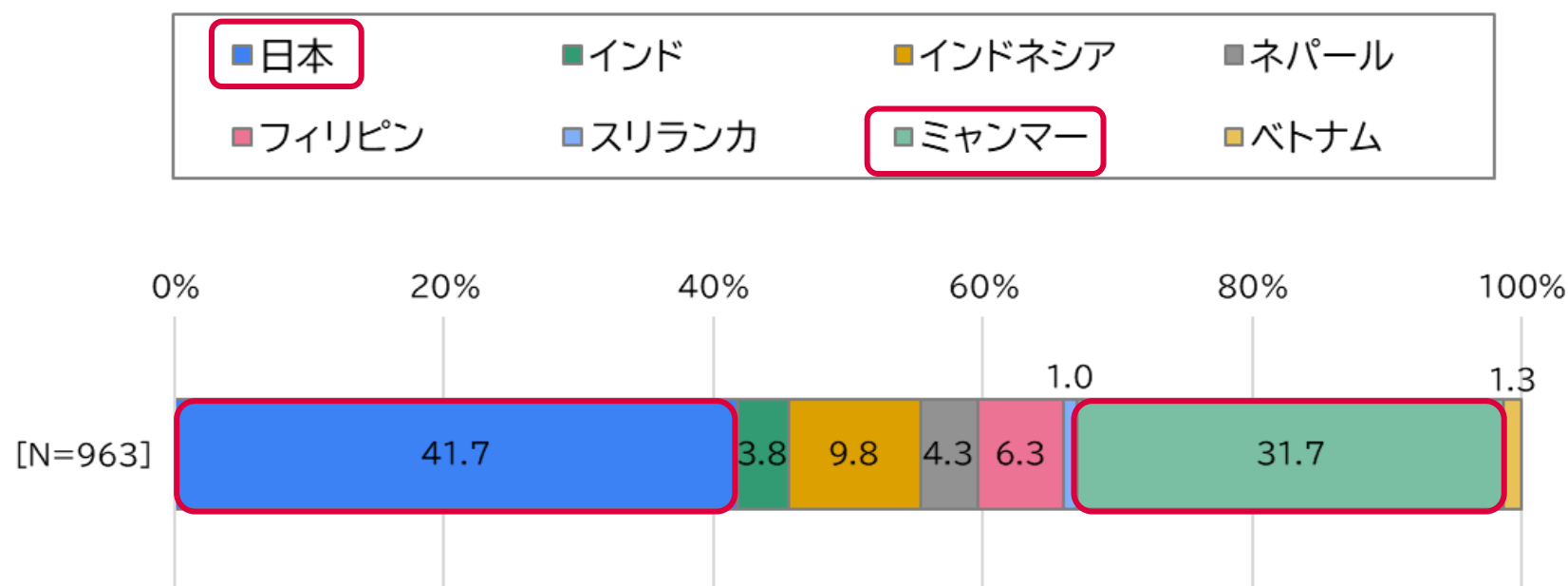


図 Q1回答者が特定技能試験(宿泊)を受験した国

Q2: 回答者が特定技能試験(宿泊)に合格した年

- 回答者が特定技能試験(宿泊)に合格した年について、**2024年が最も多く69.5%**となった。

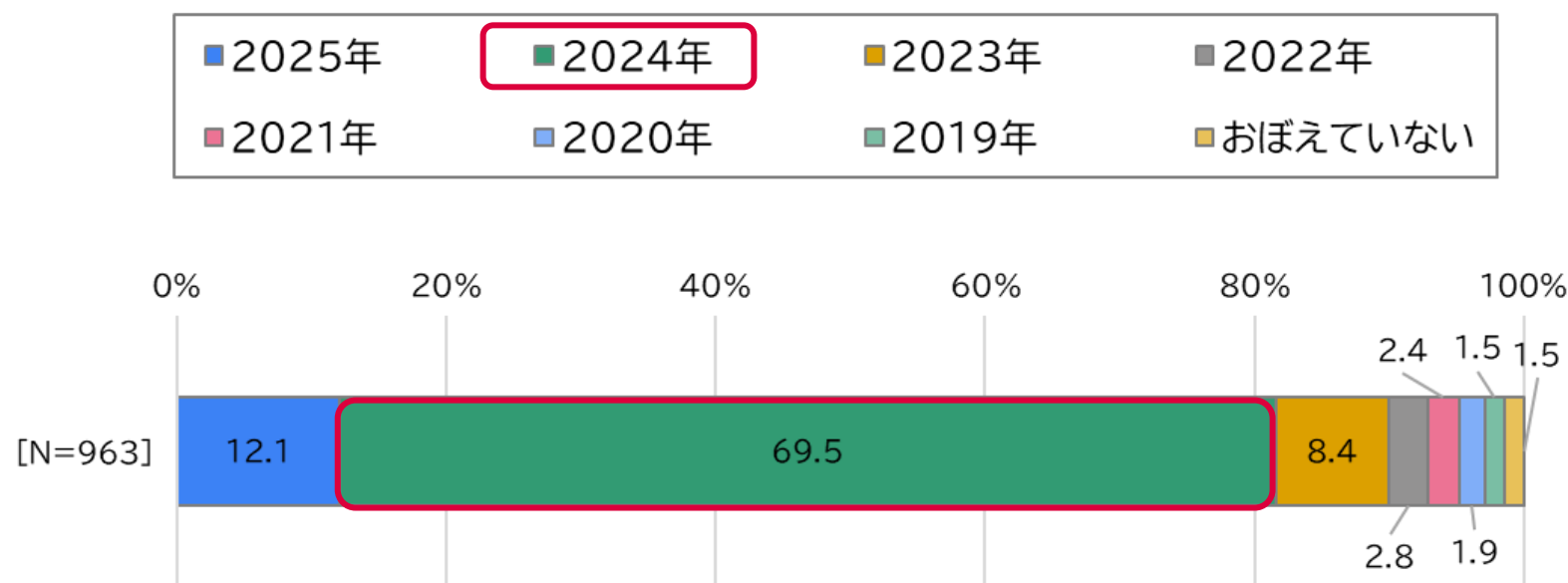


図 Q2回答者が特定技能試験(宿泊)に合格した年

Q3:回答者の国籍

- 回答者の国籍について質問したところ、**ミャンマーが393人と最も多く、次にインドネシア(169人)、ネパール(89人)**となっている。

- その他31件の回答内訳も併せて示す。

国名	N=963
ミャンマー	393
インドネシア	169
ネパール	89
フィリピン	81
ベトナム	63
インド	42
バングラデシュ	20
中国	19
スリランカ	12
タイ	7
モンゴル	7
ブラジル	6
アメリカ	5
韓国	4
イタリア	4
フランス	3
イギリス	2
ウズベキスタン	2
マレーシア	2
パキスタン	1
カンボジア	1
その他	31

表 Q3回答者の国籍

国名
台湾
ロシア
アルゼンチン
香港
チリ
カザフスタン
スイス
ブータン
ハンガリー
フィリピン
トルコ
イスラエル
オーストリア
スペイン
スウェーデン

表 Q3回答者の国籍「その他」回答例

Q4:回答者の現在の年齢

- 回答者の現在の年齢について、**20代が最も多く70.2%**、次いで30代が23.5%となっている。

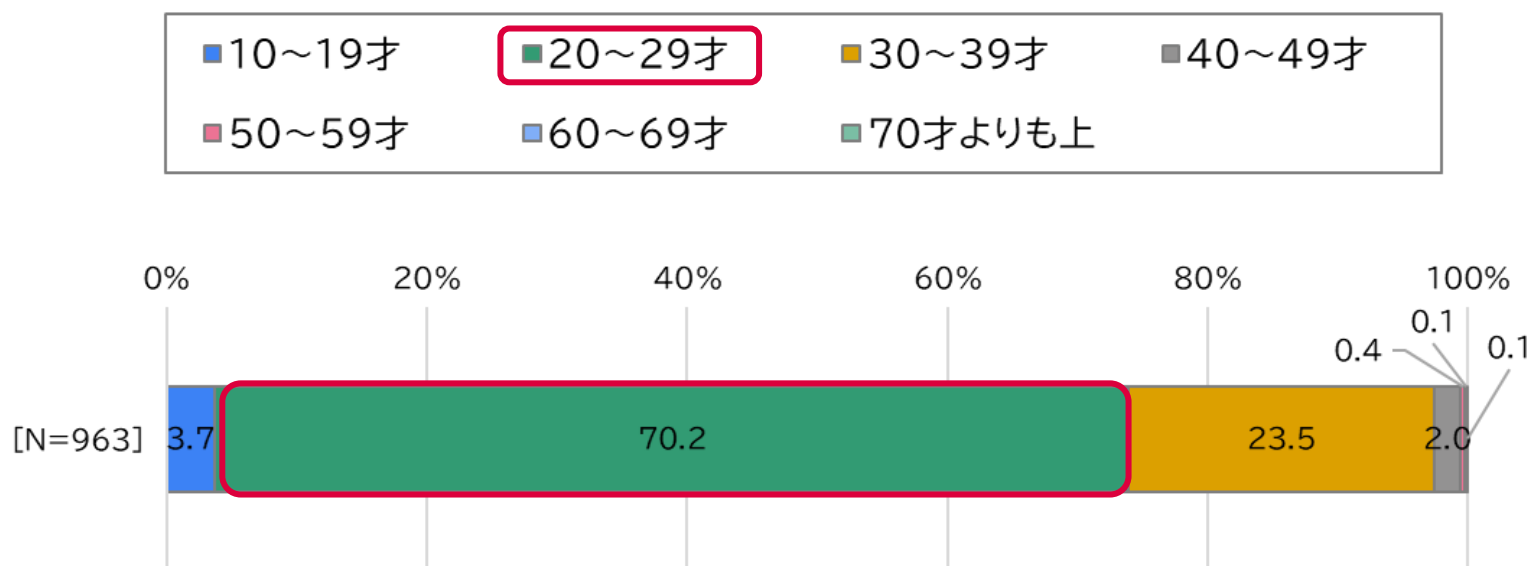


図 Q4回答者の現在の年齢

Q5:回答者の日本語力

- 回答者の日本語力について質問したところ、「**JLPT-N3**」が最も多く**39.1%**となった。

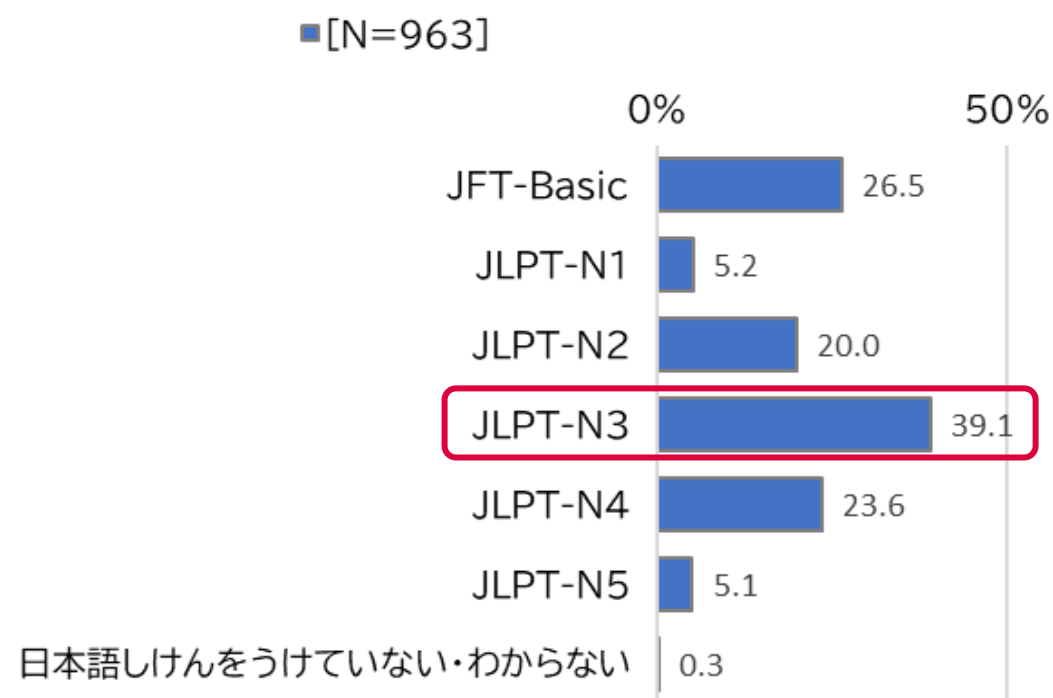


図 Q5回答者の日本語力

Q6:回答者の現在の仕事

- 回答者の現在の仕事(現在の在留資格等)について質問したところ、**最も多いのは「自分の国で働いている」(23.4%)**であり、**特定技能(宿泊)**で働いているのは**17.0%**となった。

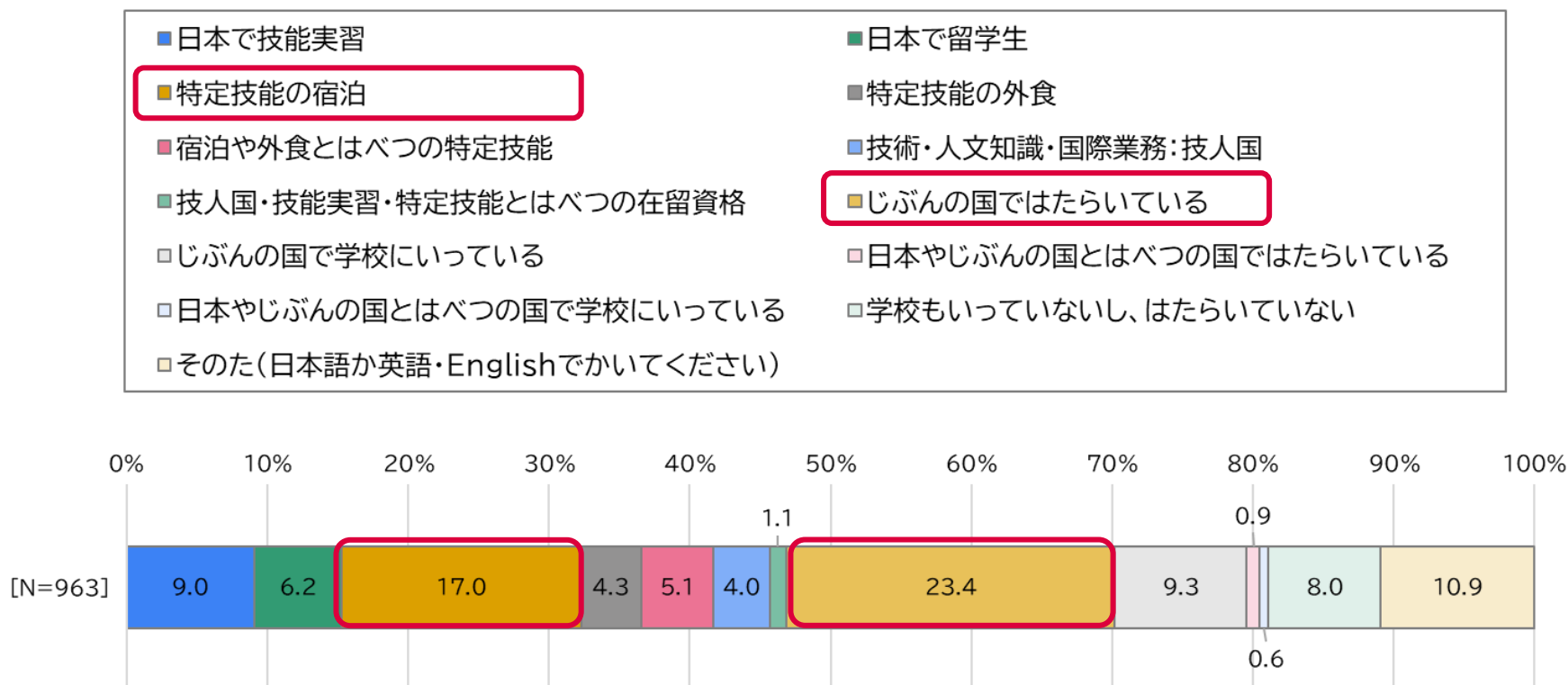


図 Q6回答者の現在の仕事

Q7:海外、或いは特定技能(宿泊・外食)以外で働いている者の現在の仕事

- 海外で働いている、又は、日本で特定技能(宿泊)・特定技能(外食)以外で就労している者(N=525)に、現在どの仕事で働いているかを質問したところ、**ホテルの仕事をしているという者が24.8%で最多**となった(その他除く)。
- 続いて、**製造業(9.7%)、小売業(8.2%)、レストラン(5.9%)** となった。

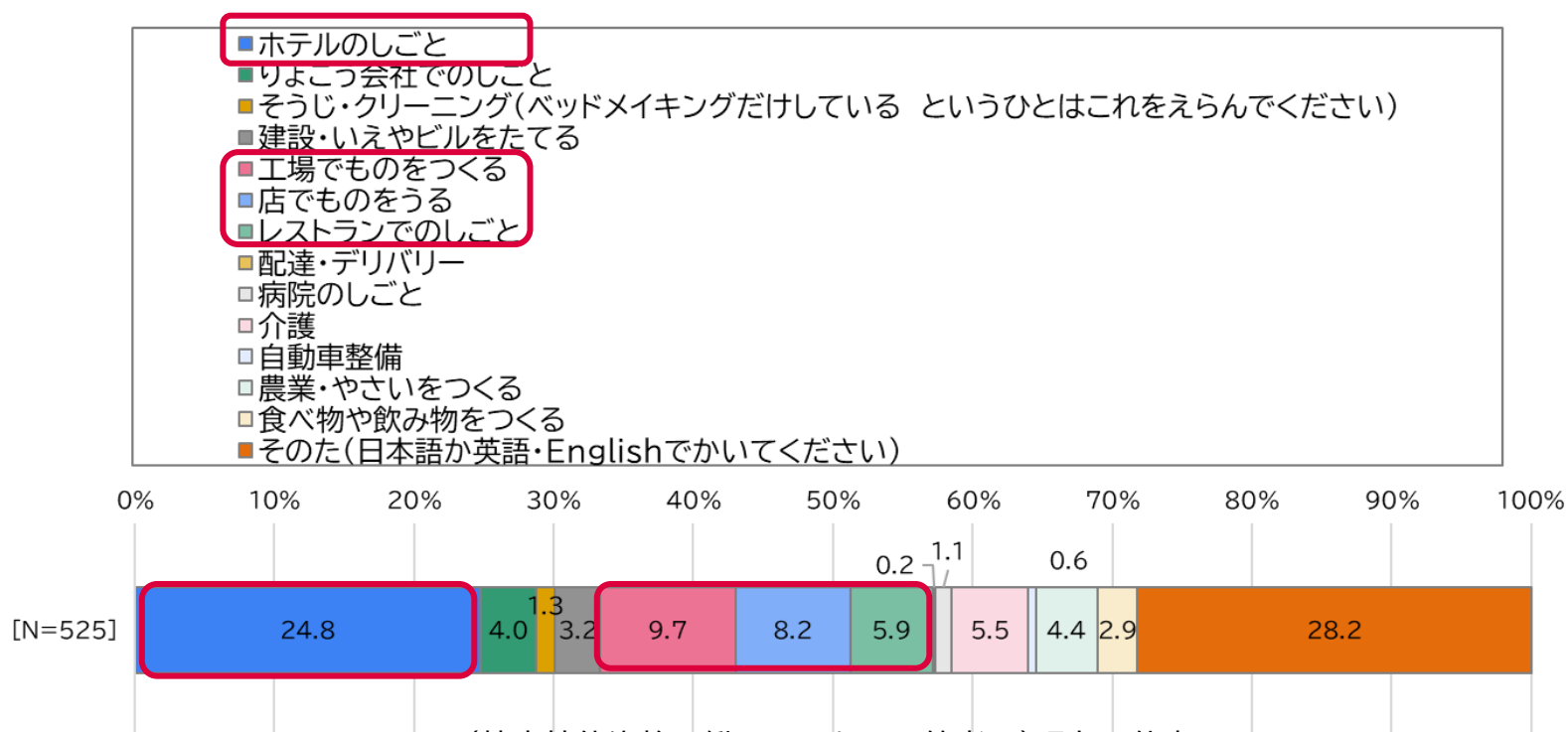


図 Q7 (特定技能資格で働いていない回答者の)現在の仕事

注: Q7はQ6「今の仕事を教えてください」にて、「日本で技能実習」「技術・人文知識・国際業務: 技人国」「技人国・特定技能・技能実習とは別の在留資格」「自分の国で働いている」「日本や自分の国とは別の国で働いている」のいずれかを回答した人が対象(N=525)

Q8: 特定技能試験(宿泊)をどこで認知したか

- 特定技能試験(宿泊)をどこで認知したかについて質問したところ、**学校・送り出し機関(38.7%)**が**最多**となった。次いで、**インターネット検索(32.7%)**、**SNS(29.2%)**、**友人・知人経由(17.1%)**が続いた。

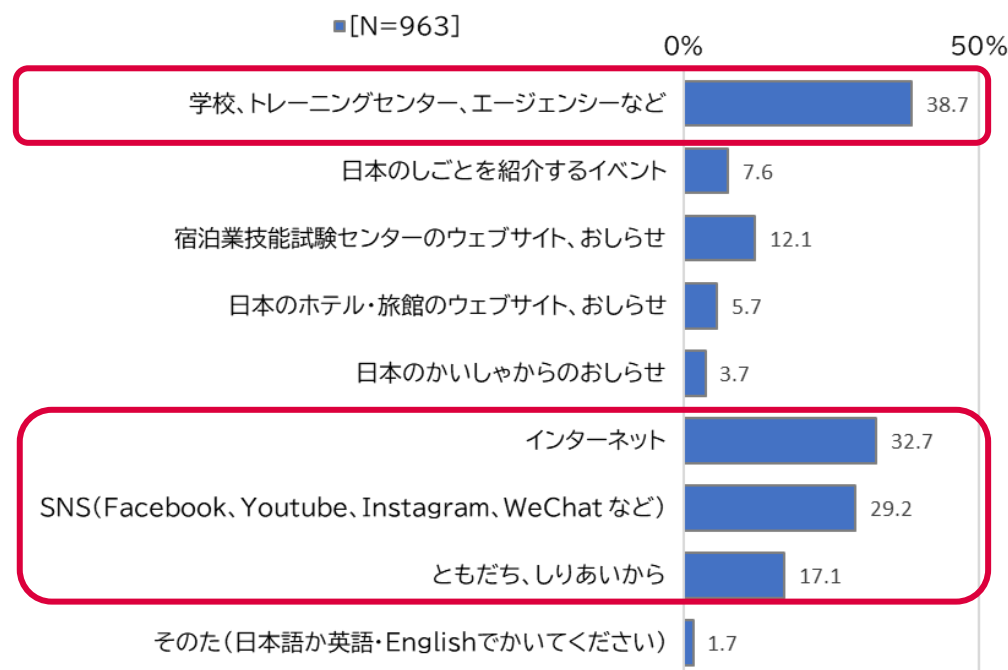


図 Q8特定技能試験(宿泊)の認知機会(複数回答)

Q9: 特定技能試験(宿泊)を受験するにあたっての困難

- 特定技能試験(宿泊)を受験するにあたって困難に感じたことについて質問した。
- 「受験料が高額」という回答が最多(39.0%)となった。次いで、「特に困ったことはなかった」という回答(27.1%)が続いた。

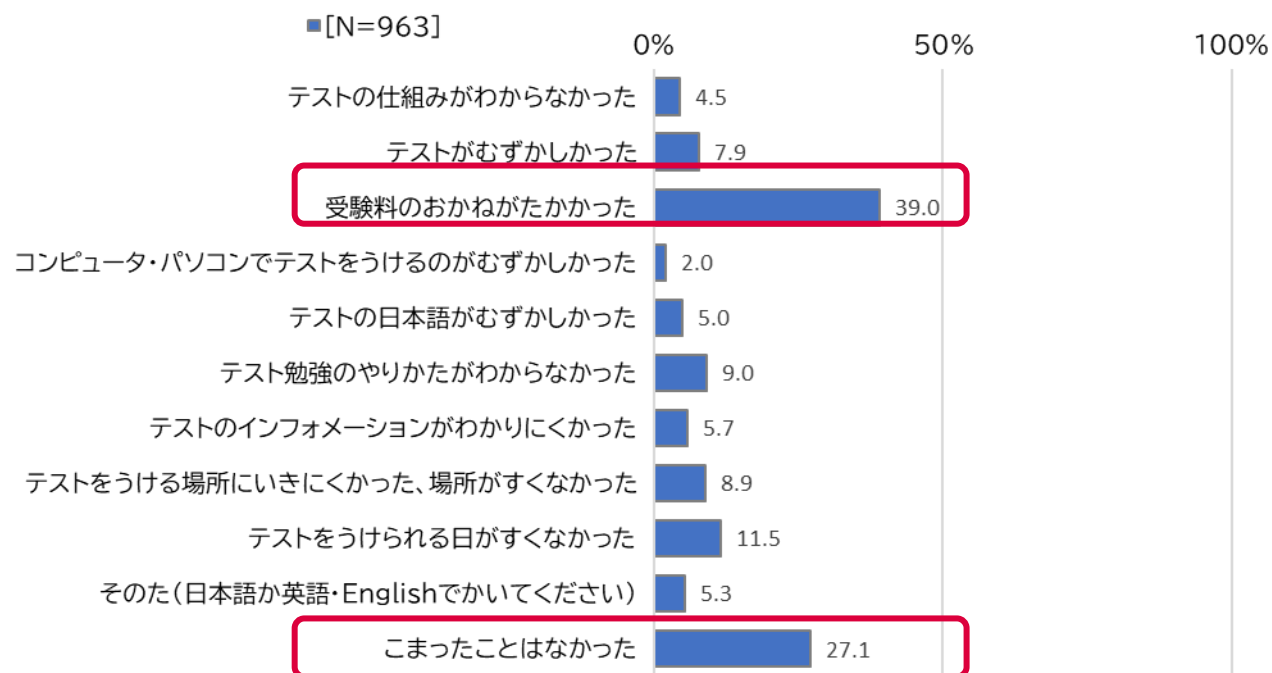


図 Q9特定技能試験(宿泊)を受験するにあたって困難に感じたこと(複数回答)

Q10:就労先として、日本を選択した理由

- 就労先として日本を選んだ理由について質問したところ、「日本の文化や暮らしを知りたかった」が最多(59.1%)、次いで「日本の仕事を学びたいから」(39.7%)、「便利で暮らしやすいから」(39.4%)となった。

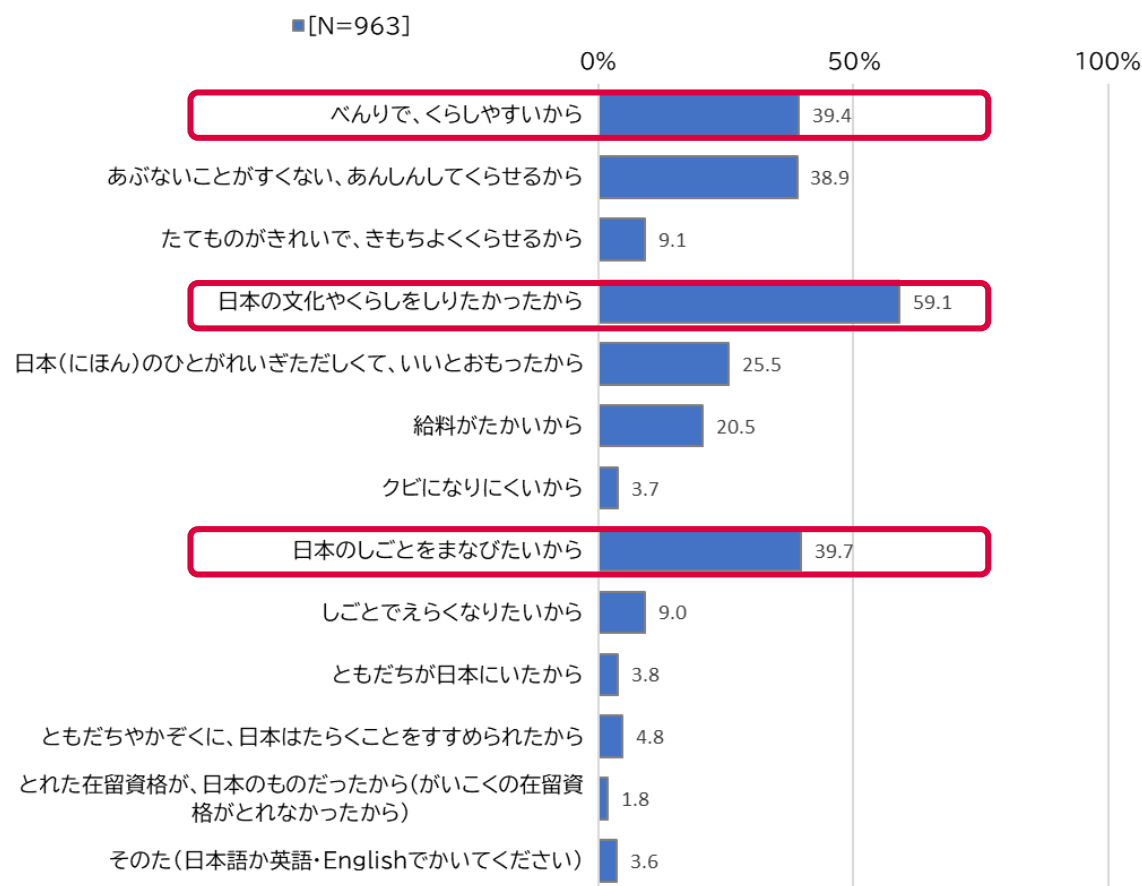


図 Q10回答者が日本を選んだ理由(複数回答)

Q11:回答者が特定技能の分野として、宿泊業を選択した理由

- 回答者が宿泊業を選んだ理由は、「ホテルで働くためのスキルを勉強したかった」(60.7%)が最多となった。次いで、「日本のおもてなしを勉強したかった」(57.3%)、「ホテルの仕事をやってみたかった」(56.1%)、となった。それ以外の選択肢は低い割合に留まった。

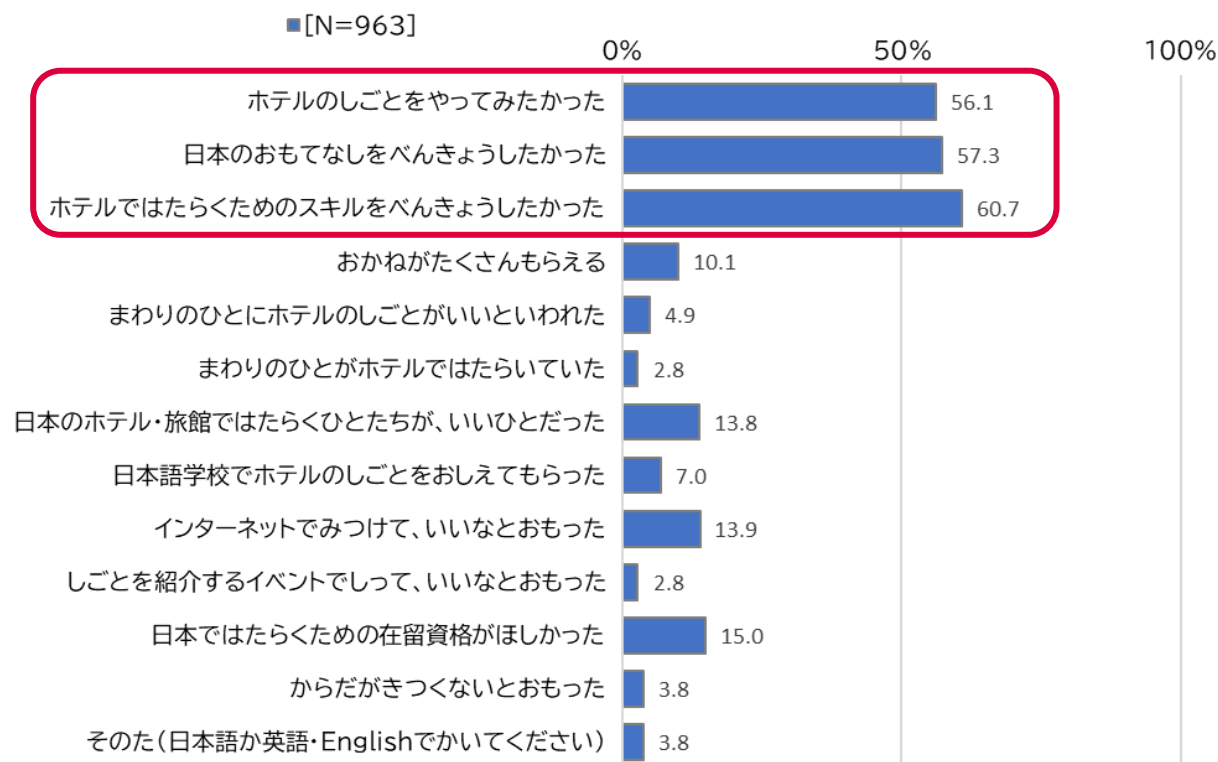


図 Q11回答者が宿泊業を選んだ理由(複数回答)

Q12:回答者が就職先を探す際に参考になっている情報源

- 回答者が就職先を探す際に参考になっている情報源について質問したところ、インターネット検索(44.0%)が最多となった。次いで、SNS(39.4%)、学校・送り出し機関(37.8%)が続いた。

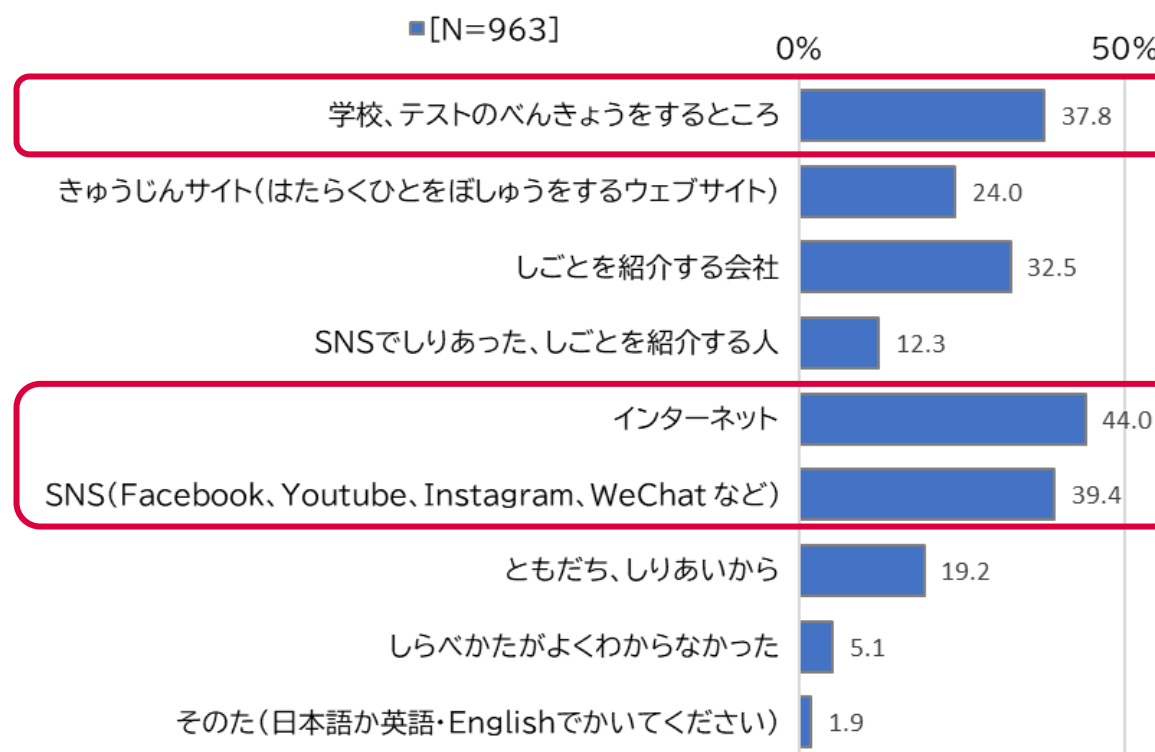
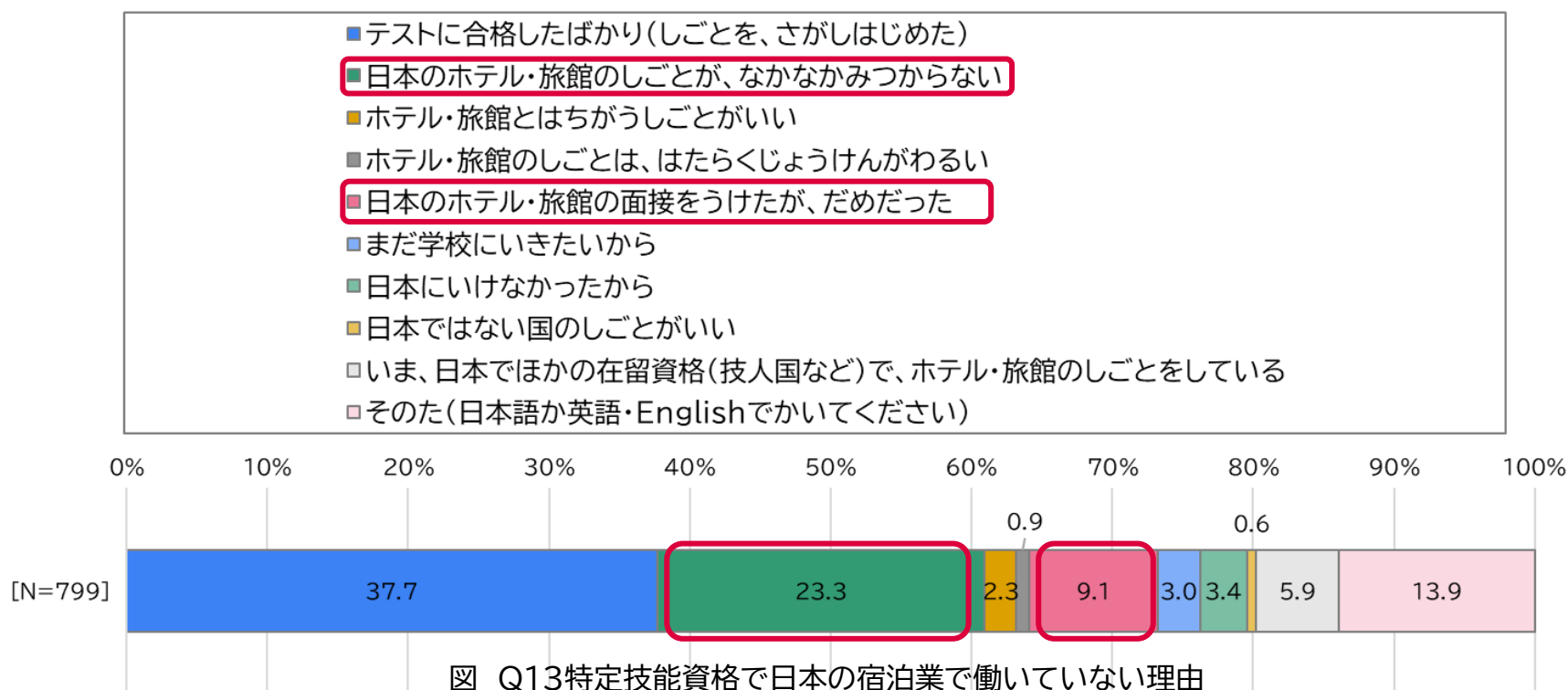


図 Q12就職先時を探す際に参考になっている情報源(複数回答)

Q13:特定技能資格で日本の宿泊業で働いていない理由

- 現在の仕事として「特定技能の宿泊」を選択しなかった回答者(N=799)に、特定技能資格で日本の宿泊業で働いていない理由を尋ねたところ、「試験に合格したばかり」(37.7%)が最も多い。
- 次いで「日本のホテル・旅館の仕事が見つからない」(23.3%)、「採用面接を受けたが断られた」(9.1%)となっている。



注:Q13はQ6「今の仕事を教えてください」にて、「特定技能の宿泊」以外の回答をした人が対象(N=799)

Q14: 回答者が宿泊業の課題だと感じる点

- 現在の仕事として「特定技能の宿泊」を選択しなかった回答者(N=799)のうち、「宿泊業とは違う仕事が良い」「宿泊業は労働条件が良くない」と回答した人(N=25)を対象に、宿泊業の課題だと感じる点を質問した。
- 回答として「賃金の低さ」が32.0%で最も多かった。

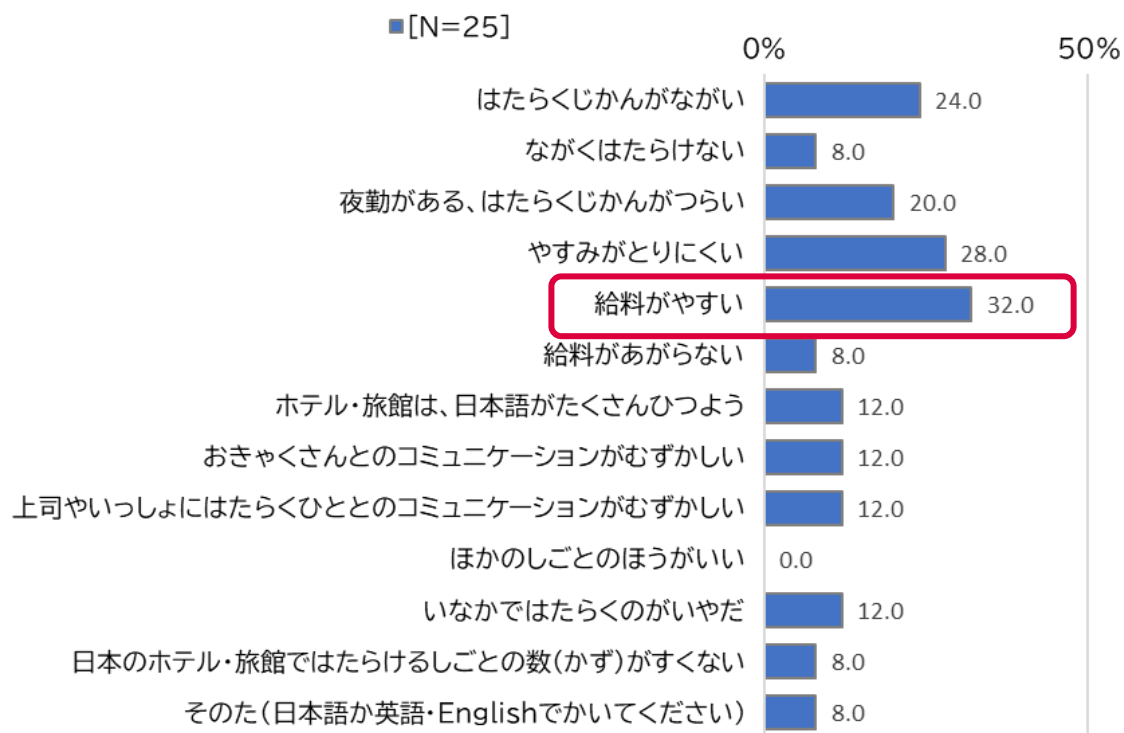


図 Q14 宿泊業の課題だと感じる点(複数回答)

注: Q14、Q15はQ13「特定技能(宿泊)の試験に合格した方で、現在日本の宿泊業に、特定技能の資格で働いていない人にお尋ねします。なぜ、特定技能の資格で日本の宿泊業で働いていないのでしょうか」において、「ホテル・旅館とは違う仕事が良い」「ホテル・旅館は働く条件が悪い」のいずれかを選択した者を対象に質問した(N=25)

Q15:宿泊業以外に希望する職種

- 現在の仕事として「特定技能の宿泊」を選択しなかった回答者(N=799)のうち、「宿泊業とは違う仕事が良い」「宿泊業は労働条件が良くない」と回答した人(N=25)を対象に、宿泊業以外に希望する職種を尋ねたところ、「**外食業**」が**40.0%**と最も多かった。



図 Q15宿泊業以外に希望する職種(複数回答)

注:Q14、Q15はQ13「特定技能(宿泊)の試験に合格した方で、現在日本の宿泊業に、特定技能の資格で働いていない人にお尋ねします。なぜ、特定技能の資格で日本の宿泊業で働いていないのでしょうか」において、「ホテル・旅館とは違う仕事が良い」「ホテル・旅館は働く条件が悪い」のいずれかを選択した者を対象に質問した(N=25)

Q16:日本の宿泊業への就労の動機付けにつながるサポート

- どのようなサポートがあれば日本の宿泊業での就労が動機付けられるかを質問したところ、「**日本語学習のサポート**」(51.8%)が**最多**となった。
- 次いで、「**日本の宿泊業務のスキル向上支援**」(45.5%)、「**日本の宿泊の求人紹介**」(44.2%)、「**日本の宿泊施設の紹介**」(36.0%)、「**外国人が働きやすい環境支援**」(33.4%)が続いた。
 - 賃金の低さや労働環境の改善に係るニーズは低い割合に留まった。

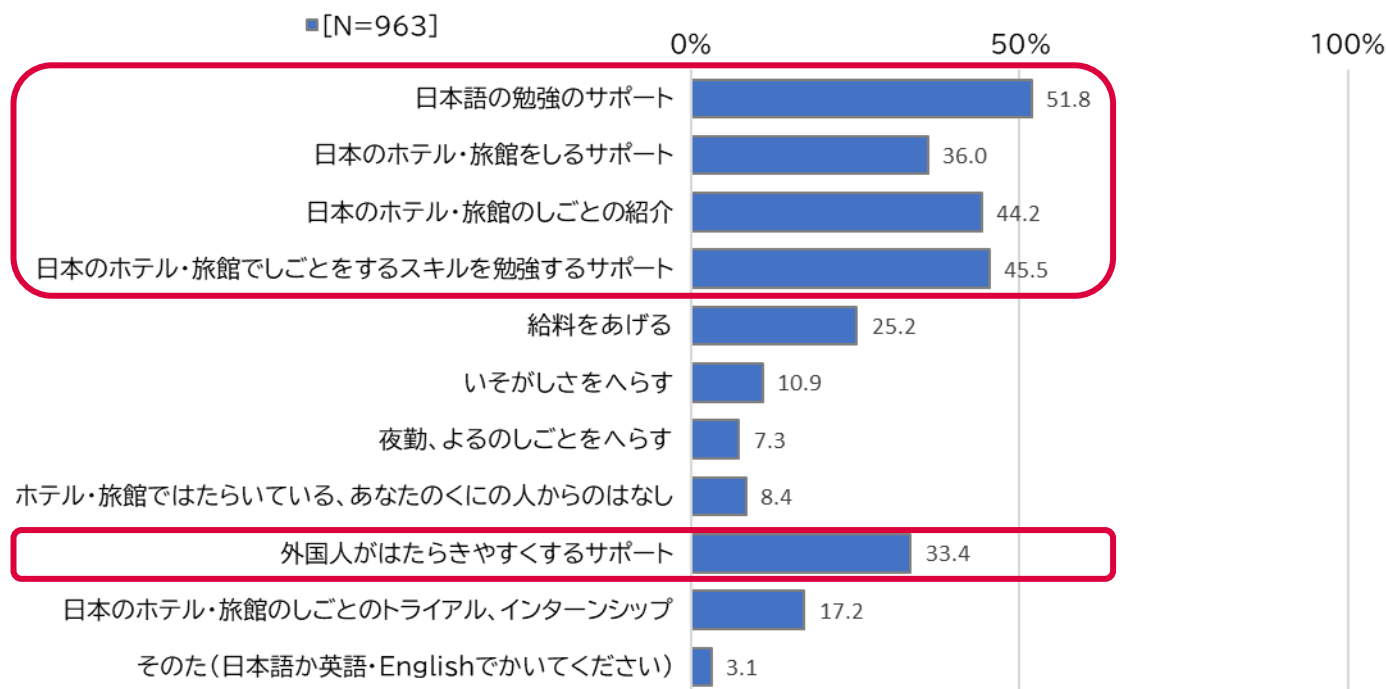


図 Q16日本の宿泊業への就労の動機付けにつながるサポート(複数回答)

Q17:日本での就労への動機づけに必要なサポート

- 日本で就労するために必要なサポートを質問したところ、「日本語学習のサポート」(54.9%)が最多となった。ほぼ同じ割合で、「宿泊の業務理解支援」(54.4%)、「宿泊業務のスキル向上支援」(50.9%)が挙げられた。
- さらに「日本に来るまでの経済的なサポート」(35.1%)、「多言語対応」(22.9%)が続いた。

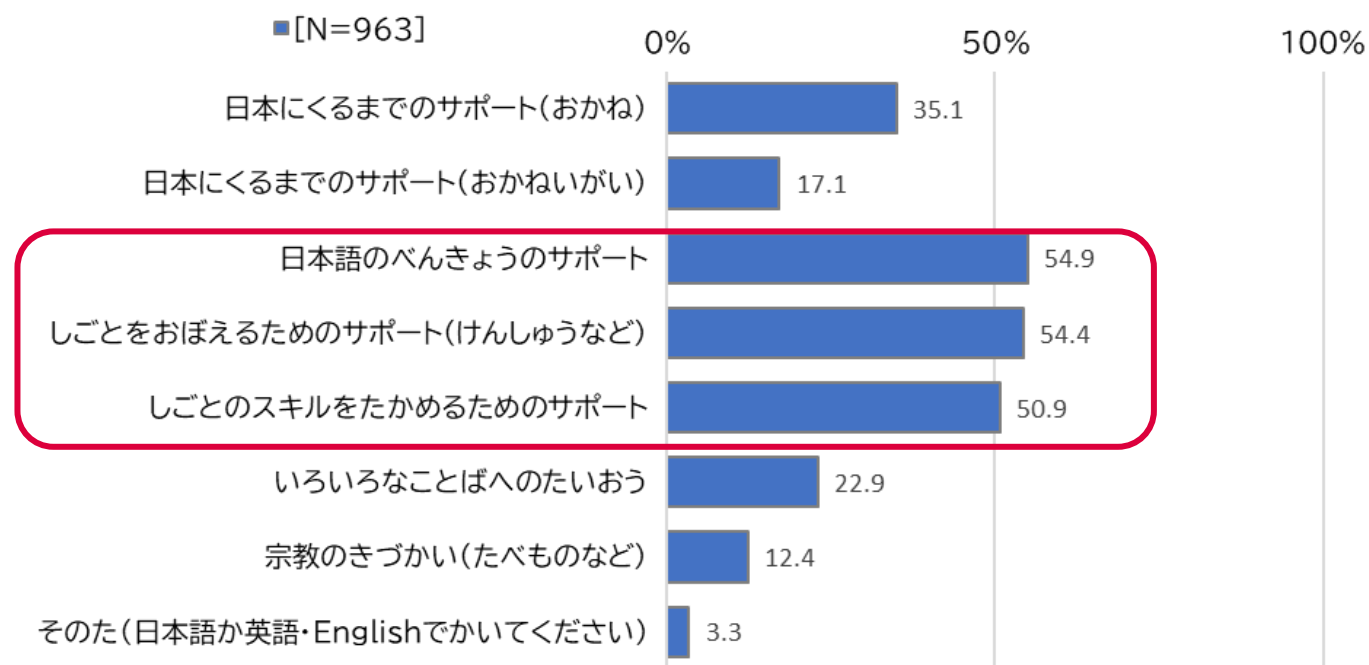


図 Q17日本での就労への動機付けに必要なサポート(複数回答)